



藤 沢 市

下 水 道 設 計 標 準 図

藤 沢 市 道 路 下 水 道 部

発行年月	昭和55年 1月
改訂年月	昭和62年 4月
一部改訂年月	平成 8年 7月
改訂年月	平成11年 4月
改訂年月	平成23年 7月
一部改訂年月	平成26年 7月
一部改訂年月	平成29年 4月
一部改訂年月	令和 7年 8月

下水道設計標準図使用上の注意事項

- ・ 本標準図は、藤沢市において施工する下水道工事の共通的な構造物を、標準の設計方式及び設計条件に基づいたもので、特別な設計条件に係わる構造物を除き適用する。
- ・ 本標準図の材料については、JIS規格及び下水道協会規格（JSWAS）等を基準とし記載しているが使用にあたってはあらかじめ確認を受けるものとする。
- ・ 本標準図の製品、施工図等において、寸法及び形状は参考としている場合があるため、使用時、施工時に注意すること。

目次

【第1章】布設図

合流式布設標準図	1- 1
分流式布設標準図	1- 2

【第2章】遠心力鉄筋コンクリート管

遠心力鉄筋コンクリート管（B形）	
規格図	2- 1
規格寸法表	2- 2
外圧強さ及び寸法許容差表	2- 3
遠心力鉄筋コンクリート管（NB形）	
規格図	2- 4
規格寸法表	2- 5
外圧強さ及び寸法許容差表	2- 6
遠心力鉄筋コンクリート管（NC形）	
規格図	2- 7
規格寸法表	2- 8
外圧強さ及び寸法許容差表	2- 9

【第3章】下水道用硬質塩化ビニル管規格図

直管（共通・ゴム輪）	3- 1
直管（接着・プレーンエンド）	3- 2
受口	3- 3
曲管（15°・30°）	3- 4
曲管（45°・60°）	3- 5
曲管（90°）・接着受口カラー	3- 6
自在曲管（0°・15°・30°）	3- 7
自在曲管（45°・60°・75°）	3- 8
鉄筋コンクリート管及び陶管用A型90°支管	3- 9
硬質塩化ビニル管用90°支管	3-10
副管用90°支管	3-11

【第4章】管基礎

管の種類と基礎・地盤の区分例（参考）	4- 1
剛性管きよの基礎の種類	4- 2

可とう性管きよの基礎の種類	4- 3
---------------	------

【第5章】掘削及び埋戻し等

掘削及び埋戻し標準図（参考）	5- 1
軽量鋼矢板・アルミ矢板及び 軽量金属支保工設置標準図（参考）	5- 2

【第6章】埋設管表示

埋設下水道管明示方法（塩ビ管用）	6- 1
埋設下水道管明示方法（鉄筋コンクリート管用）	6- 2

【第7章】マンホール

マンホール間隔等一覧	7- 1
組立式0号マンホール構造図（参考）	7- 2
組立式0号マンホール底版構造図（参考）	7- 3
組立式1号マンホール構造図（参考）	7- 4
組立式1号マンホール底版構造図（参考）	7- 5
組立式1号マンホール中間スラブ構造図（参考）	7- 6
組立式2号マンホール構造図Ⅰ（参考）	7- 7
組立式2号マンホール構造図Ⅱ（参考）	7- 8
組立式2号マンホール底版構造図（参考）	7- 9
組立式2号マンホール中間スラブ構造図（参考）	7-10
組立式3号マンホール構造図 蓋φ900（参考）	7-11
組立式3号マンホール構造図 蓋φ600（参考）	7-12
組立式3号マンホール底版構造図（参考）	7-13
組立式3号マンホール中間スラブ構造図（参考）	7-14
組立式楕円マンホール構造図（参考）	7-15
小型マンホール（塩ビ製）構造図（参考）	7-16
小型マンホール（塩ビ製）構造図 落差がある場合（参考）	7-17
インバート図	7-18
合流式足掛金物設置図（例）	7-19
分流式足掛金物設置図（例）	7-20

【第8章】可とう性継手

目 次

可とう性継手（参考）	8- 1
マンホール部可とう性継手使用方法（参考）	8- 2

【第 9 章】マンホール落差処理

飛散防止板標準構造図	9- 1
飛散防止板数量表	9- 2
外副管標準構造図	9- 3
外副管標準構造図（副管直下に流入がある場合）	9- 4
内副管（スリムタイプ）標準構造図（参考）	9- 5

【第 10 章】藤沢市型下水道用鋳鉄製マンホール蓋（合流・汚水・雨水）

T-14 転落防止梯子付（参考）	10- 1
T-25 転落防止梯子付（参考）	10- 2

【第 11 章】藤沢市型塩ビます標準構造図

φ 300 汚水・合流 宅内用（参考）	11- 1
φ 300 雨水 宅内用（参考）	11- 2
φ 300 汚水・合流 車道用（T-14・T-25）（参考）	11- 3
φ 300 雨水 車道用（T-14・T-25）（参考）	11- 4
φ 200 汚水・合流 宅内用（参考）	11- 5
φ 200 雨水 宅内用（参考）	11- 6
φ 200 汚水・合流 車道用（T-14）（参考）	11- 7
φ 200 雨水 車道用（T-14）（参考）	11- 8
φ 200 汚水・合流 車道用（T- 8）（参考）	11- 9
φ 200 雨水 車道用（T- 8）（参考）	11-10
φ 200 雨水 車道用（T- 8）浸透不可地域用（参考）	11-11
φ 200 雨水 車道用（T-14）浸透不可地域用（参考）	11-12
φ 200 雨水 宅内用 浸透不可地域用（参考）	11-13
φ 300 雨水 車道用（T-14・T-25） 浸透不可地域用（参考）	11-14
φ 300 雨水 宅内用 浸透不可地域用（参考）	11-15

【第 12 章】藤沢市型下水道用鋳鉄製防護蓋及び台座 （合流・汚水・雨水）

φ 300 T-14（参考）	12- 1
φ 300 T-25（参考）	12- 2
φ 200 T-14（参考）	12- 3
φ 200 T- 8（参考）	12- 4

【第 13 章】取付管布設図

取付管布設図 1.50m≧平均土被り（参考）	13- 1
取付管布設図 1.50m<平均土被り（参考）	13- 2

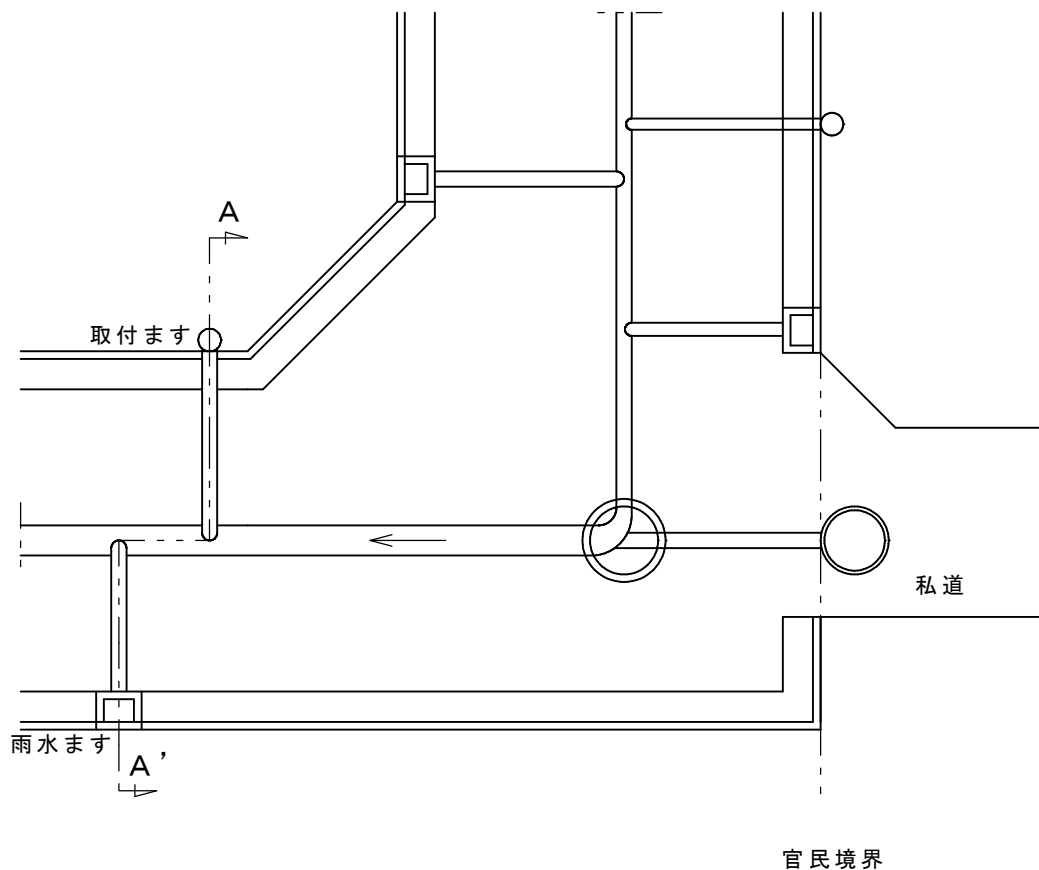
【第 14 章】雨水ます構造図

雨水ます構造図（藤沢市B型，浸透不可地域用）	14- 1
雨水ます構造図（藤沢市B型）	14- 2
藤沢市型雨水ます（B型用）グレーチング（テーパー付）	14- 3

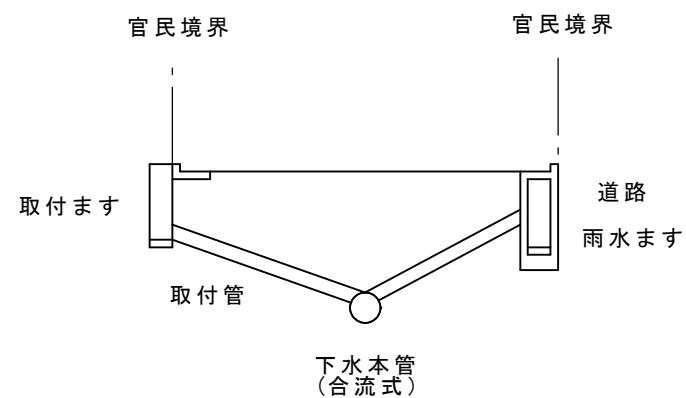
【第 15 章】図面記載例

マンホール他記号表	15- 1
平面図記載方法（参考）	15- 2
縦断面図記載方法（参考）	15- 3
竣工図（平面図）記載方法（参考）	15- 4
竣工図（縦断面図）記載方法（参考）	15- 5
マンホールオフセット図記載方法（参考）	15- 6

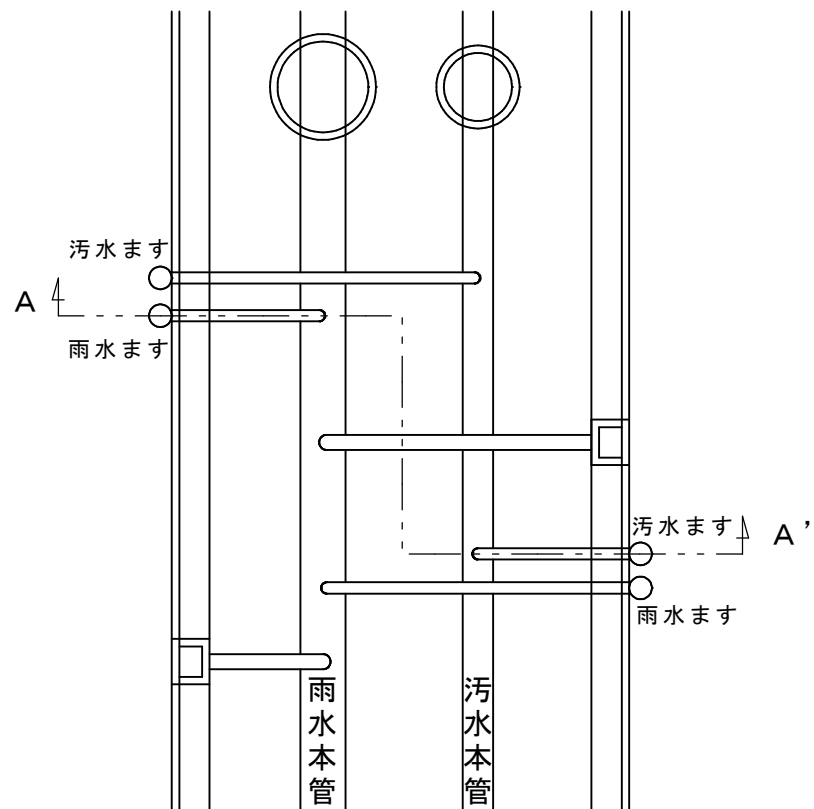
平面図



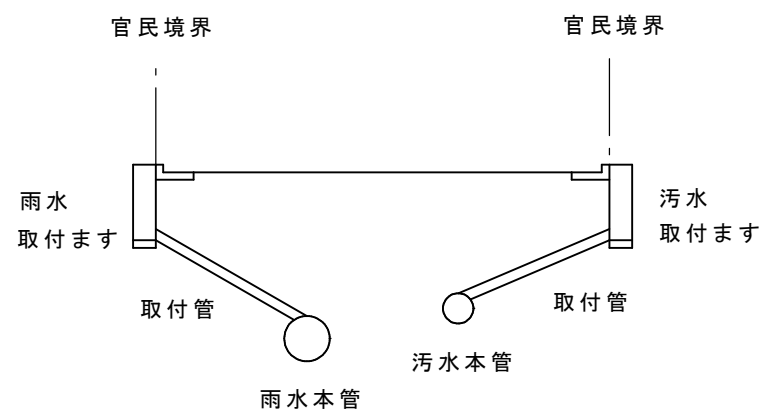
A - A' 断面図



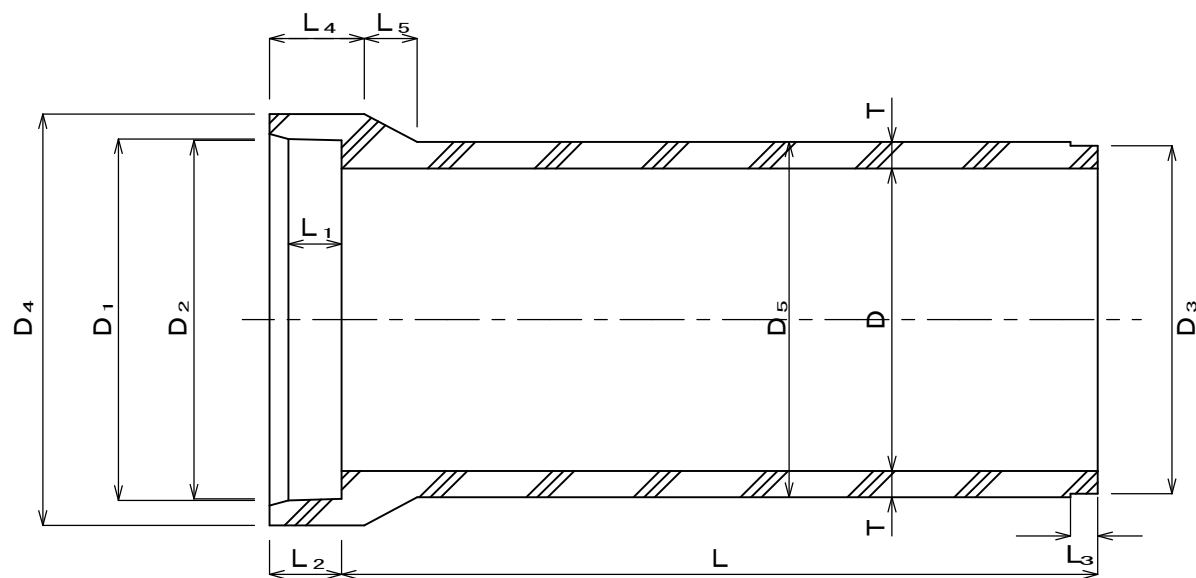
平面図



A－A'断面図



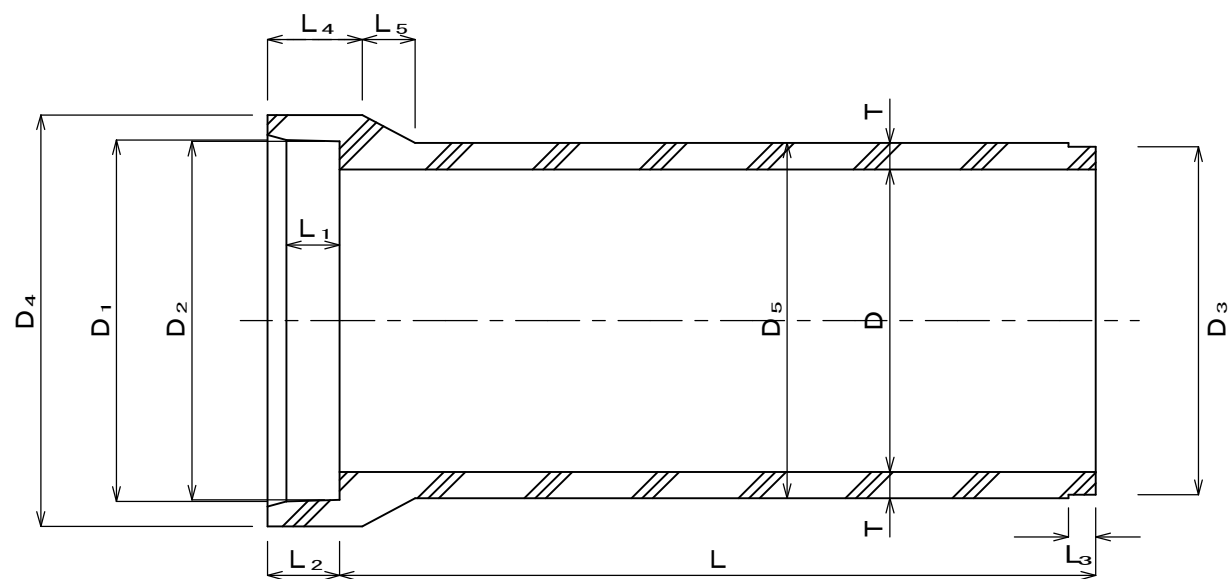
- ・ 取付管位置は、本管の水平方向の中心線から上方に取り付けること。
- ・ 占用位置については、道路管理者と協議すること。



(単位：mm)

呼び径	D	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	T	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L ₅	L	管外径 D ₅	参考重量 kg／本	呼び径
150	150	210	206	194	262	26	65	90	32	115	50	2000	202	77	150
200	200	262	258	246	316	27					55		254	103	200
250	250	314	310	298	370	28				120	60		306	131	250
300	300	368	364	350	424	30			65		360		165	300	
350	350	422	418	404	482	32			125	70	414		204	350	
400	400	478	474	460	544	35	70	95		75	470	306	400		
450	450	534	530	516	606	38				85	526	373	450		
500	500	592	588	574	672	42			75	100	130	584	459	500	
600	600	708	704	690	804	50	105	135			700	660	600		
700	700	824	820	802	936	58	40	140			115	816	899	700	
800	800	940	936	918	1068	66			80	110	150	932	1170	800	
900	900	1058	1054	1036	1204	75			85	115	160	1050	1520	900	
1000	1000	1172	1168	1150	1332	82		96	120	165	1164	1850	1000		
1100	1100	1286	1282	1260	1458	88		100	125	42	175	175	1276	2190	1100
1200	1200	1400	1396	1374	1586	95	104	130	185		190	1390	2600	1200	
1350	1350	1566	1562	1540	1768	103	108	135	195		205	1556	3190	1350	

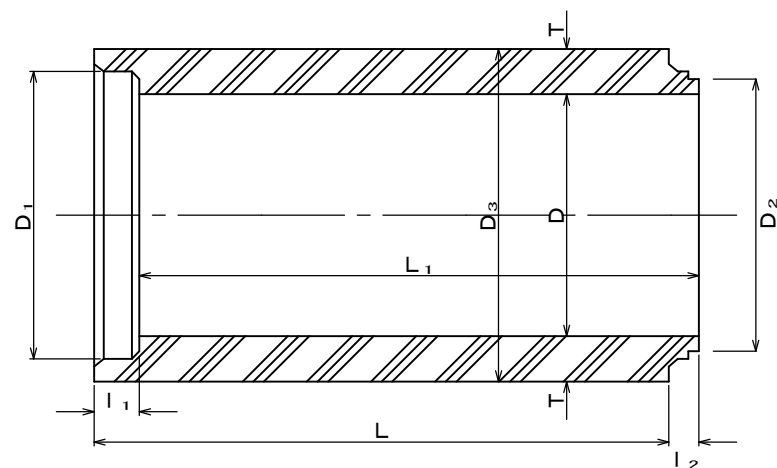
呼び径	ひびわれ荷重 (kN／m)		破壊荷重 (kN／m)		寸 法 許 容 差 (mm)							
	1 種	2 種	1 種	2 種	D	D ₁ D ₃	T	L ₂	L ₃	L		
150	16.7	23.6	25.6	47.1	±3	±2	+3 -2	±5	±4	+10 - 5		
200												
250												
300	17.7	25.6	26.5	51.1	±4		+4 -2				±5	±5
350	19.7	27.5	29.5	55.0								
400	21.6	32.4	32.4	62.8								
450	23.6	36.3	35.4	66.8								
500	25.6	41.3	38.3	70.7								
600	29.5	49.1	44.2	77.5								
700	32.4	54.0	49.1	85.4								
800	35.4	58.9	53.0	93.2								
900	38.3	63.8	57.9	101.0								
1000	41.3	68.7	61.9	108.0	±6	+3 -2	+6 -3		±5			
1100	43.2	72.6	65.8	113.0								
1200	45.2	75.6	71.7	118.0								
1350	47.1	79.5	81.5	126.0								



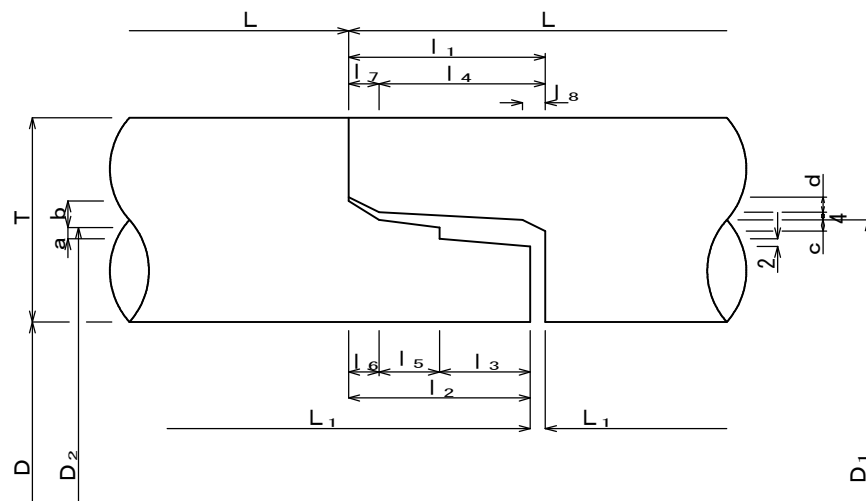
(単位：mm)

呼び径	D	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	T	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L ₅	L	管外径 D ₅	参考重量 kg／本	呼び径
150	150	210	206	194	262	26	72	90	32	115	50	2000	202	77	150
200	200	262	258	246	316	27					55		254	103	200
250	250	314	310	298	370	28				120	60		306	131	250
300	300	368	364	350	424	30	76		65				360	165	300
350	350	422	418	404	482	32					414		204	350	
400	400	478	474	460	544	35	86	95	36	125	70	2430	470	306	400
450	450	534	530	516	606	38					75		526	373	450
500	500	592	588	574	672	42				130	85		584	459	500
600	600	708	704	690	804	50	100	135		100	700		660	600	
700	700	824	820	802	936	58	90	105		40	140		115	816	899
800	800	940	936	918	1068	66		110	150		130		932	1170	800
900	900	1058	1054	1036	1204	75		115	160		150		1050	1520	900

呼び径	ひびわれ荷重 (kN／m)		破壊荷重 (kN／m)		寸 法 許 容 差 (mm)					
	1 種	2 種	1 種	2 種	D	D ₁ D ₃	T	L ₂	L ₃	L
150	16. 7	23. 6	25. 6	47. 1	±3	±2	+3 −2	±5	±4	+10 − 5
200										
250										
300	17. 7	25. 6	26. 5	51. 1	±4		+4 −2			
350	19. 7	27. 5	29. 5	55. 0						
400	21. 6	32. 4	32. 4	62. 8						
450	23. 6	36. 3	35. 4	66. 8						
500	25. 6	41. 3	38. 3	70. 7						
600	29. 5	49. 1	44. 2	77. 5						
700	32. 4	54. 0	49. 1	85. 4		+3 −2			±5	
800	35. 4	58. 9	53. 0	93. 2						
900	38. 3	63. 8	57. 9	101. 0						



継手部詳細（参考）



（単位：mm）

(単位: mm)																						
呼び径	D	D ₁	D ₂	T	I ₁	I ₂	I ₃	I ₄	I ₅	I ₆ , I ₇	I ₈	a	b	c	d	L	L ₁	管外径 D ₃	参考重量 kg／本	呼び径		
1500	1500	1632	1598	140	120	115	55	105	45	15	25	10	12	9	12	2300	2295	1780	4050	1500		
1650	1650	1792	1758	150														1950	4760	1650		
1800	1800	1950	1916	160														2120	5530	1800		
2000	2000	2164	2130	175														2350	6710	2000		
2200	2200	2378	2344	190														2580	8010	2200		
2400	2400	2594	2550	205	135	130	65	120	50		30	12	12	12	12	12	12	2300	2295	2810	9400	2400
2600	2600	2808	2764	220																3040	10900	2600
2800	2800	3022	2978	235																3270	12600	2800
3000	3000	3236	3192	250																3500	14300	3000

呼び径	ひびわれ荷重（kN／m）			破壊荷重（kN／m）			寸 法 許 容 差（mm）					
	1 種	2 種	3 種	1 種	2 種	3 種	D	D ₁	D ₂	T	I ₁ ， I ₂	L， L ₁
1500	50.1	83.4	110.0	91.3	134.0	165.0	± 8	± 3	± 2	+ 8 － 4	± 2	+ 10 － 5
1650	53.0	88.3	117.0	102.0	143.0	176.0						
1800	56.0	93.2	123.0	111.0	151.0	185.0						
2000	58.9	98.1	130.0	118.0	161.0	195.0	± 10					
2200	61.9	104.0	137.0	124.0	172.0	206.0						
2400	64.8	108.0	143.0	130.0	183.0	214.0						
2600	67.7	113.0	150.0	136.0	193.0	224.0	± 12	± 4	± 3	+ 12 － 6		
2800	70.7	118.0	155.0	142.0	204.0	233.0						
3000	73.6	123.0	162.0	148.0	213.0	244.0						

図名

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 直管（共通・ゴム輪）

藤沢市 3- 1

直管部寸法（共通）

ゴム輪受口片受け直管寸法

(単位：mm)

呼び径	外 径		厚 さ		近似内径 d (参 考)	1 m 当 たり の 質 量 (kg) (参 考)
	D	平 均 外 径 の 許 容 差	t (最小)	許 容 差		
75	89	±0.3	2.7	±0.6	83	1.159
100	114	±0.4	3.1	±0.8	107	1.737
125	140	±0.5	4.1		131	2.739
150	165		5.1		154.0	3.941
200	216	±0.7	6.5	±1.0	202.0	6.572
250	267	±0.9	7.8	±1.2	250.2	9.758
300	318	±1.0	9.2	±1.4	298.2	13.701
350	370	±1.2	10.5		347.6	18.051
400	420	±1.3	11.8	±1.6	394.8	23.059
450	470	±1.5	13.2	±1.8	441.8	28.875
500	520	±1.6	14.6	±2.0	488.8	35.346
600	630	±3.2	17.8	±2.8	591.6	52.679

(単位：mm)

呼び径	L
100	4000 ± 15
125	
150	
200	
250	
300	
350	
400	
450	
500	
600	

(単位：mm)

呼び径	L
100	800 ± 10
125	
150	4000 ± 15
200	

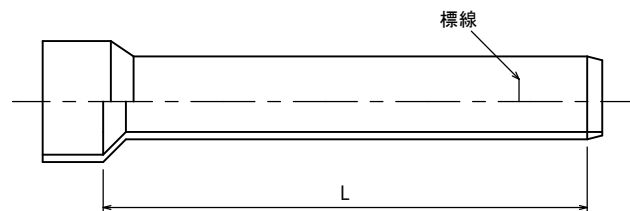
※面取りの形状は規定しない。

備考

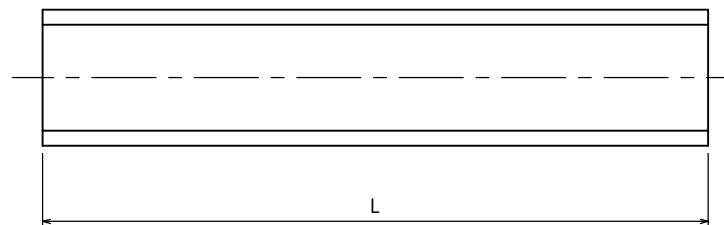
- ・平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値（平均外径）と基準寸法との差をいう。
- ・表中1m当たりの質量は、密度1.43（g/cm³）で算出したものである。
- ・内径は、管の厚さをt（最小）＋許容差／2として算出したものである。
- ・ J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1

接着受口片受け直管寸法

(略号 ST)



プレーンエンド直管寸法



(単位：mm)

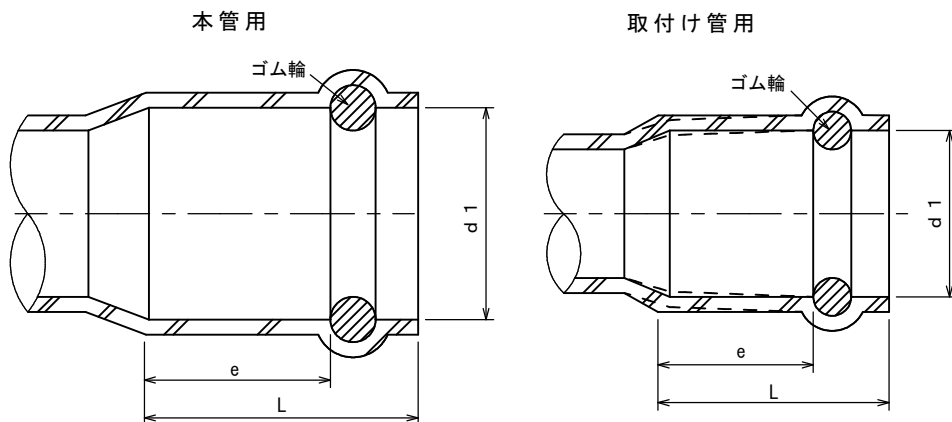
呼び径	L
100	4000±15
125	
150	
200	
250	
300	
350	
400	
450	
500	
600	

※面取りの形状は規定しない。

(単位：mm)

呼び径	L
75	4000±10
100	
125	
150	
200	
250	
300	
350	
400	
450	
500	
600	

ゴム輪受口



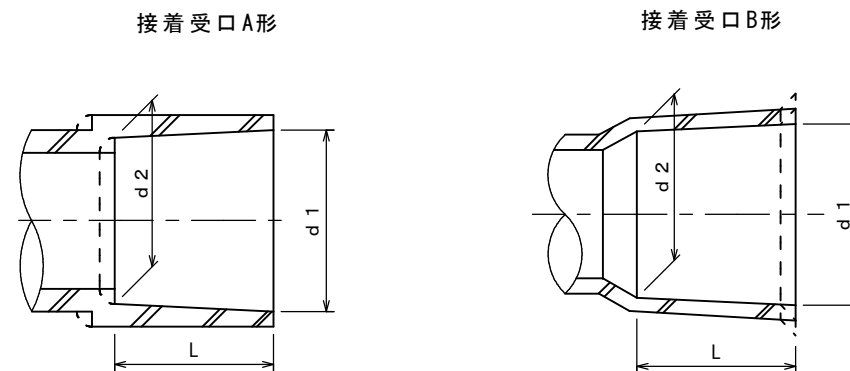
(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ L (最大)
100	114.5	42	145
125	140.6	44	155
150	165.7	53	165
200	216.9	54	185
250	268.1	59	205
300	319.3	62	225
350	371.5	67	240
400	421.7	72	260
450	471.9	77	285
500	522.1	82	305
600	633.8	93	355

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ L (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

接着受口



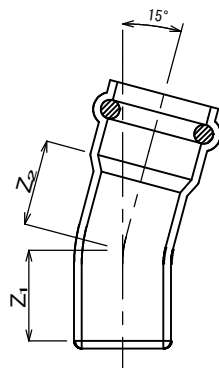
(単位: mm)

呼び径	受口内径				受口長さ	
	d1	許容差	d2	許容差	L	許容差
75	89.6	±0.3	88.3	±0.3	40	±5
100	114.8	±0.4	113.2	±0.4	50	
125	140.9		139.1		65	
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10
250	268.6		265.4		140	
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	
350	372.0		368.7		200	
400	422.3	±0.8	418.4	±0.8	220	
450	472.6		468.1		250	
500	522.8	±0.9	518.2	±0.9	280	
600	634.3		626.7		330	

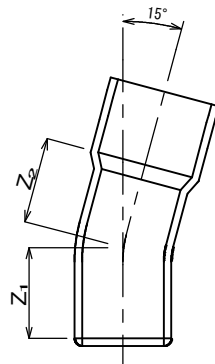
- ・破線で示す形状にすることもできる。
- ・ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は、規定しない。
- ・受口内径d1及びd2は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。
- ・接着受口A形の受口長さを、呼び径250はL=125±10、呼び径300はL=140±10とすることができる。
- ・ J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1

15° 曲管寸法

ゴム輪受口 (略号 15SR)



接着受口 (略号 15ST)

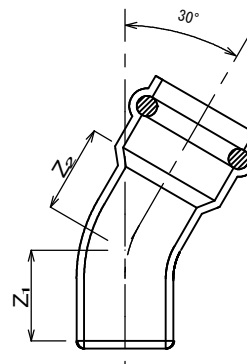


(単位: mm)

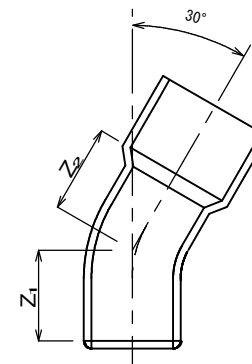
呼び径	Z ₁	Z ₂ (最小)
100	110	5
125	118	10
150	129	15
200	149	25

30° 曲管寸法

ゴム輪受口 (略号 30SR)



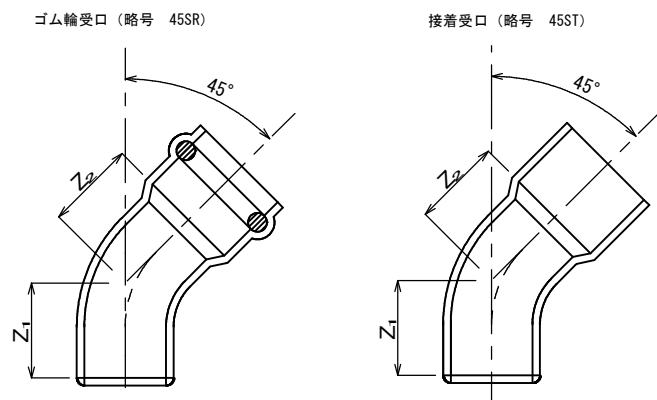
接着受口 (略号 30ST)



(単位: mm)

呼び径	Z ₁	Z ₂ (最小)
100	138	5
125	146	10
150	159	15
200	187	25

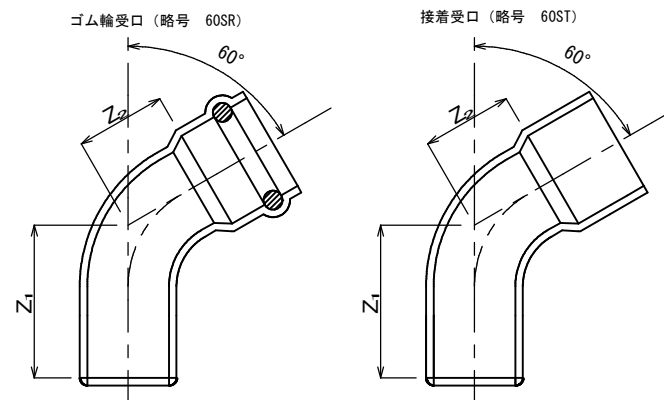
45° 曲管寸法



(単位: mm)

呼び径	Z ₁	Z ₂ (最小)
100	167	35
125	175	
150	191	40
200	228	55

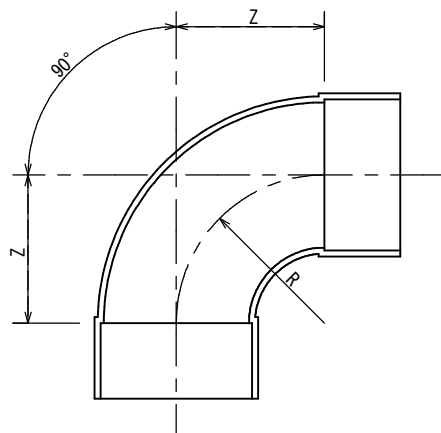
60° 曲管寸法



(単位: mm)

呼び径	Z ₁	Z ₂ (最小)
100	199	55
125	207	
150	227	60
200	274	75

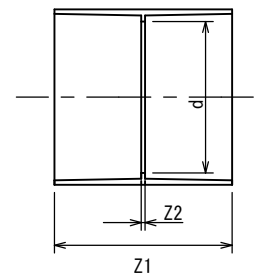
- ・Z₁の許容差は、±15mmとする。
- ・面取りの形状は規定しない。
- ・ゴム輪受口は、取付け管形とする。
- ・J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1

90° 曲管寸法
(略号 90ST)

寸 法 表

(単位: mm)

呼 び 径	Z	R(参考)
75	100	100
100	128	128
125	140	140
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

接着受口カラー寸法
(略号 WTB)

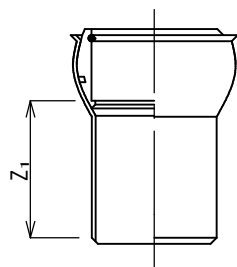
寸 法 表

(単位: mm)

呼 び 径	Z ₁	Z ₂	d(参考)
75	84	4	83
100	105	5	107
125	135	5	131
150	165	5	154
200	235	5	202
250	276	5	250
300	307	5	298

- ・ Zの許容差は、±15mmとする。
- ・ Z₁の許容差は、呼び径75～150は±10mm、呼び径200～300は±20mmとする。
- ・ Z₂の許容差は、±2mmとする。
- ・ J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1

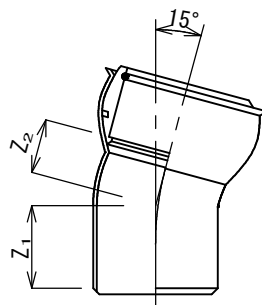
0° 自在曲管 (略号 0SRF)



(単位: mm)

呼 び 径	Z ₁ (最小)
100	90
125	100
150	110
200	125

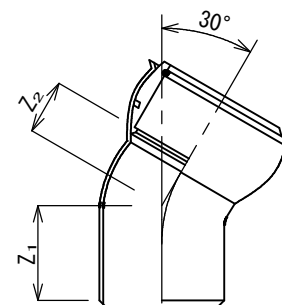
15° 自在曲管 (略号 15SRF)



(単位: mm)

呼 び 径	Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)
100	90	30
125	100	31
150	101	40
200	121	54

30° 自在曲管 (略号 30SRF)

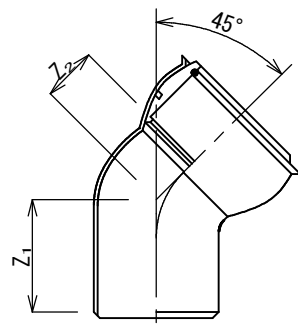


(単位: mm)

呼 び 径	Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)
100	98	30
125	110	41
150	117	50
200	140	75

- ・ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。
- ・面取りの形状は規定しない。
- ・J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1

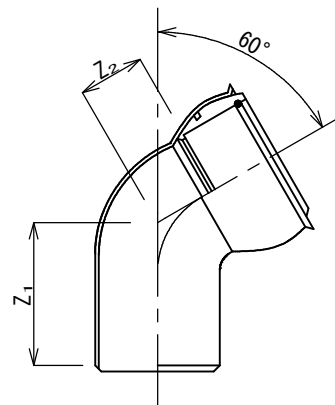
45° 自在曲管 (略号 45SRF)



(単位: mm)

呼び径	Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)
100	107	40
125	120	51
150	130	68
200	155	93

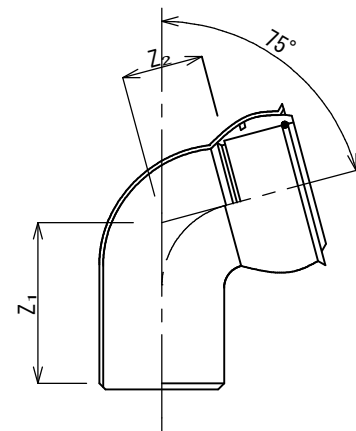
60° 自在曲管 (略号 60SRF)



(単位: mm)

呼び径	Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)
100	112	50
125	126	61
150	134	75
200	175	121

75° 自在曲管 (略号 75SRF)



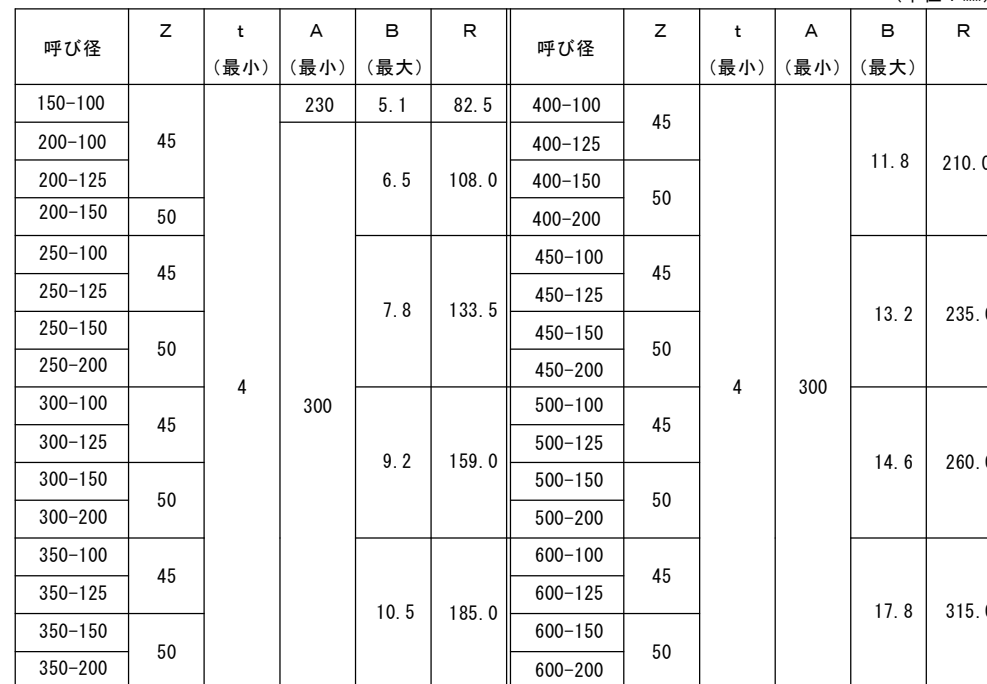
(単位: mm)

呼び径	Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)
100	123	60
125	140	75
150	155	95
200	195	135

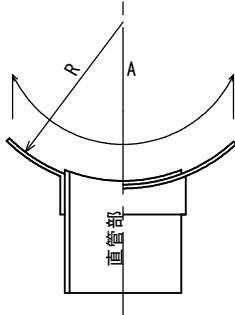
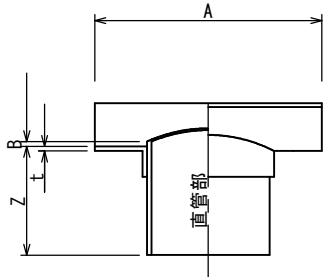
- ・ゴム輪受口は、取付け管形(自在)とする。
- ・面取りの形状は規定しない。
- ・JIS K 6741 JSWAS K-1

図名	下水道用硬質塩化ビニル管規格図	鉄筋コンクリート管及び陶管用A型90° 支管	藤沢市 3- 9																				
鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90° 支管 (略号 A90SHR) 砂付け又はシボ加工とする。 (単位：mm) <table><tr><th>呼 び 径</th><th>Z</th><th>t (最小)</th><th>a (最小)</th><th>b1 (最小)</th><th>B (最大)</th></tr><tr><td>100</td><td rowspan="2">45</td><td rowspan="4">4</td><td rowspan="4">35</td><td>70</td><td rowspan="4">25</td></tr><tr><td>125</td><td>90</td></tr><tr><td>150</td><td colspan="2" rowspan="2">50</td><td>100</td></tr><tr><td>200</td><td>140</td></tr></table>				呼 び 径	Z	t (最小)	a (最小)	b1 (最小)	B (最大)	100	45	4	35	70	25	125	90	150	50		100	200	140
呼 び 径	Z	t (最小)	a (最小)	b1 (最小)	B (最大)																		
100	45	4	35	70	25																		
125				90																			
150	50			100																			
200				140																			
備考	・ Zの許容差は、±15mmとする。 ・ Rは、本管の呼び径500以下は200mm、600以上は600mmを標準とする。 ・ 破線で示す形状にすることもできる。 ・ ゴム輪受口は、取付管形とする。 ・ シボ加工とは、プラスチックの表面（裏面）に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。 ・ J I S K 6 7 4 1 J S W A S K - 1																						

(单位: mm)



・本管と取付管の接続には可とう性を有する材料を使用すること(8章参照)。

図名	下水道用硬質塩化ビニル管規格図 副管用90° 支管	藤沢市 3-11																																																														
副管用90° 支管寸法 (略号 VS)  寸 法 表 (単位: mm) <table><thead><tr><th>呼 び 径</th><th>Z</th><th>t (最小)</th><th>A (最小)</th><th>B (最大)</th><th>R</th></tr></thead><tbody><tr><td>150－100</td><td rowspan="2">120</td><td rowspan="17">4</td><td>250</td><td>5.1</td><td>82.5</td></tr><tr><td>200－125</td><td rowspan="13">300</td><td>6.5</td><td>108.0</td></tr><tr><td>200－150</td><td>140</td><td rowspan="2">7.8</td><td rowspan="2">133.5</td></tr><tr><td>250－125</td><td>120</td></tr><tr><td>250－150</td><td>140</td><td rowspan="2">9.2</td><td rowspan="2">159.0</td></tr><tr><td>250－200</td><td>160</td></tr><tr><td>300－150</td><td>140</td><td rowspan="2">10.5</td><td rowspan="2">185.0</td></tr><tr><td>300－200</td><td>160</td></tr><tr><td>350－150</td><td>140</td><td rowspan="2">11.8</td><td rowspan="2">210.0</td></tr><tr><td>350－200</td><td>160</td></tr><tr><td>400－200</td><td>160</td><td rowspan="2">13.2</td><td rowspan="2">235.0</td></tr><tr><td>400－250</td><td>200</td></tr><tr><td>450－200</td><td>160</td><td rowspan="2">14.6</td><td rowspan="2">260.0</td></tr><tr><td>450－250</td><td>200</td></tr><tr><td>500－250</td><td rowspan="3">220</td><td>350</td><td>17.8</td><td>315.0</td></tr><tr><td>500－300</td><td rowspan="2">350</td><td rowspan="2">17.8</td><td rowspan="2">315.0</td></tr><tr><td>600－300</td></tr></tbody></table>			呼 び 径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	150－100	120	4	250	5.1	82.5	200－125	300	6.5	108.0	200－150	140	7.8	133.5	250－125	120	250－150	140	9.2	159.0	250－200	160	300－150	140	10.5	185.0	300－200	160	350－150	140	11.8	210.0	350－200	160	400－200	160	13.2	235.0	400－250	200	450－200	160	14.6	260.0	450－250	200	500－250	220	350	17.8	315.0	500－300	350	17.8	315.0	600－300
呼 び 径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R																																																											
150－100	120	4	250	5.1	82.5																																																											
200－125			300	6.5	108.0																																																											
200－150	140			7.8	133.5																																																											
250－125	120																																																															
250－150	140			9.2	159.0																																																											
250－200	160																																																															
300－150	140			10.5	185.0																																																											
300－200	160																																																															
350－150	140			11.8	210.0																																																											
350－200	160																																																															
400－200	160			13.2	235.0																																																											
400－250	200																																																															
450－200	160			14.6	260.0																																																											
450－250	200																																																															
500－250	220		350	17.8	315.0																																																											
500－300			350	17.8	315.0																																																											
600－300																																																																
備考	・呼び径は、「本管呼び径－取付管呼び径」である。 ・Zの許容差は±10mmとする。 ・Rは、標準値を示す。 ・直管部の寸法は本標準図3－1直管部寸法（共通）による。 ・破線で示す形状にすることもできる。 ・ J I S K 6 7 4 1 J S W A S K－1																																																															

図名

管基礎 管の種類と基礎・地盤の区分例（参考）

 藤沢市 4- 1

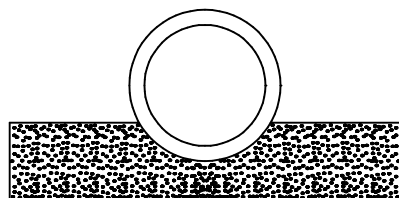
管の種類と基礎						
管 種		地 盤		硬質土及普通土	軟 弱 土	極 軟 弱 土
剛性管	鉄筋コンクリート管			砂基礎	砂基礎	はしご胴木基礎
	レジンコンクリート管			コンクリート基礎 碎石基礎	碎石基礎 はしご胴木基礎 コンクリート基礎	鳥居基礎 鉄筋コンクリート基礎
可とう性管	硬質塩化ビニル管			砂基礎	砂基礎	ベットシート基礎
	ポリエチレン管				ベットシート基礎	ソイルセメント基礎
	強化プラスチック複合管			砂基礎 碎石基礎	ソイルセメント基礎	はしご胴木基礎 布基礎
	ダクタイル鋳鉄管			砂基礎	砂基礎	砂基礎
	鋼 管					はしご胴木基礎 布基礎

地盤の区分例	
地 盤	代 表 的 な 土 質
硬 質 土	硬質粘土、れき混り土及びれき混り砂
普 通 土	砂、ローム及び砂質粘土
軟 弱 土	シルト及び有機質土
極 軟 弱 土	非常に緩い、シルト及び有機質土

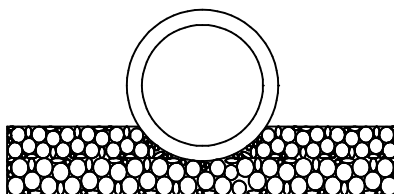
備考

・ 岩盤に布設する場合は、応力を均等に分布できる構造となる基礎とする。

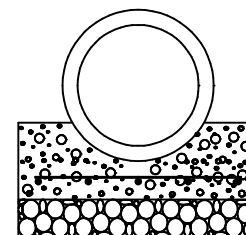
砂基礎



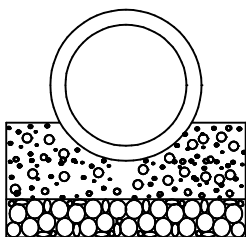
碎石基礎



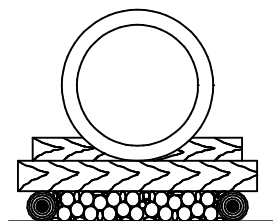
鉄筋コンクリート基礎



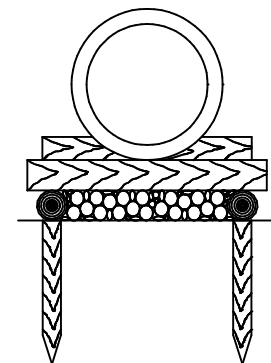
コンクリート基礎



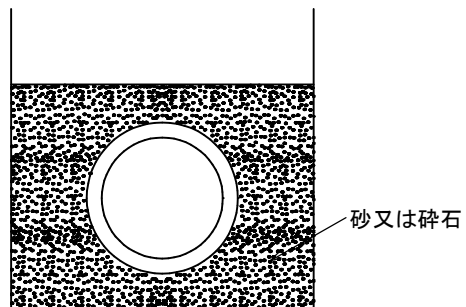
はしご胴木基礎



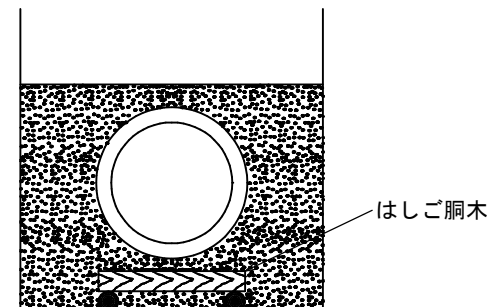
鳥居基礎



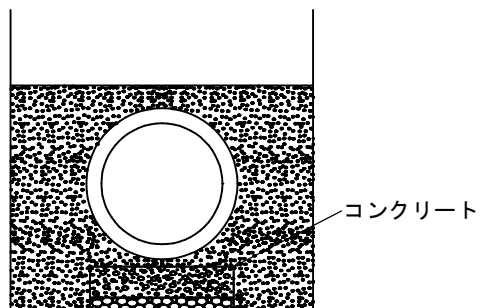
砂基礎



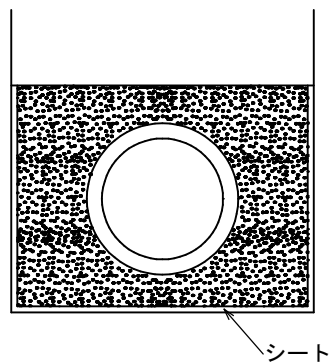
はしご胴木基礎



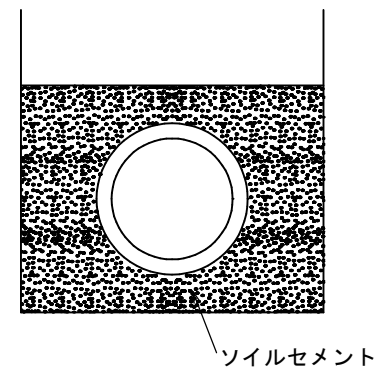
布基礎

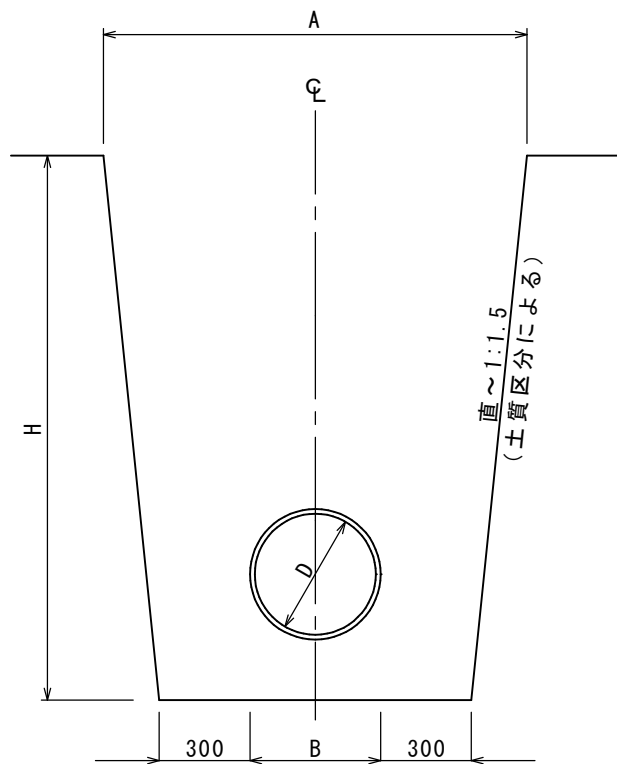
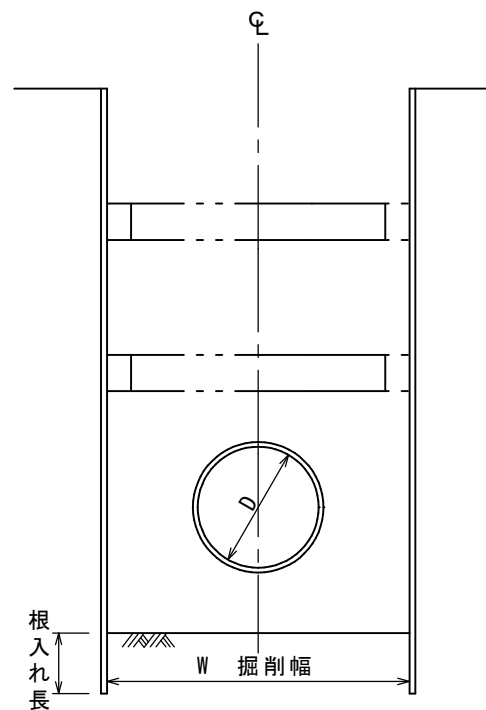


ベッドシート基礎



ソイルセメント基礎

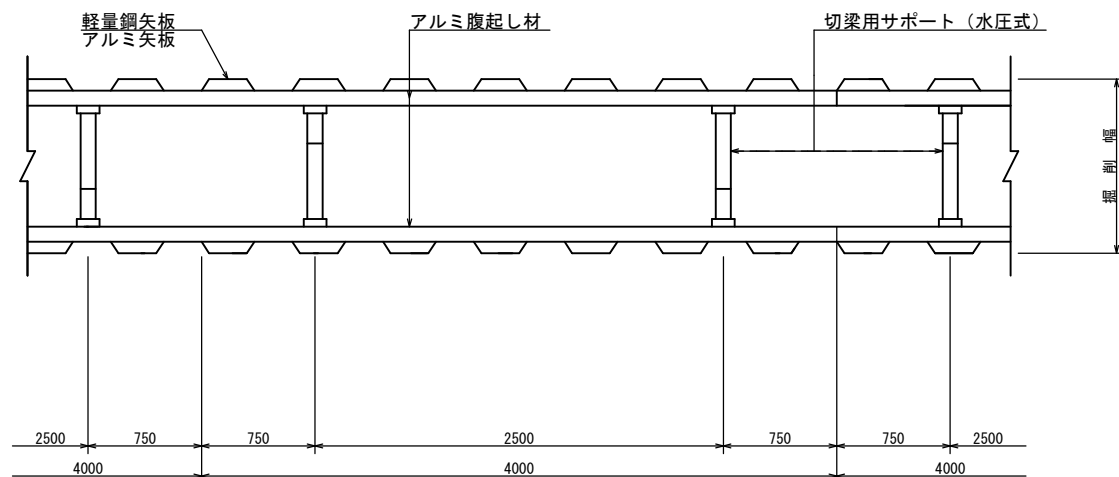


掘削
素堀の場合掘削
軽量鋼矢板及び鋼矢板等使用

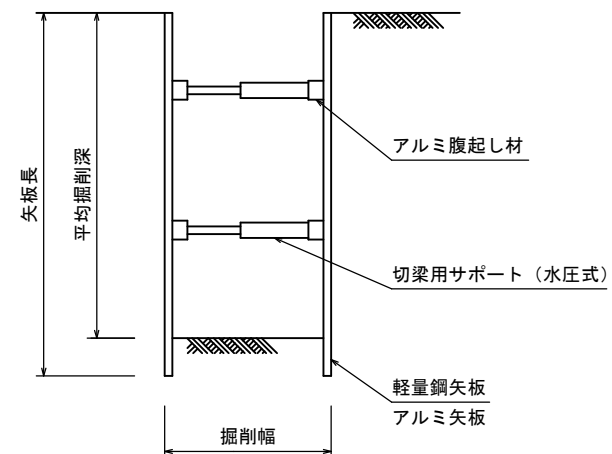
- ・掘削及び埋戻しは、機械施工を原則とする。
- ・埋戻しは、一層厚20cm毎の転圧とする。
- ・埋戻しの管頂30cmまでは、人力転圧を併用する。
- ・土質条件と掘削深によって適切な法勾配を確保すること。

* 上記作業について各道路管理者と協議し施工方法を決定すること。

平面図

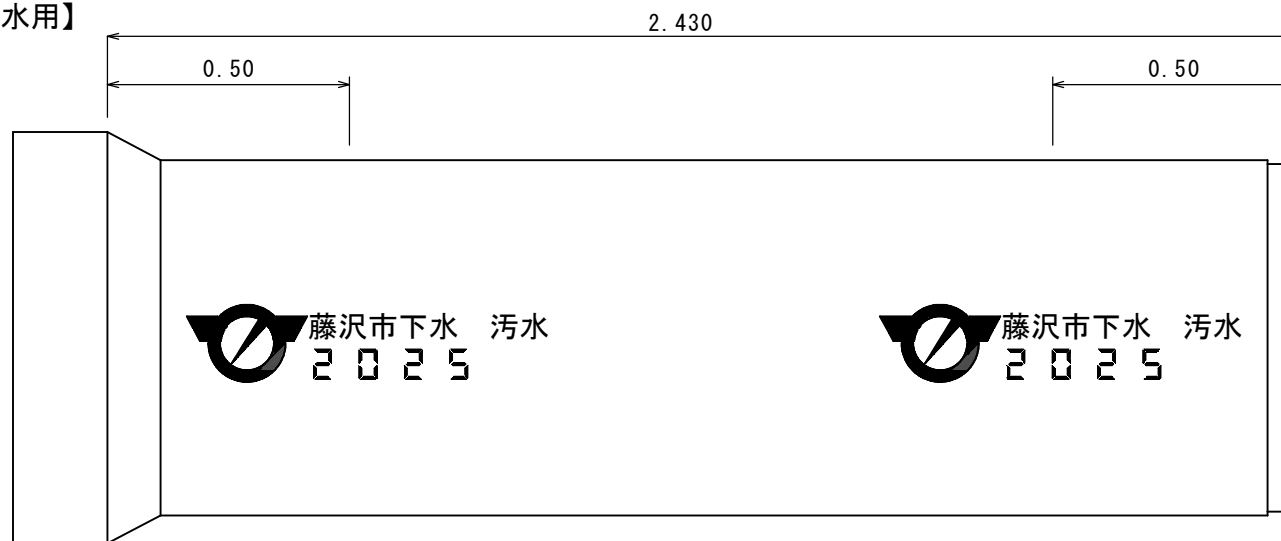


断面図

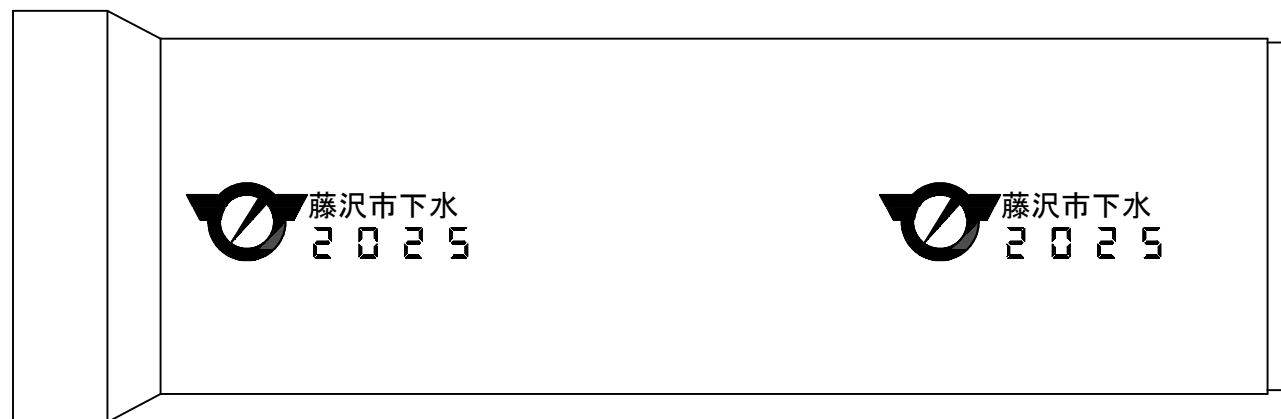


平均掘削深 (m)	段数	矢板長
$1.50 \leq h \leq 1.80$	1	2.0m
$1.80 < h \leq 2.00$	1	2.5m
$2.00 < h \leq 2.30$	2	2.5m
$2.30 < h \leq 2.80$	2	3.0m
$2.80 < h \leq 3.00$	2	3.5m
$3.00 < h \leq 3.30$	2	3.5m
$3.30 < h \leq 3.50$	2	4.0m
$3.50 < h \leq 3.80$	3	4.0m

【汚水用】



【雨水・合流用】



マンホールの管きょ径別最大間隔

現場条件等を考慮し下表によりがたい場合は、別途下水道管理者と協議すること。

管きょ径 (mm)	600以下	1,000以下	1,500以下	1,650以上
最大間隔 (m)	※75	100	150	200

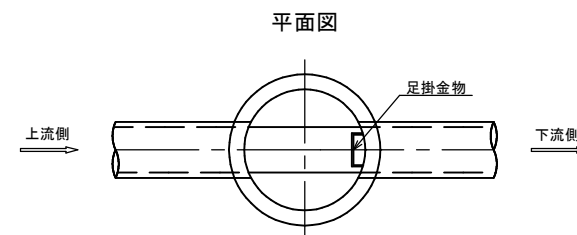
※ 小口径管 (φ 600mm以下) については、最大間隔80mまで可能。

マンホールの接続管径及び形状別用途

呼び方	形 状 寸 法	接続管径 (単位mm)		用 途
		中間点	会合点	
円形 0 号	内径 75cm 円形	400	250	小規模な排水又は起点 他の埋設物の制約等から1号マンホールが 設置できない場合
円形 1 号	内径 90cm 円形	500	400	管の起点及び内径500mm以下の管の中間点 並びに内径400mmまでの管の会合点
円形 2 号	内径120cm 円形	800	500	内径800mm以下の管の中間点及び 内径500mm以下の管の会合点
円形 3 号	内径150cm 円形	1100	700	内径1,100mm以下の管の中間点及び 内径700mm以下の管の会合点
円形 4 号	内径180cm 円形	1200	800	内径1,200mm以下の管の中間点及び 内径800mm以下の管の会合点
円形 5 号	内径220cm 円形	1500	1100	内径1,500mm以下の管の中間点及び 内径1,100mm以下の管の会合点

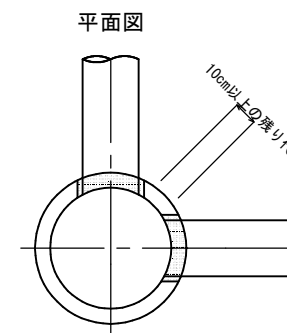
足掛金物の位置

※ 下流側が小口径管 (φ 600mm以下) の場合、
足掛金物は原則下流側へ設置。

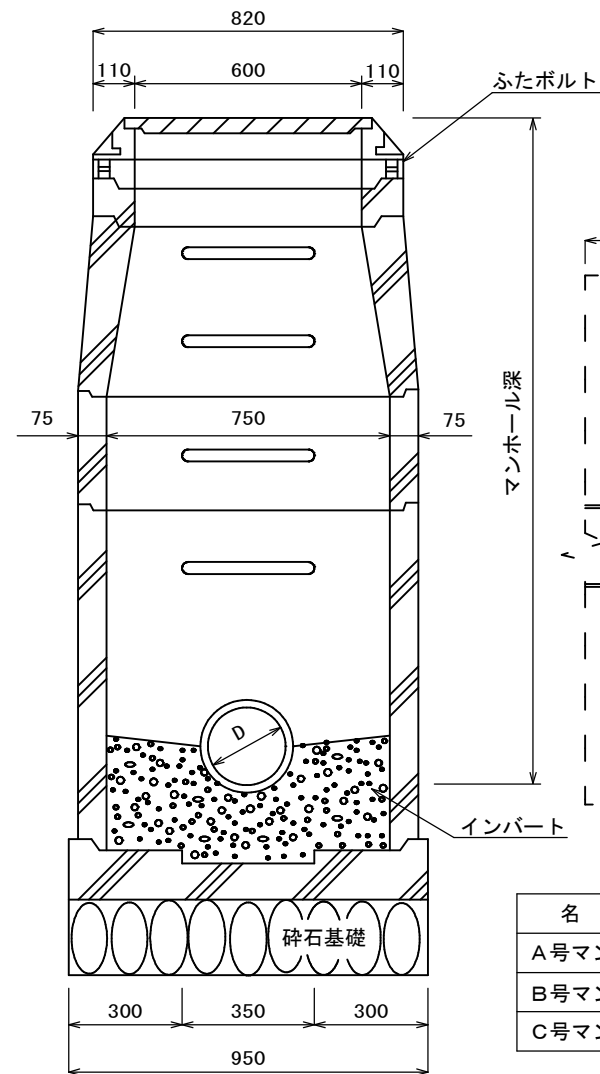


削孔間隔

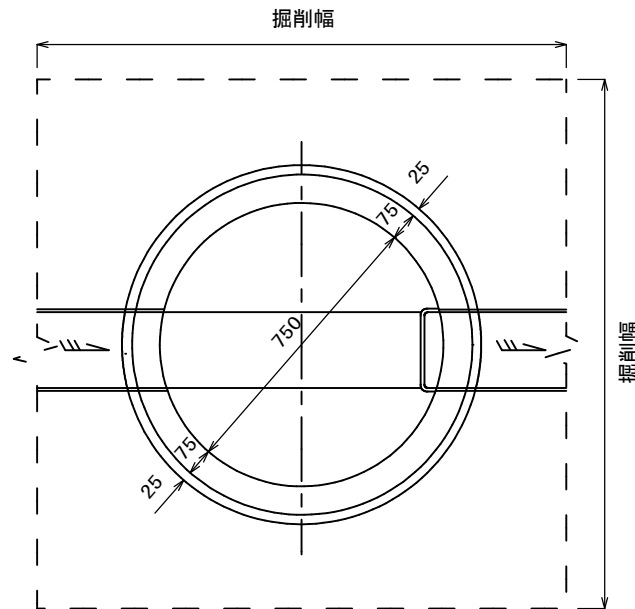
※ 削孔間隔は10cm以上の残り代を確保すること。
10cm以下になる場合は別途防護コンクリートをする。



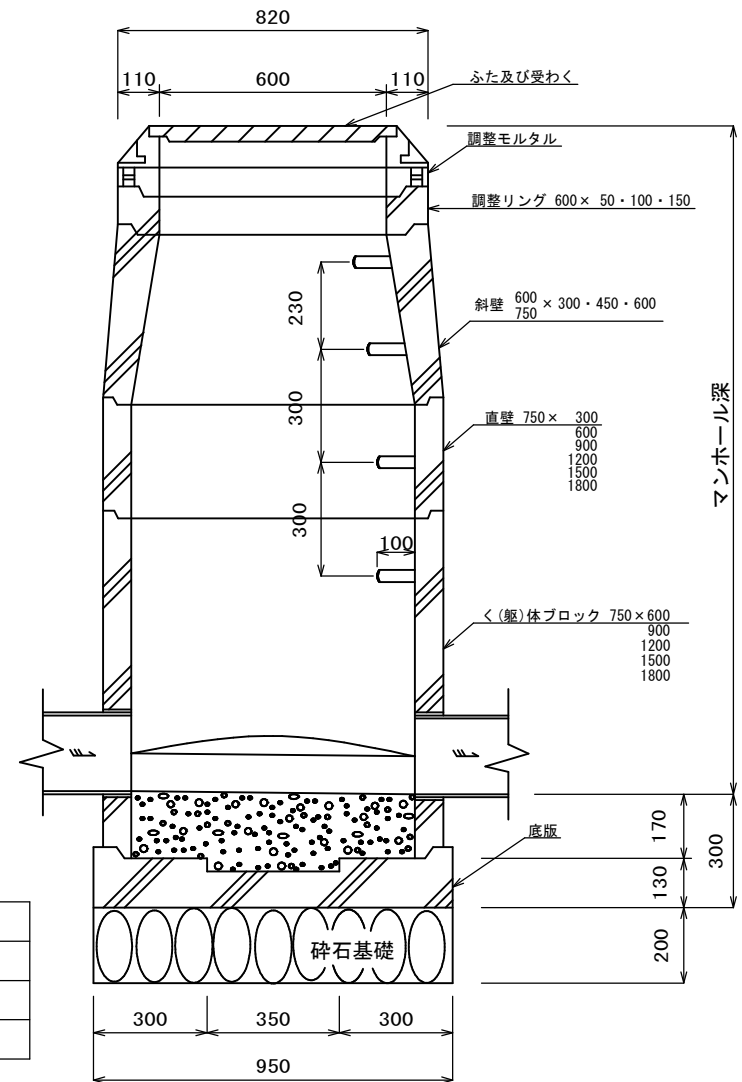
横断面図



平面図

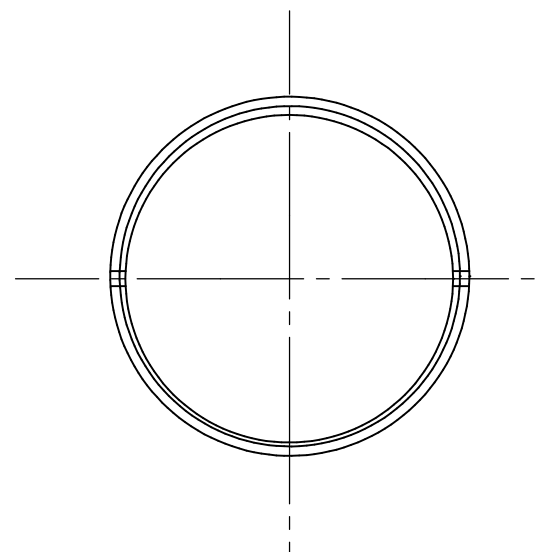
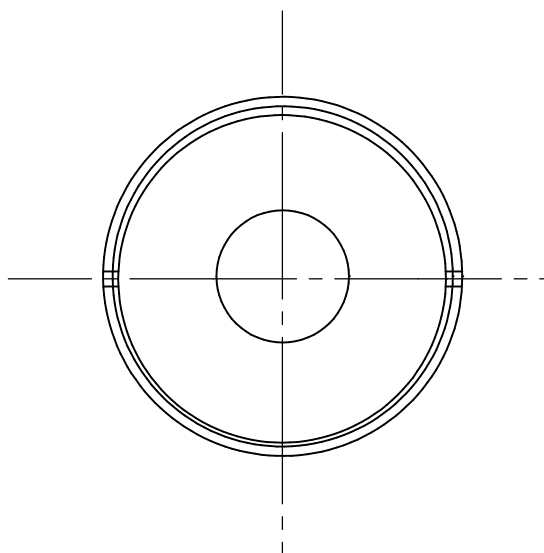
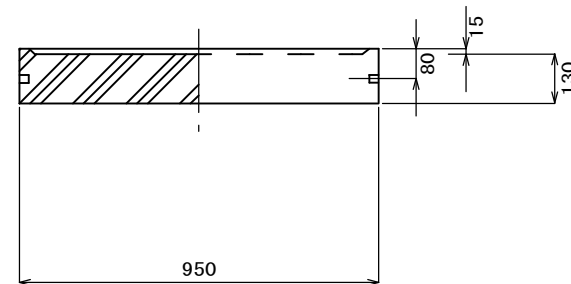
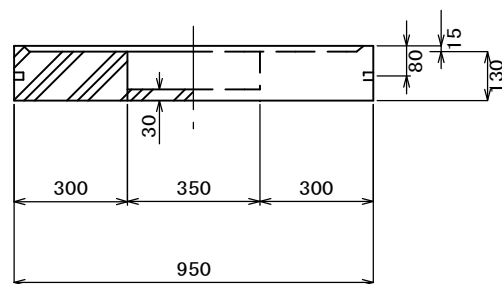


縦断面図

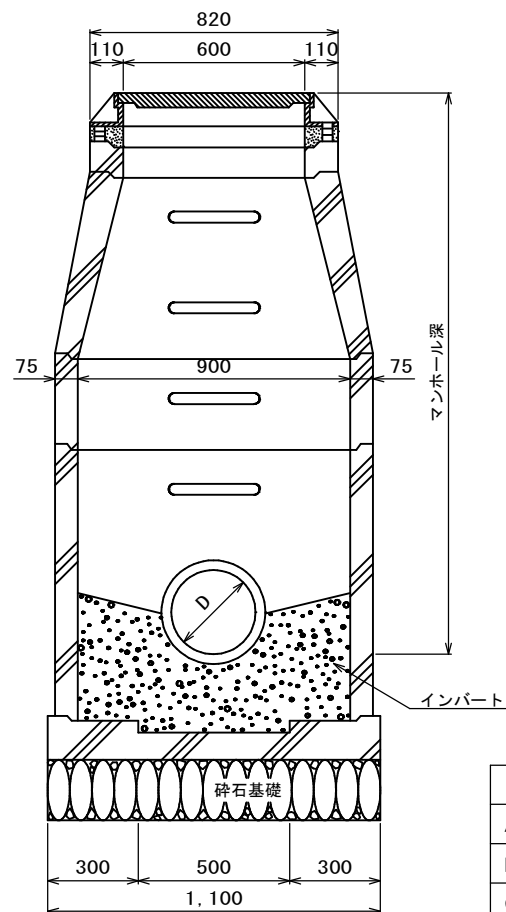


名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インパート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

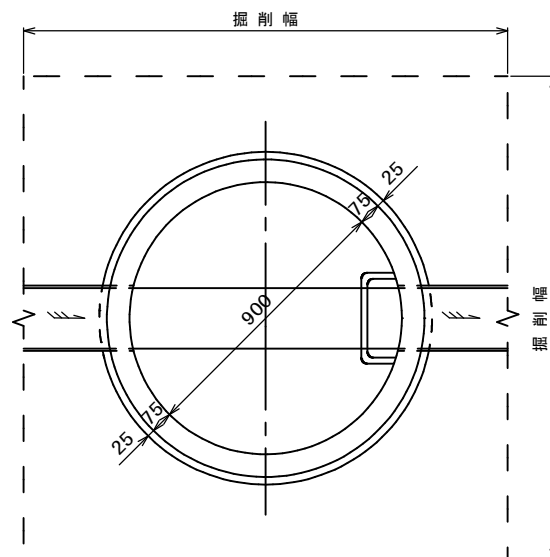
- ・JSWAS A-11
- ・基礎に関しては、支持地盤が明らかに適用不能と判断される場合は、基礎種別・厚さ等について別途検討するものとする。
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。



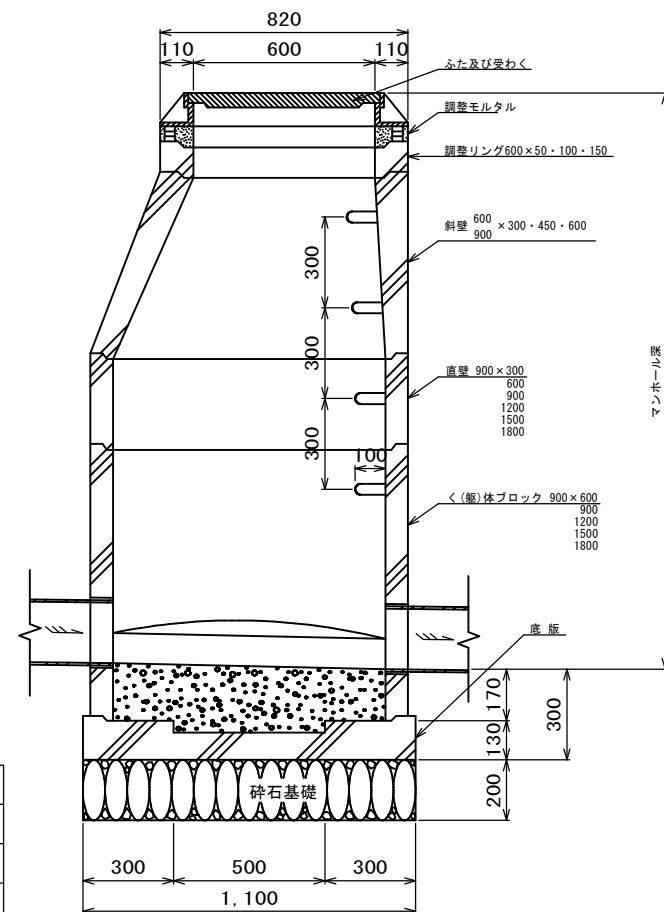
横断面図



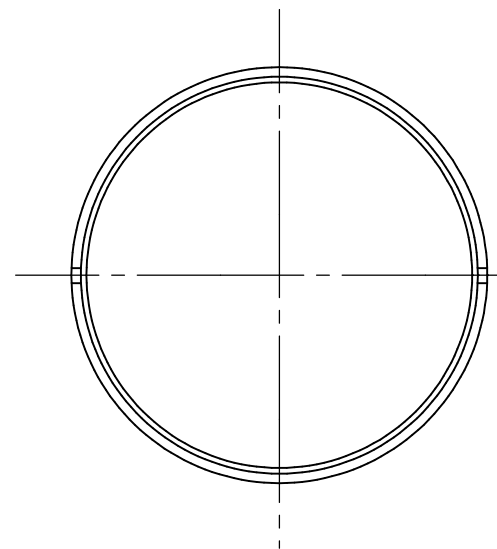
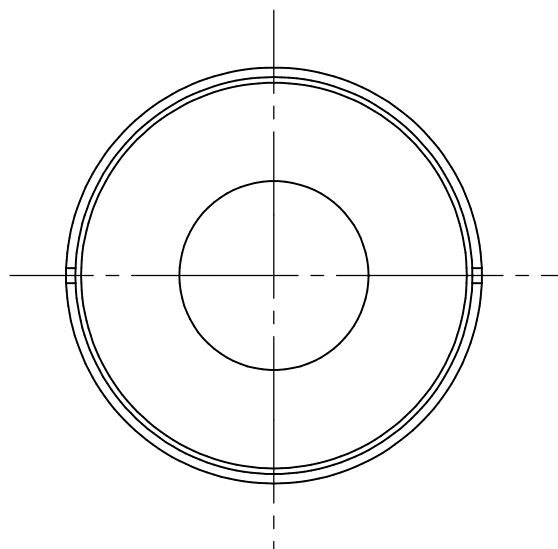
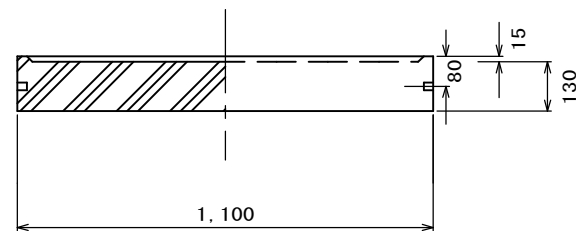
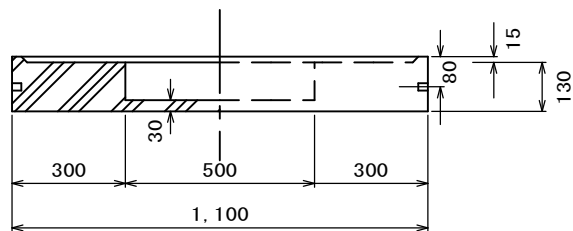
平面図



縦断面図

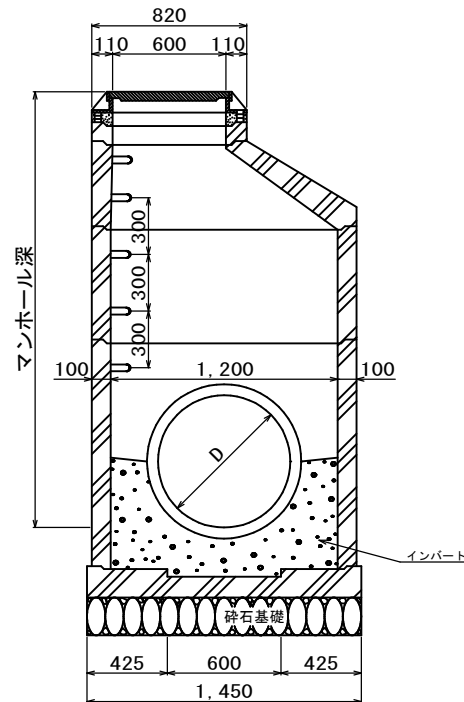


名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

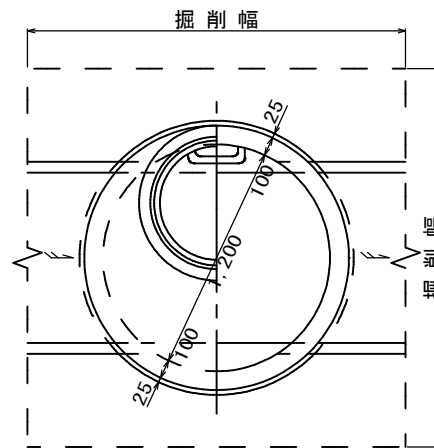




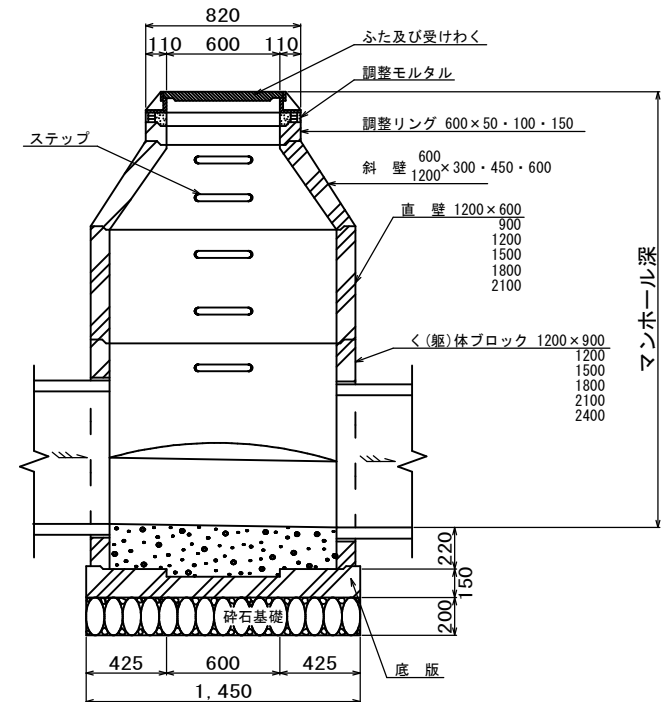
横断面図



平面図



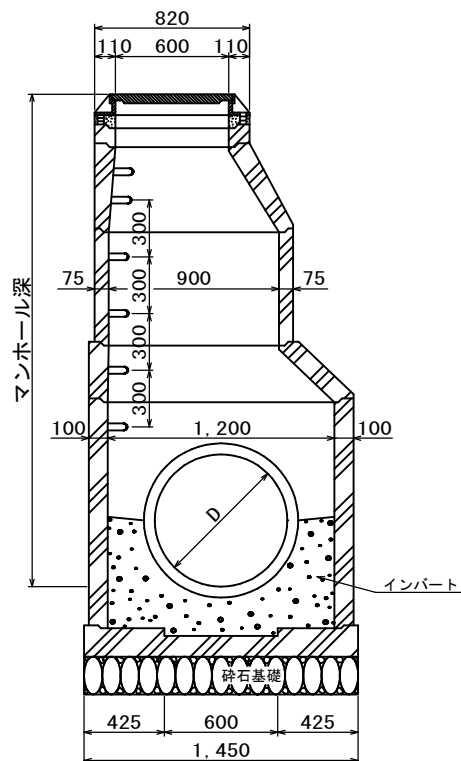
縦断面図



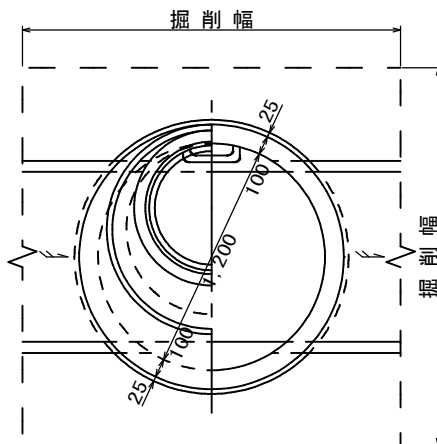
名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り20cm	60cm～ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り50cm	100cm～200cm

- ・流出管径600mm以下の場合は、流出管上にくるものとする。
- ・J S W A S A - 1 1
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

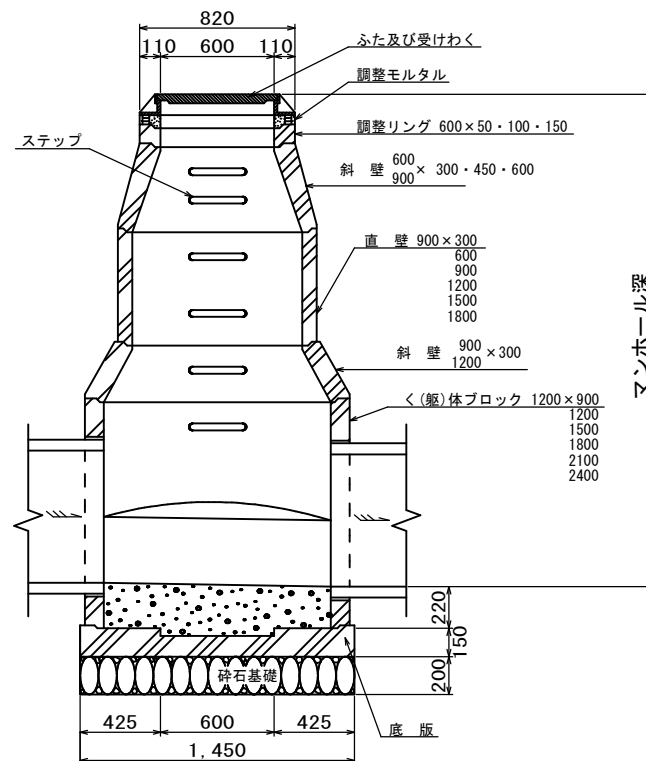
横断面図



平面図

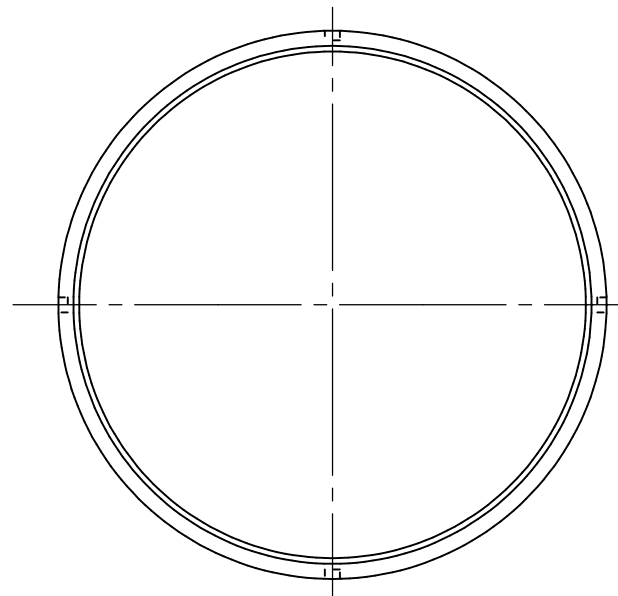
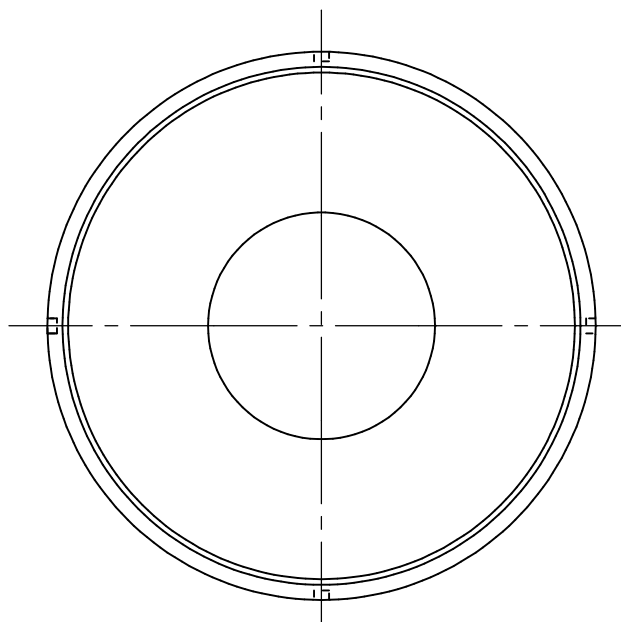
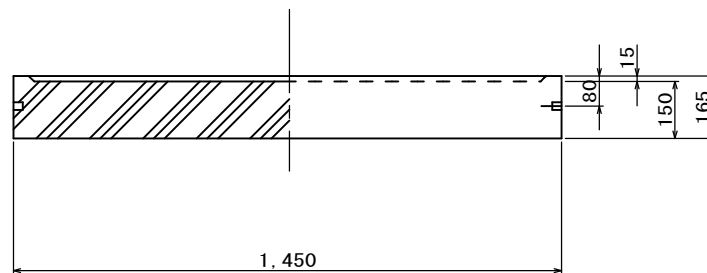
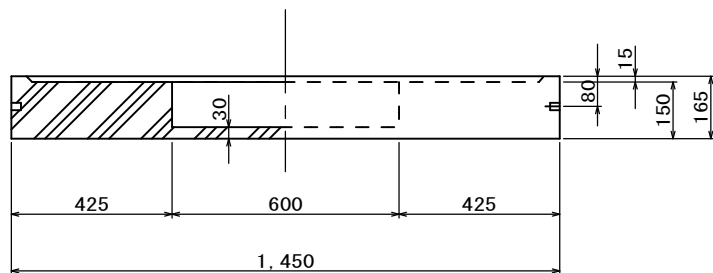


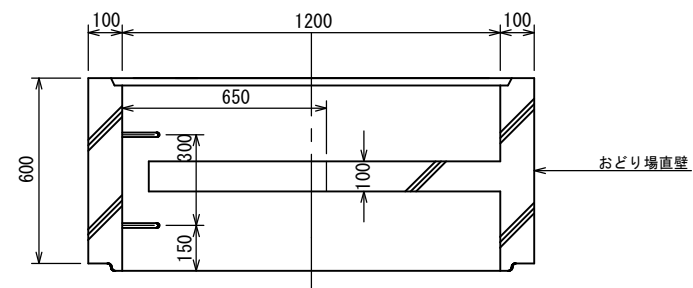
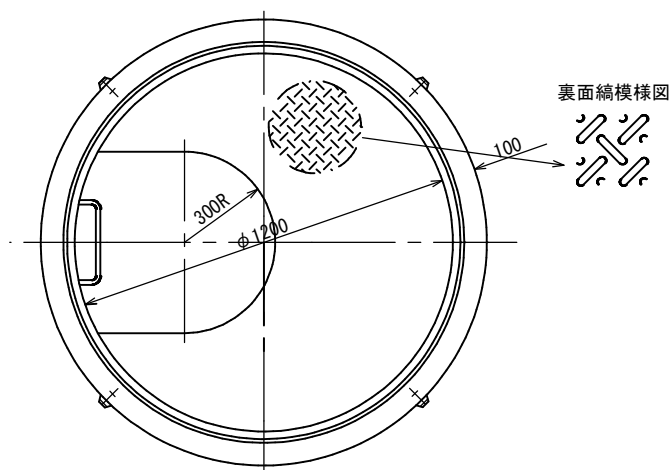
縦断面図



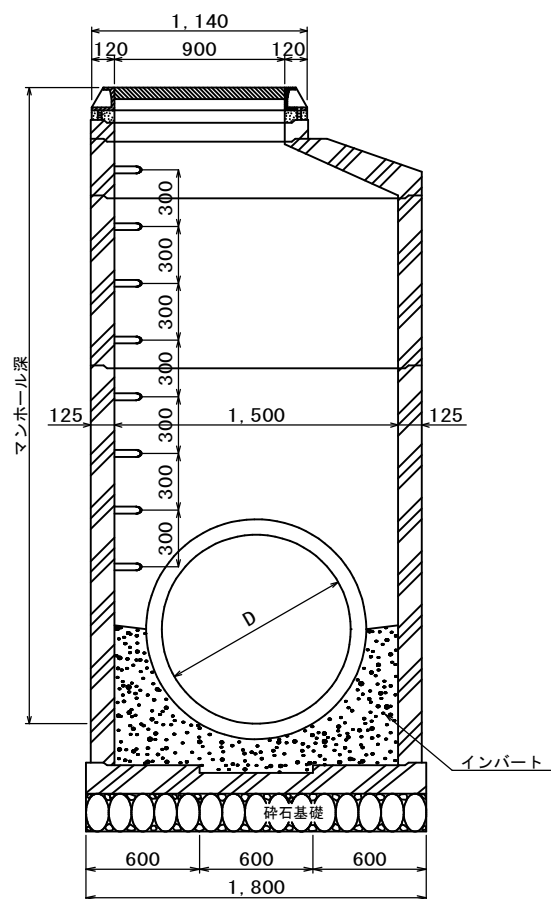
名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インパート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り20cm	60cm～ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り50cm	100cm～200cm

- ・流出管径600mm以下の場合は、足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JSWAS A-11
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

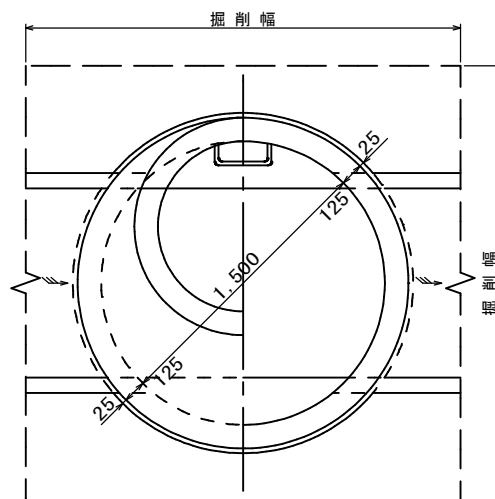




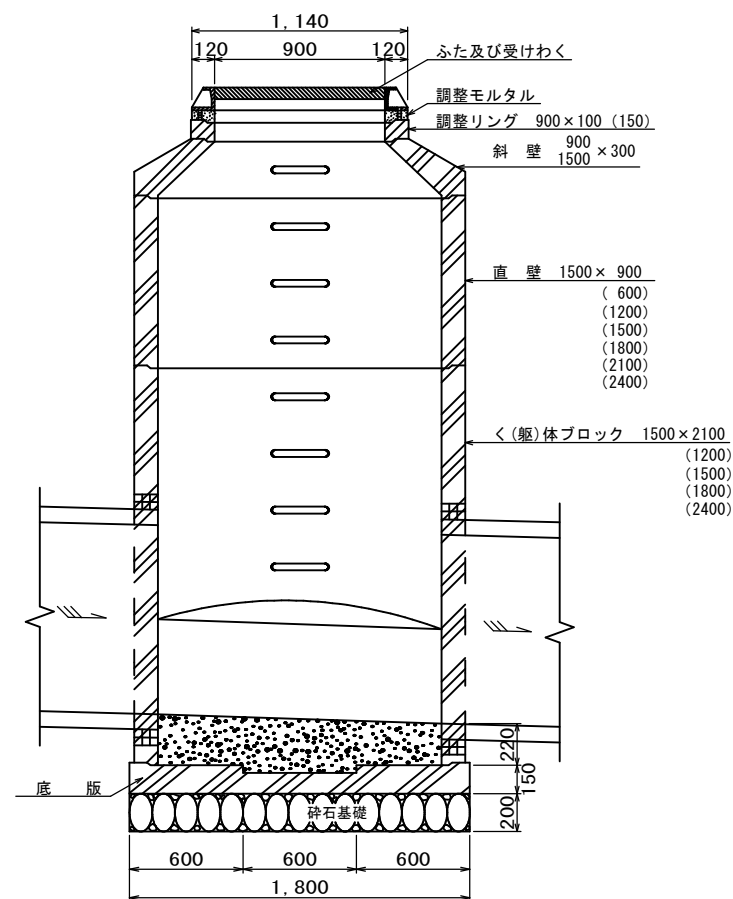
横断面図



平面図



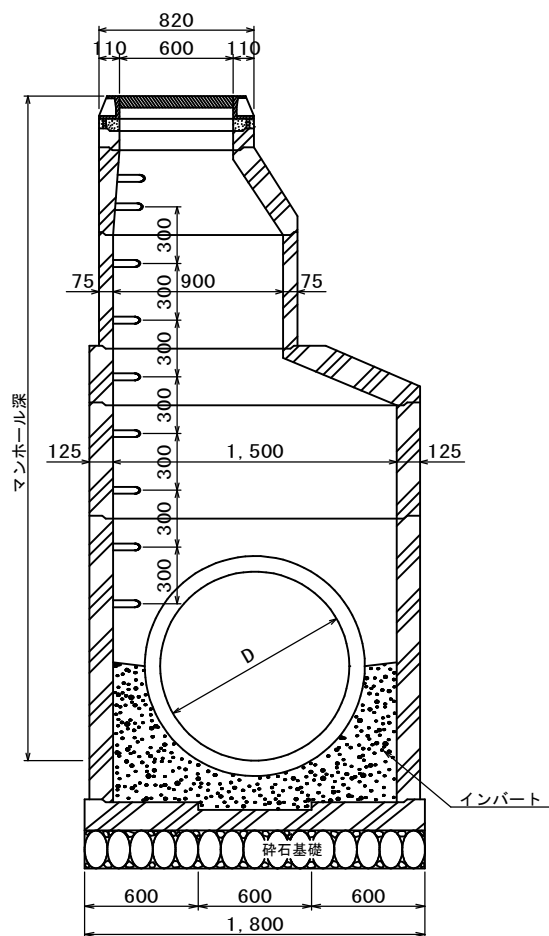
縦断面図



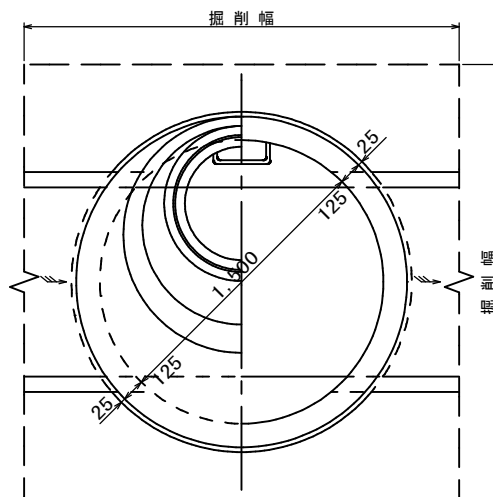
名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

- ・流出管径600mm以下の場合の足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JSWAS A-11
- ・親子蓋とする場合は下水道管理者と別途協議する。
- ・マンホールと管きょの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

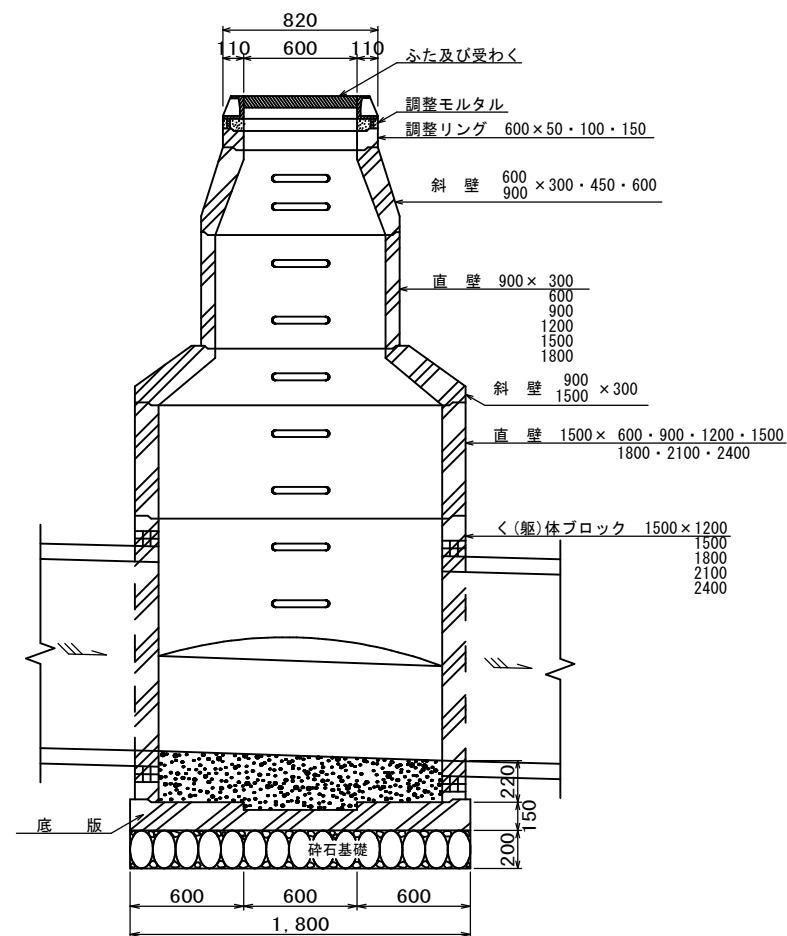
横断面図



平面図

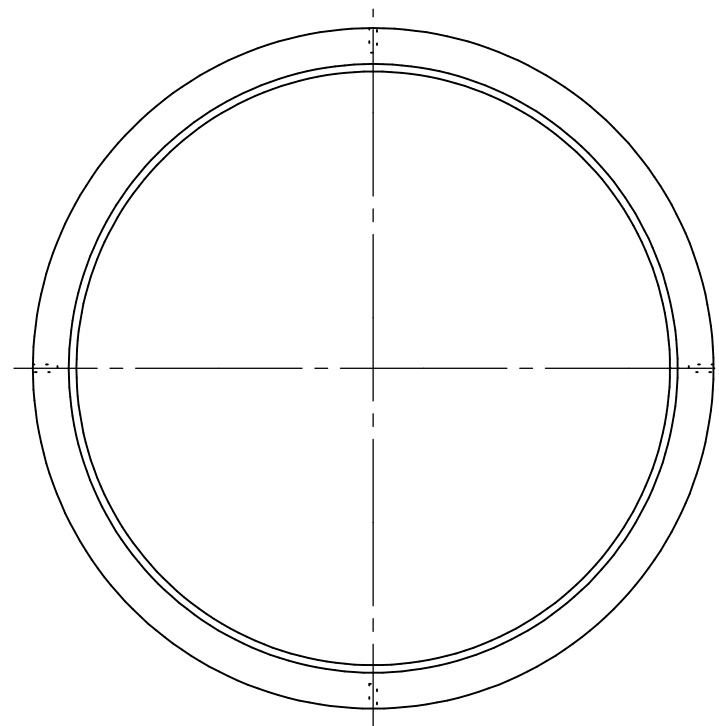
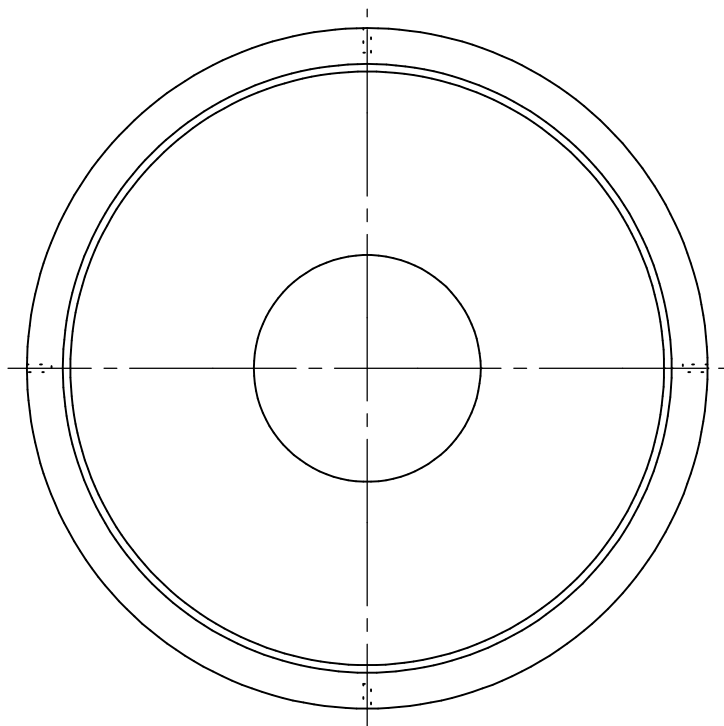
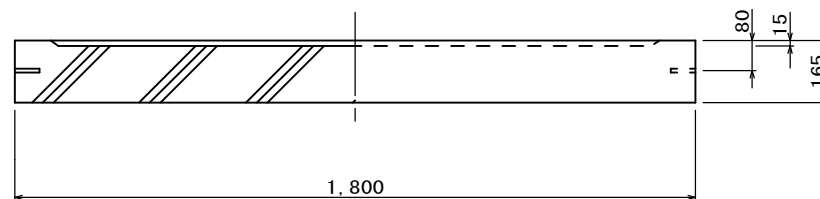
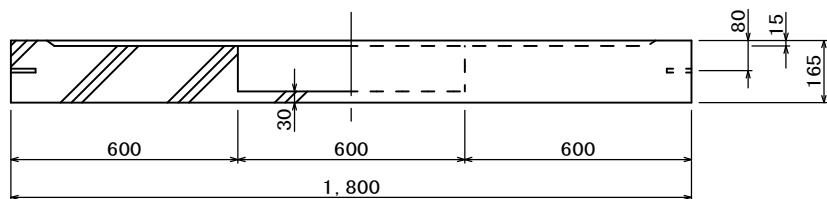


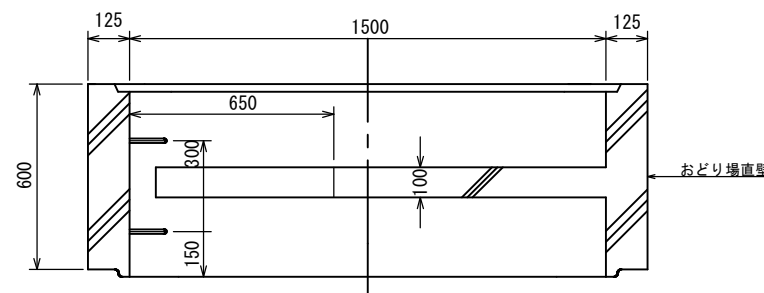
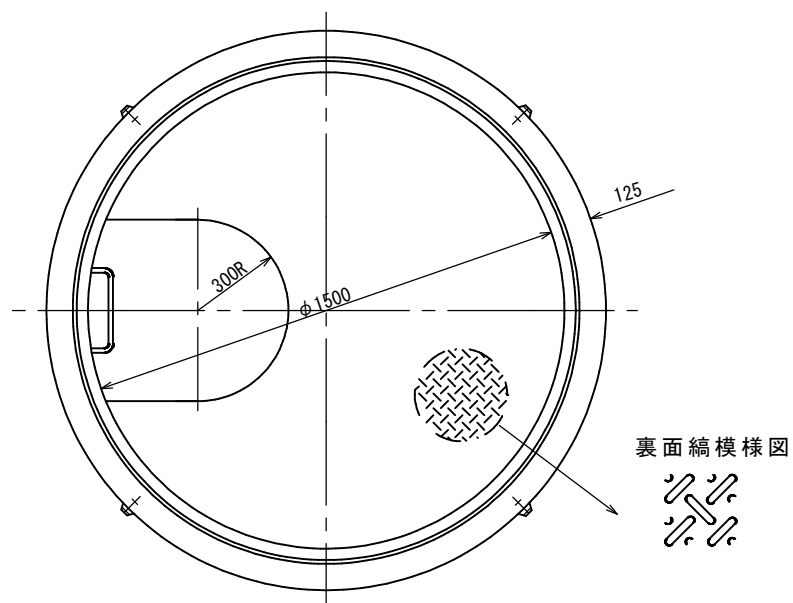
縦断面図



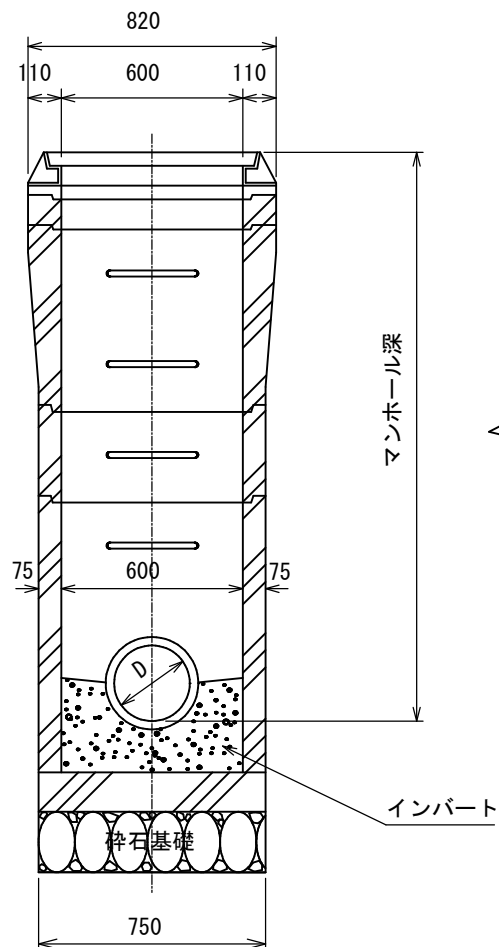
名 称	種 別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インパート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

- ・流出管径600mm以下の場合の足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JSWAS A-11
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

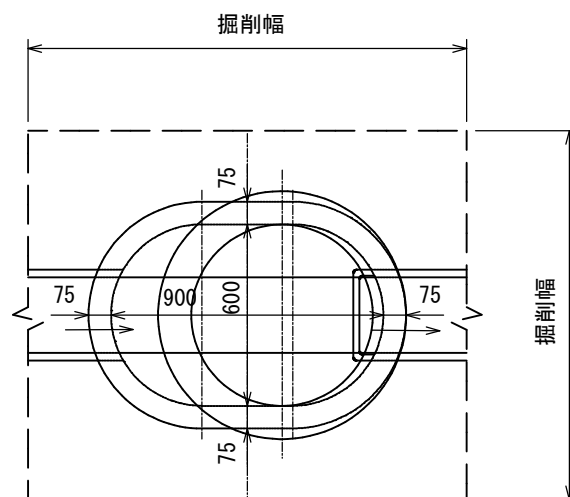




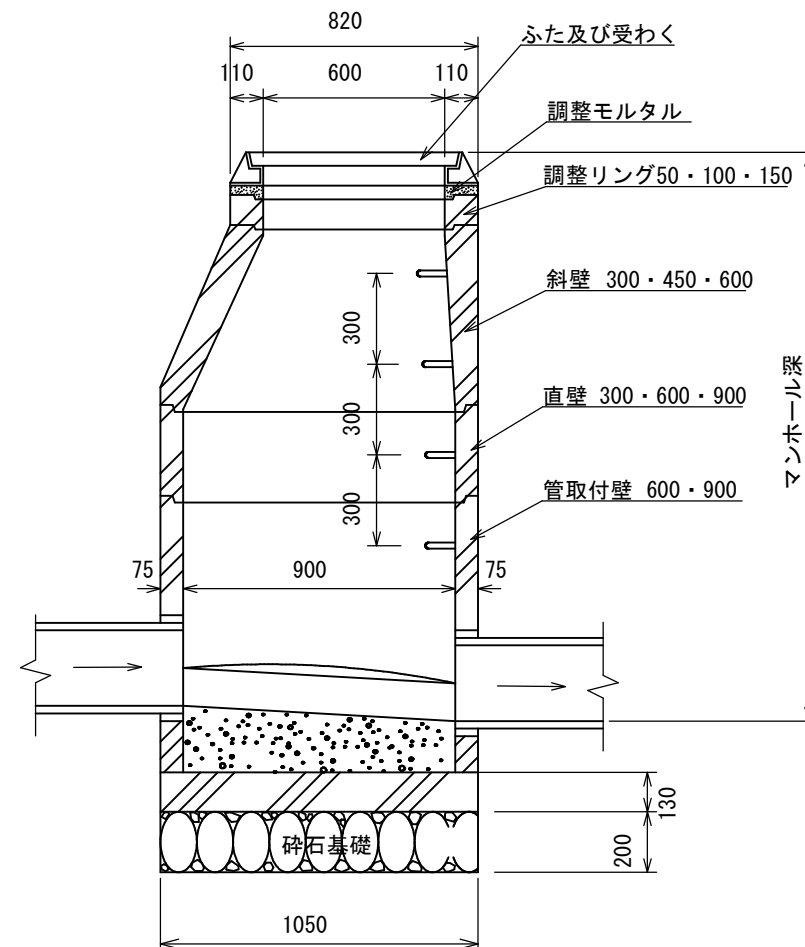
横断面図

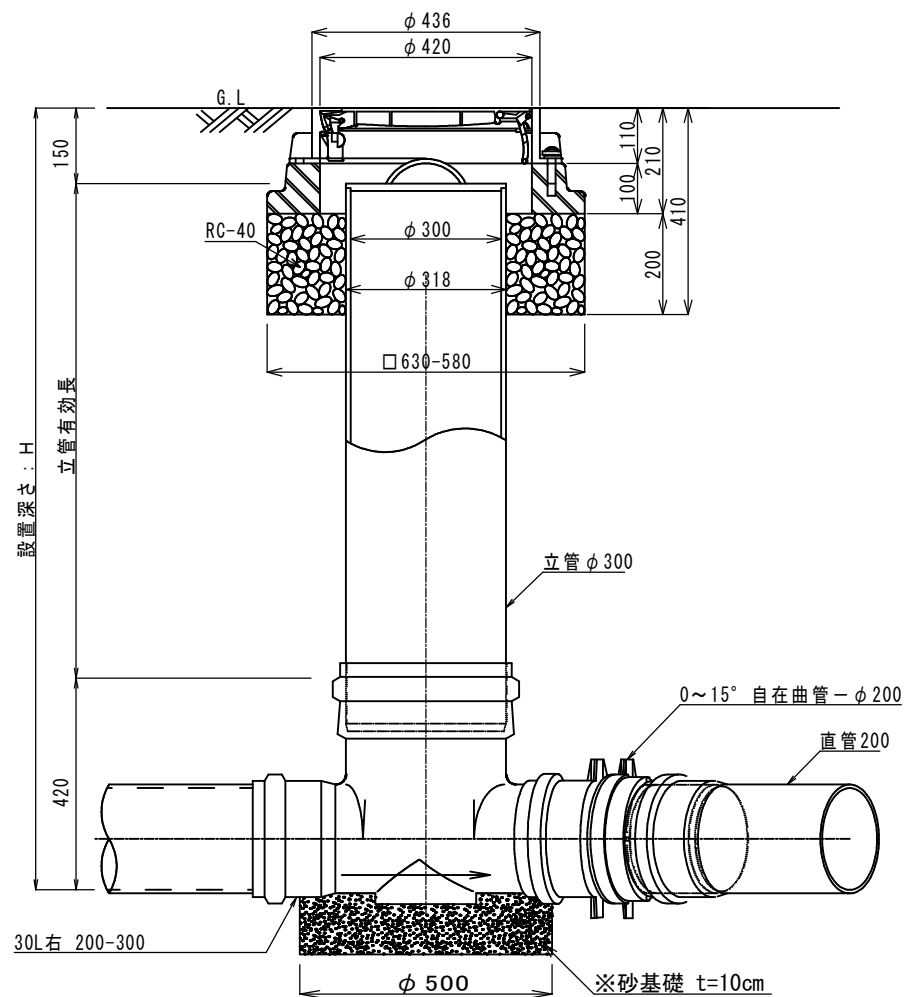
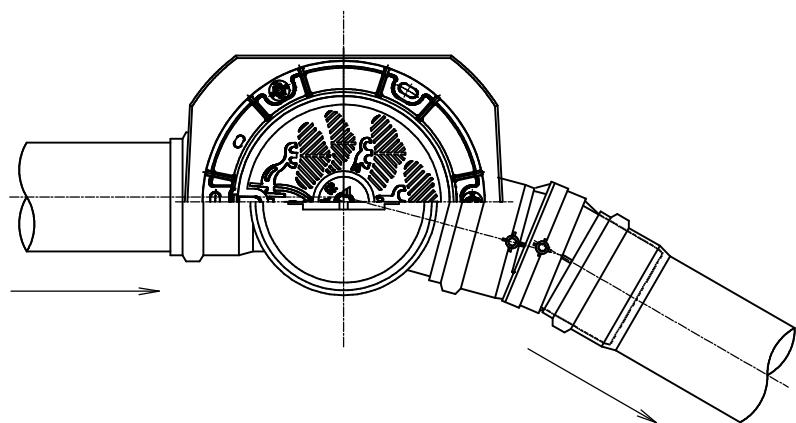


平面図



縦断面図



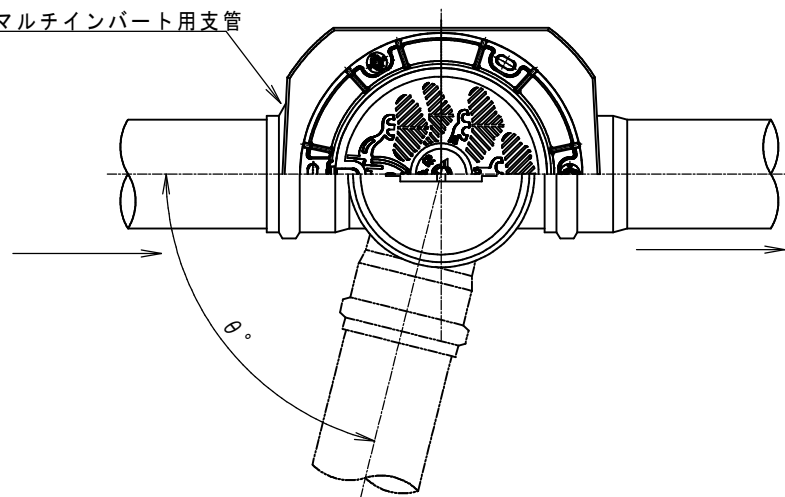


※砂地盤における砂基礎の設置については不要

備考

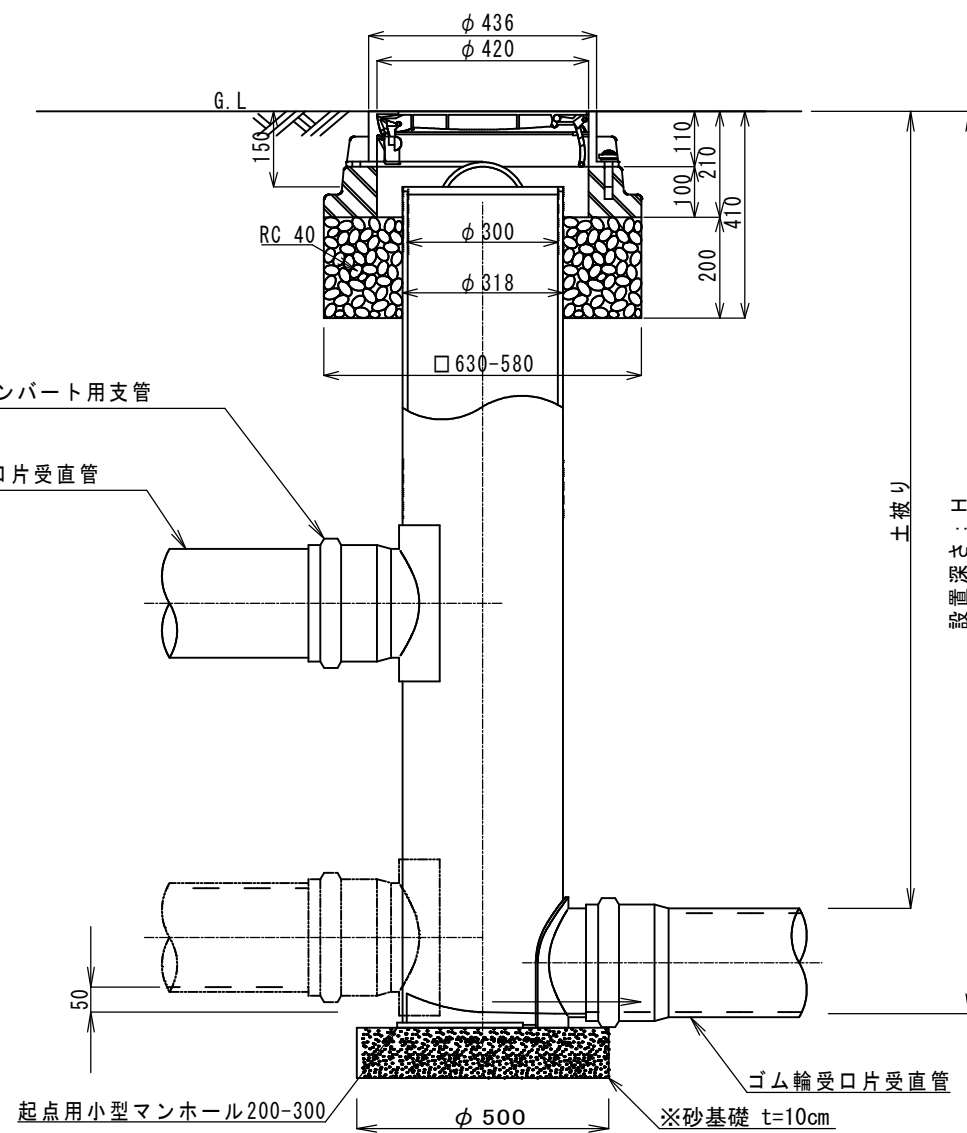
- ・ J SWAS K-9
- ・ 小型マンホールを設置しようとする場合は、事前に下水道管理者と協議すること。
- ・ 鉄蓋砕石基礎設置面積 $A = 0.29 \text{ m}^2/1$ 箇所

マルチインバート用支管



マルチインバート用支管

ゴム輪受口片受直管



※砂地盤における砂基礎の設置については不要

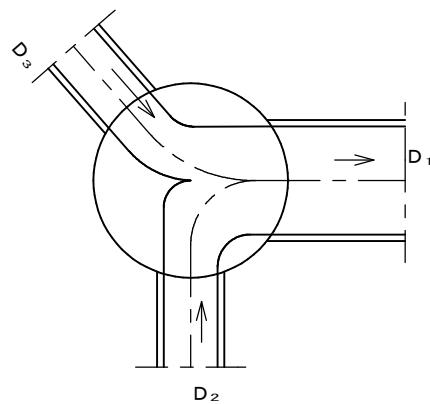
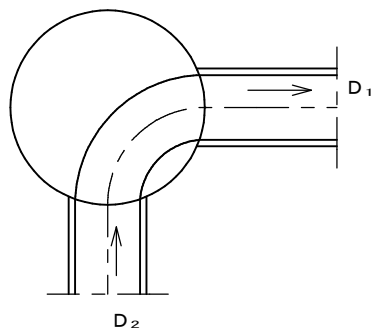
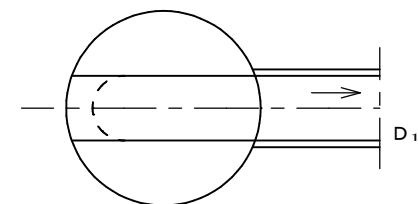
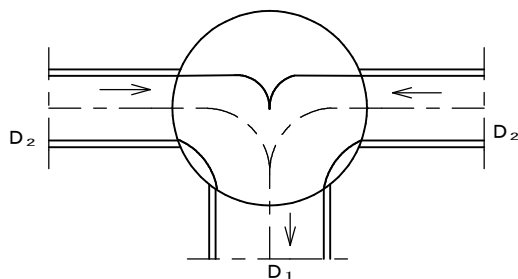
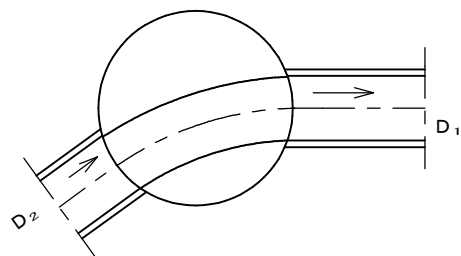
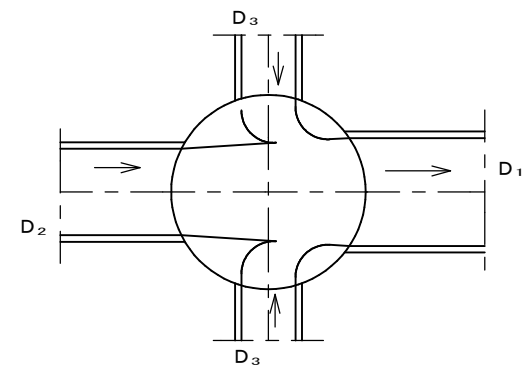
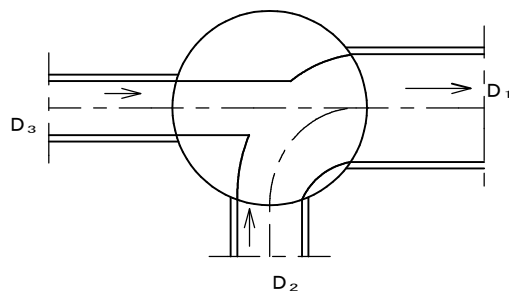
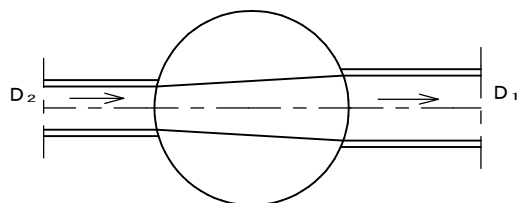
起点用小型マンホール200-300

 $\phi 500$

※砂基礎 t=10cm

ゴム輪受口片受直管

- ・ J S W A S K-9
- ・ 小型マンホールを設置しようとする場合は、事前に下水道管理者と協議すること。
- ・ 鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 0.29 \text{ m}^2/1\text{箇所}$



【インバート高さ】

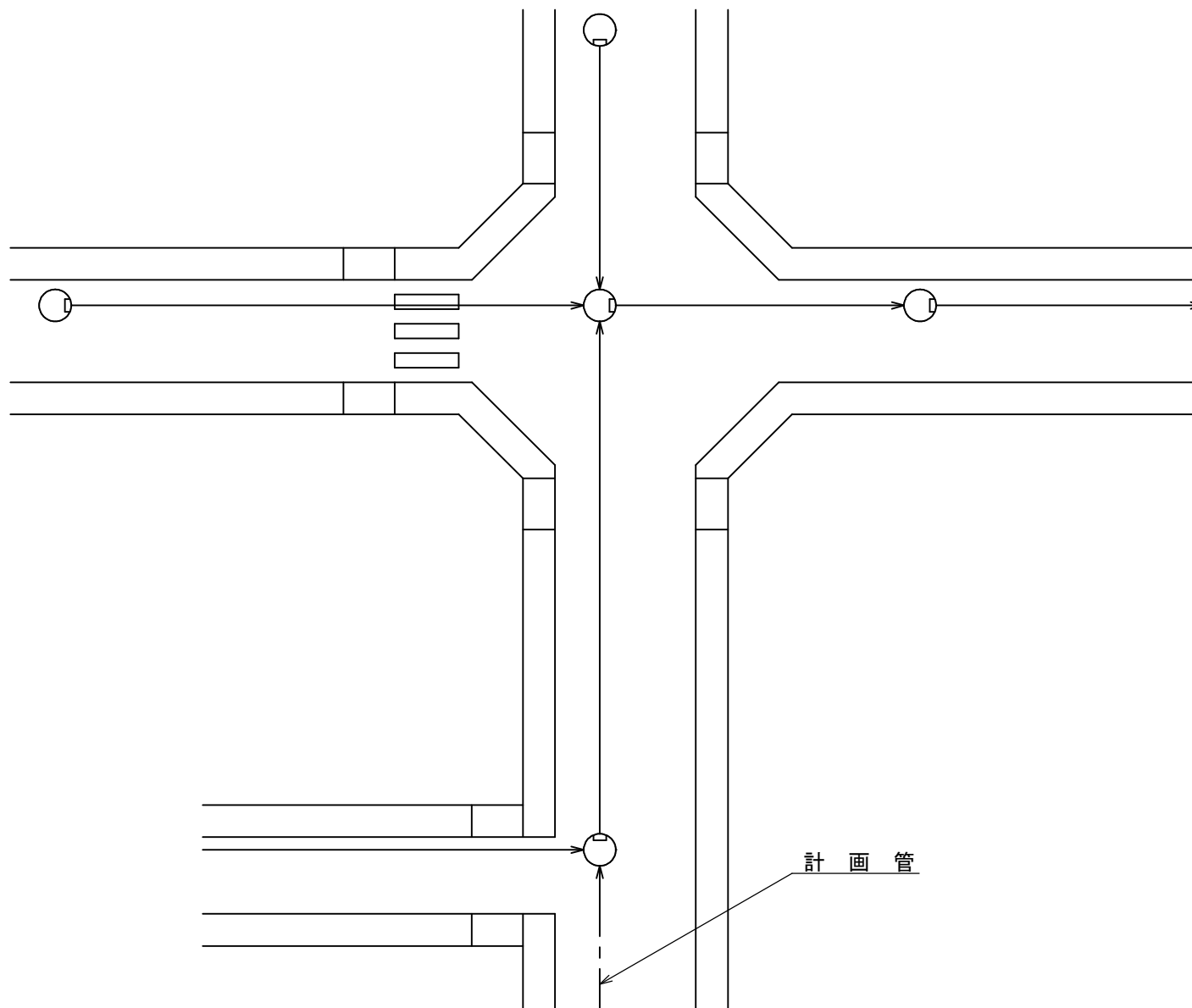
1. 合流管の場合

- ・ $\phi 600\text{mm}$ まで $h = \frac{D_1}{2}$
- ・ $\phi 700\text{mm} \sim \phi 1200\text{mm}$ $h = \frac{D_1/2 + 30\text{cm}}{2}$
- ・ $\phi 1350\text{mm}$ 以上 $h = 50\text{cm}$

2. 分流污水管の場合

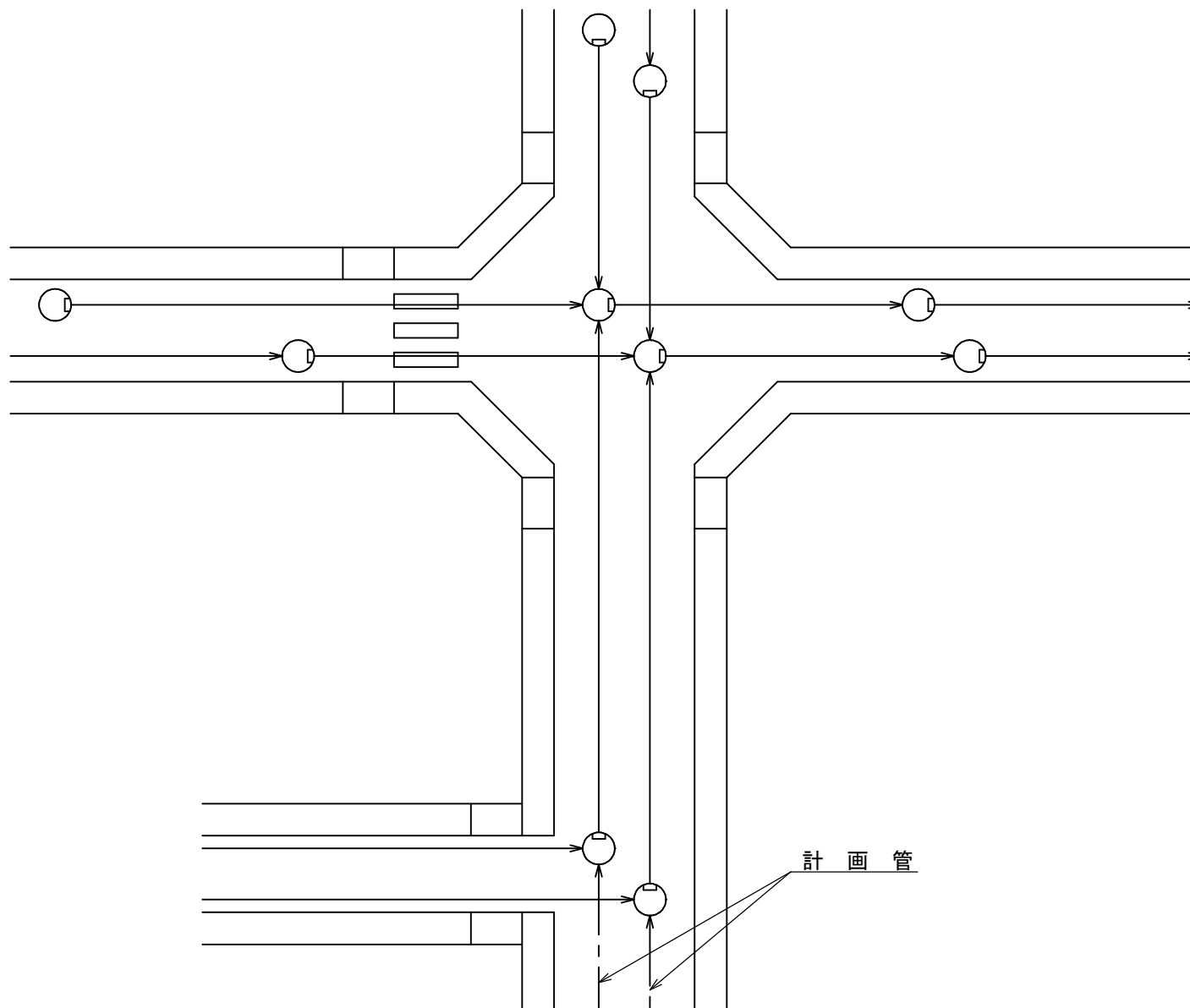
- ・ $\phi 700\text{mm}$ 以上 $h = D_1 \times 0.6$

・ $D_1 > D_2 > D_3$



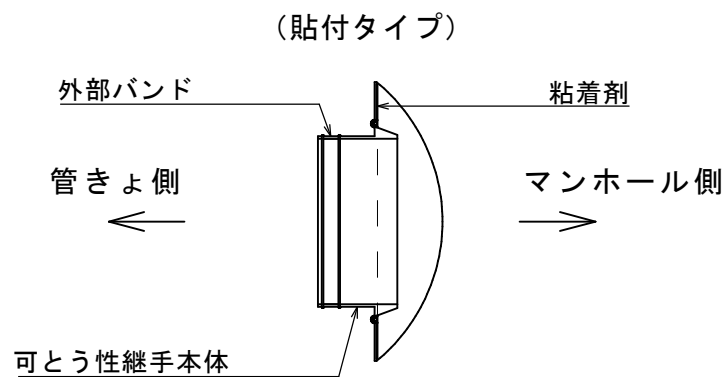
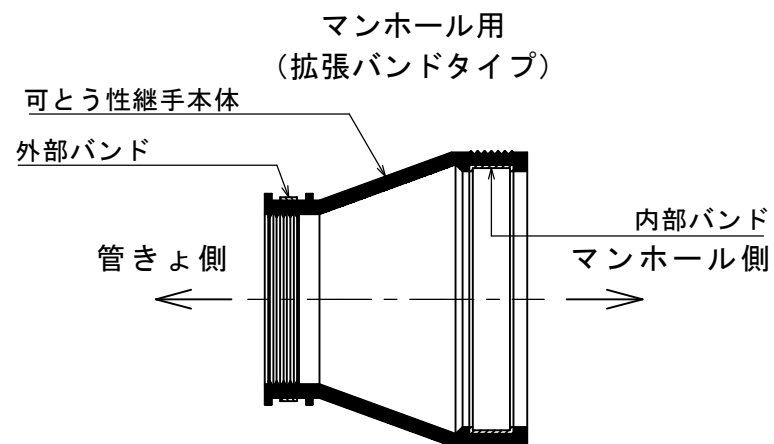
凡 例

記 号	名 称
	足 掛 金 物

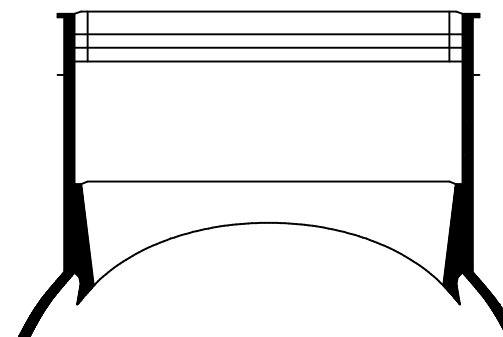


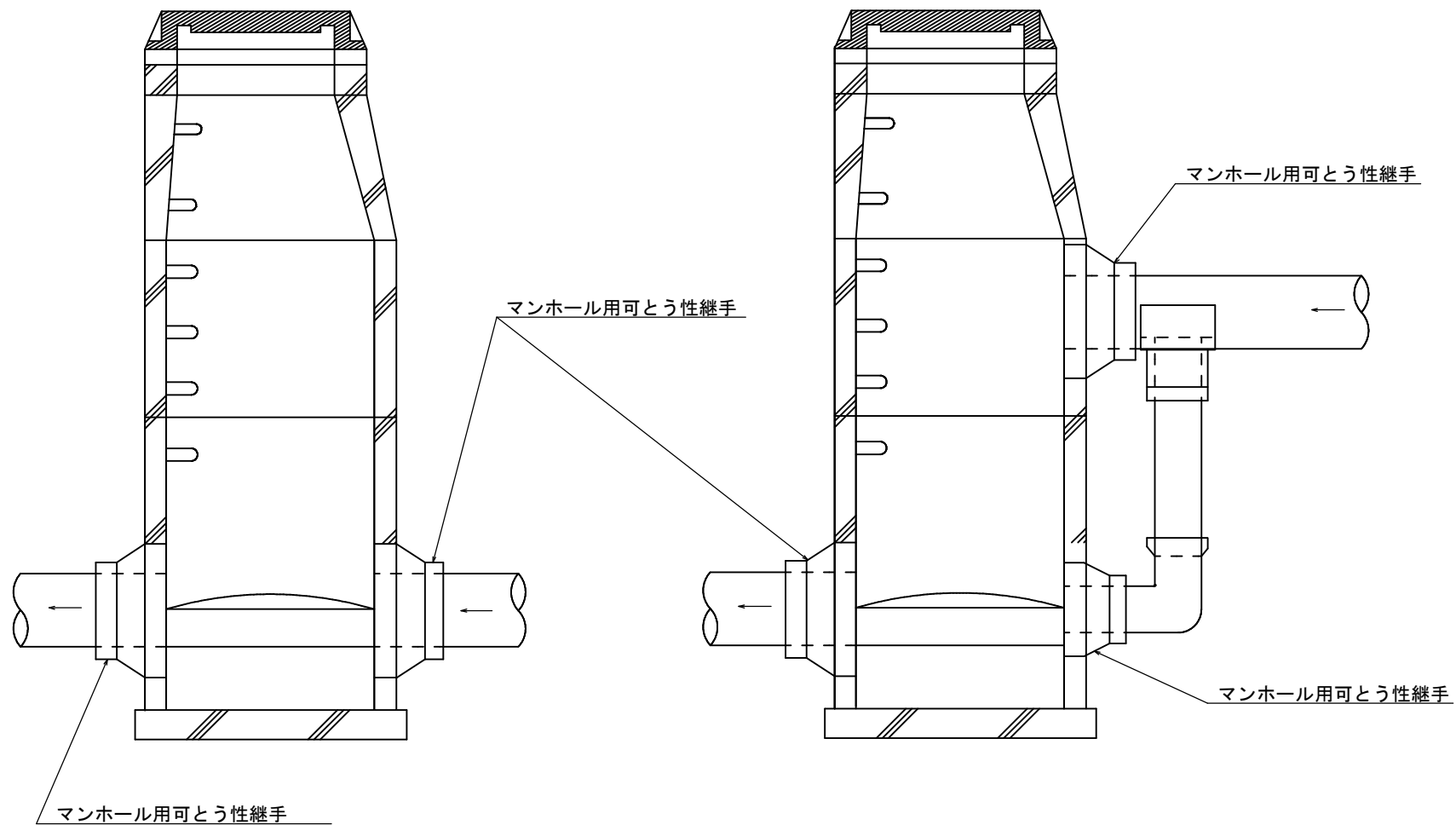
凡例

記号	名称
	足掛金物

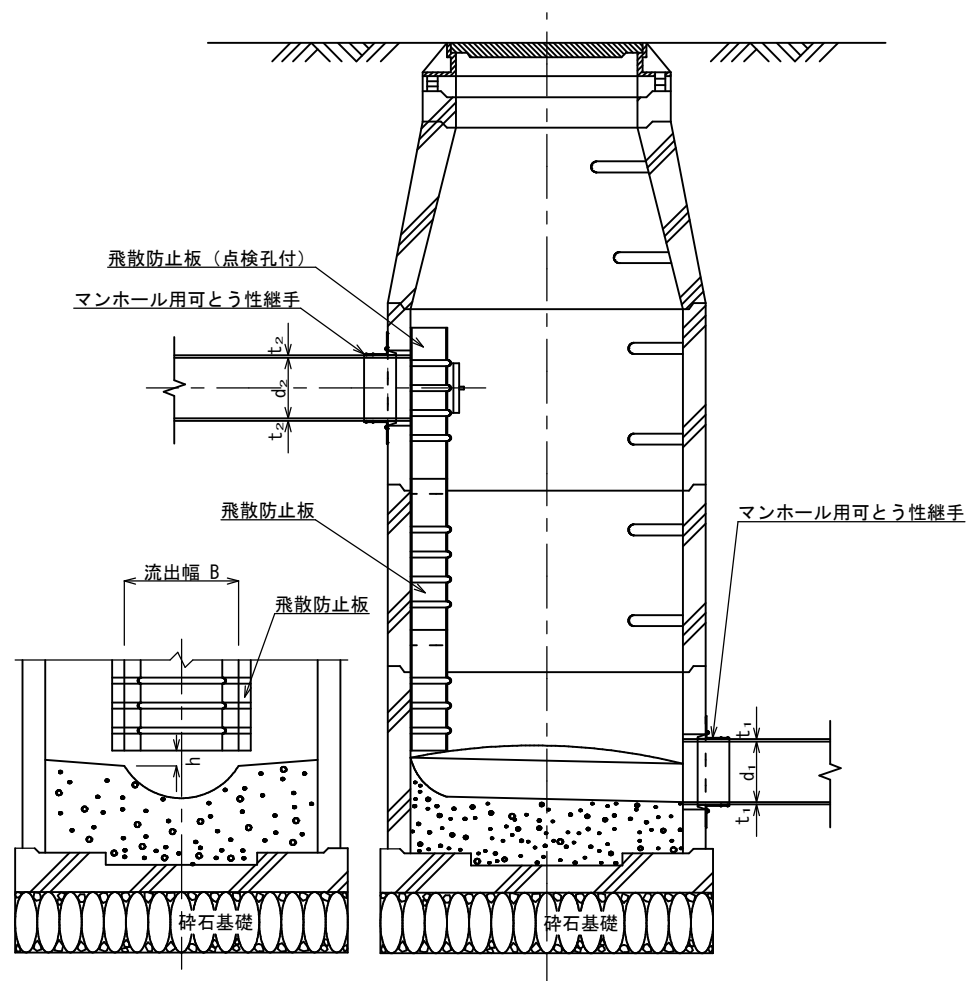


取付管用

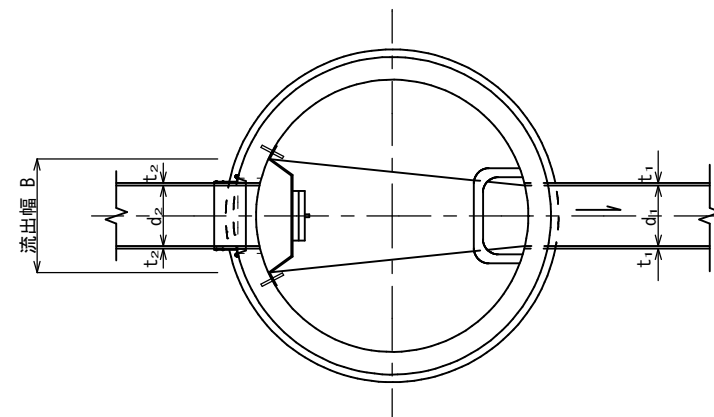




断面図



平面図



飛散防止板対応表

		本管径 d_2 (mm)					
		200	250	300	350	400	450以上
マンホール種別	0号マンホール	×	×	×	×	×	×
	楕円マンホール	×	×	×	×	×	×
	1号マンホール	○	○	○	○	○	×
	2号マンホール	○	○	○	○	○	×
	3号マンホール	○	○	○	○	○	×
	4号マンホール	○	○	○	○	○	×
	5号マンホール	×	×	×	×	×	×
流出幅 B [mm]		375	395	460	534	534	-
インバートからの高さh [cm]		2~27	4~29	5~30	6~31	9~34	-

備考

- ・流入管と流出管の管底差が60cm以上となる場合は飛散防止板を標準構造とするが、あくまで標準であって、構造を限定するものではない。
- ・現場条件等により飛散防止板を採用することが適当でない場合は別途下水道管理者と協議すること。
- ・飛散防止板（点検孔付）設置の際は、流入管の中心と点検孔の中心を合わせて設置すること。
- ・飛散防止板の流出部の処理については、インバートからの高さhの範囲内で飛散防止板を切断して調整すること。ただし、落差の処理及び流下断面確保の観点からインバートからの高さhが最小となるよう調整すること。切断によりボルト孔が失われる場合、新たにボルト孔を設けマンホールに設置すること。
- ・インバートは、飛散防止板の流出幅に合わせて設置すること。

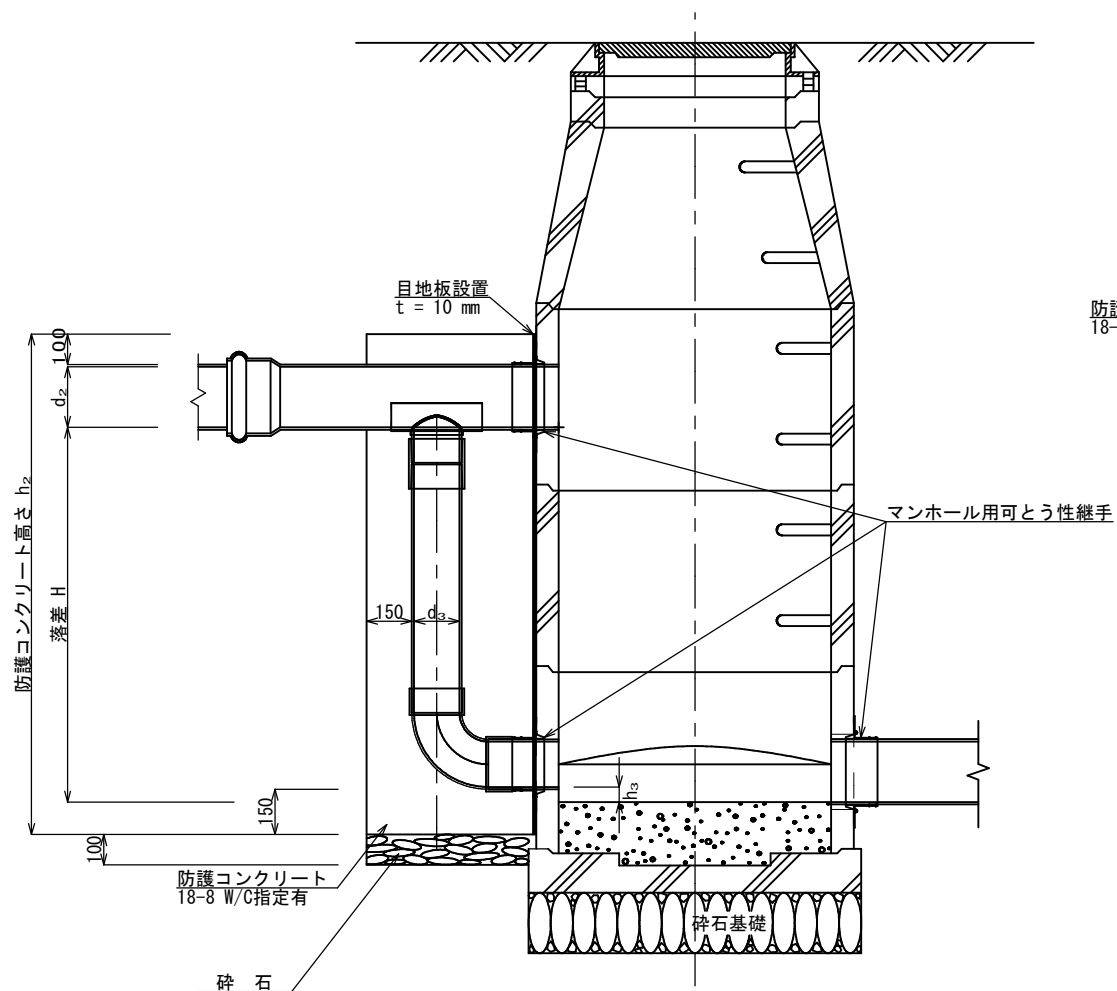
単位：枚

流出管	流入管																																		
	φ 200					φ 250					φ 300					φ 350					φ 400														
	管底差 (m)			TA	TB	調整	管底差 (m)			TA	TB	調整	管底差 (m)			TA	TB	調整	管底差 (m)			TA	TB	調整											
φ 200	0.60	~	0.63	1	0	不要																													
	0.64	~	0.88	1	1	要																													
	0.89	~	1.13	1	1	不要																													
	1.14	~	1.38	1	2	要																													
	1.39	~	1.63	1	2	不要																													
	1.64	~	1.88	1	3	要																													
	1.89	~	2.13	1	3	不要																													
	2.14	~	※																																
φ 250	0.60	~	0.66	1	0	不要	0.60	~	0.80	1	1	要																							
	0.67	~	0.91	1	1	要	0.81	~	1.05	1	1	不要																							
	0.92	~	1.16	1	1	不要	1.06	~	1.30	1	2	要																							
	1.17	~	1.41	1	2	要	1.31	~	1.55	1	2	不要																							
	1.42	~	1.66	1	2	不要	1.56	~	1.80	1	3	要																							
	1.67	~	1.91	1	3	要	1.81	~	2.05	1	3	不要																							
	1.92	~	2.16	1	3	不要	2.06	~	2.30	1	4	要																							
	2.17	~	※			2.31	~	※																											
φ 300	0.60	~	0.68	1	0	不要	0.60	~	0.83	1	1	要	0.60	~	0.81	1	1	要																	
	0.69	~	0.93	1	1	要	0.84	~	1.08	1	1	不要	0.82	~	1.06	1	1	不要																	
	0.94	~	1.18	1	1	不要	1.09	~	1.33	1	2	要	1.07	~	1.31	1	2	要																	
	1.19	~	1.43	1	2	要	1.34	~	1.58	1	2	不要	1.32	~	1.56	1	2	不要																	
	1.44	~	1.68	1	2	不要	1.59	~	1.83	1	3	要	1.57	~	1.81	1	3	要																	
	1.69	~	1.93	1	3	要	1.84	~	2.08	1	3	不要	1.82	~	2.06	1	3	不要																	
	1.94	~	2.18	1	3	不要	2.09	~	2.33	1	4	要	2.07	~	2.31	1	4	要																	
	2.19	~	※			2.34	~	※			2.32	~	※																						
φ 350	0.60	~	0.71	1	0	不要	0.60			1	0	不要	0.60	~	0.84	1	1	要	0.60	~	0.82	1	1	要											
	0.72	~	0.96	1	1	要	0.61	~	0.85	1	1	要	0.85	~	1.09	1	1	不要	0.83	~	1.07	1	1	不要											
	0.97	~	1.21	1	1	不要	0.86	~	1.10	1	1	不要	1.10	~	1.34	1	2	要	1.08	~	1.32	1	2	要											
	1.22	~	1.46	1	2	要	1.11	~	1.35	1	2	要	1.35	~	1.59	1	2	不要	1.33	~	1.57	1	2	不要											
	1.47	~	1.71	1	2	不要	1.36	~	1.60	1	2	不要	1.60	~	1.84	1	3	要	1.58	~	1.82	1	3	要											
	1.72	~	1.96	1	3	要	1.61	~	1.85	1	3	要	1.85	~	2.09	1	3	不要	1.83	~	2.07	1	3	不要											
	1.97	~	2.21	1	3	不要	1.86	~	2.10	1	3	不要	2.10	~	2.34	1	4	要	2.08	~	2.32	1	4	要											
	2.22	~	※			2.11	~	※			2.35	~	※			2.33	~	※																	
φ 400	0.60	~	0.73	1	0	不要	0.60	~	0.63	1	0	不要	0.60	~	0.61	1	0	不要	0.60	~	0.85	1	1	要	0.60			1	0	不要					
	0.74	~	0.98	1	1	要	0.64	~	0.88	1	1	要	0.62	~	0.86	1	1	要	0.86	~	1.10	1	1	不要	0.61	~	0.85	1	1	要					
	0.99	~	1.23	1	1	不要	0.89	~	1.13	1	1	不要	0.87	~	1.11	1	1	不要	1.11	~	1.35	1	2	要	0.86	~	1.10	1	1	不要					
	1.24	~	1.48	1	2	要	1.14	~	1.38	1	2	要	1.12	~	1.36	1	2	要	1.36	~	1.60	1	2	不要	0.86	~	1.35	1	2	要					
	1.49	~	1.73	1	2	不要	1.39	~	1.63	1	2	不要	1.37	~	1.61	1	2	不要	1.61	~	1.85	1	3	要	1.11	~	1.60	1	2	不要					
	1.74	~	1.98	1	3	要	1.64	~	1.88	1	3	要	1.62	~	1.86	1	3	要	1.86	~	2.10	1	3	不要	1.36	~	1.85	1	3	要					
	1.99	~	2.23	1	3	不要	1.89	~	2.13	1	3	不要	1.87	~	2.11	1	3	不要	2.11	~	2.35	1	4	要	1.61	~	2.10	1	3	不要					
	2.24	~	※			2.14	~	※			2.12	~	※			2.36	~	※			2.11	~	※												

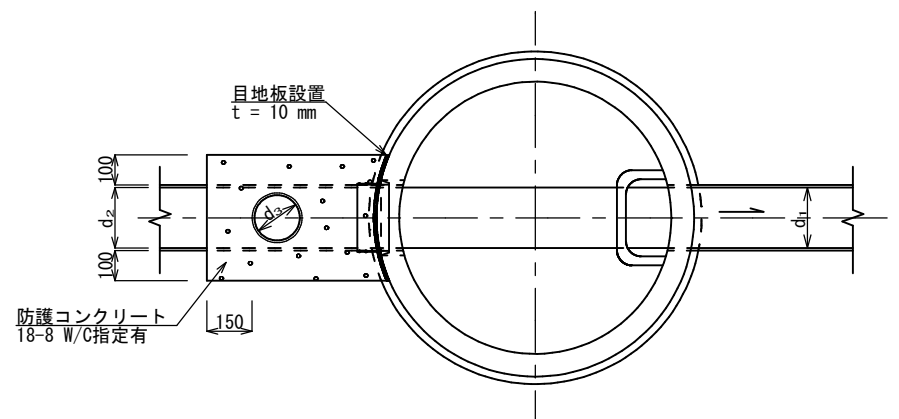
※表記されている管底差より大きくなる場合は、それぞれの適用範囲0.50m毎にTBを1枚ずつ追加する。

- ・ TA：飛散防止板（点検孔付），TB：飛散防止板
- ・ 高さ調整のためのTB切断の要・不要については0.25m毎に変わるため設置の際は留意すること。

断面図



平面図



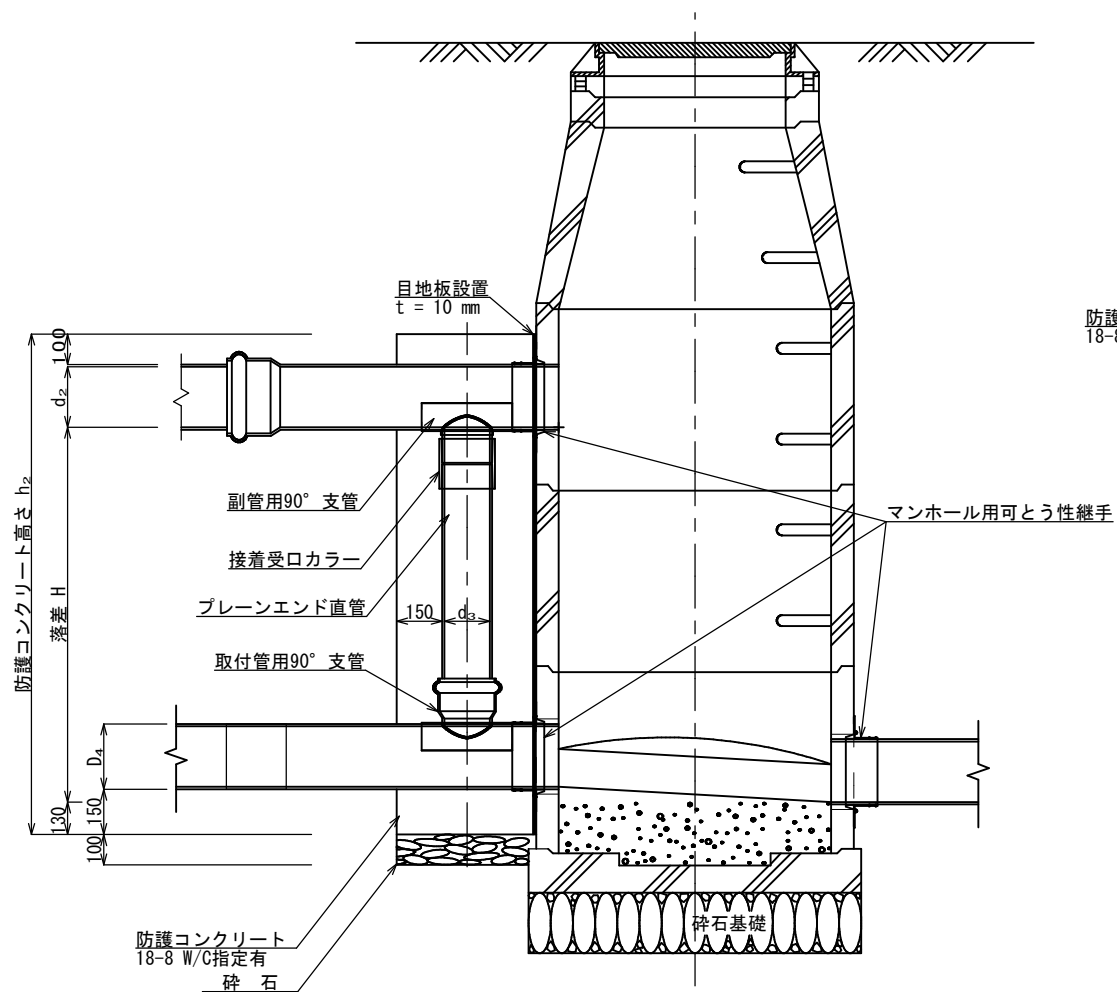
副管径対応表

本管径 d_2	副管径 d_3
200	150
250～400	200
450～500	250
600	300
700以上	別途考慮

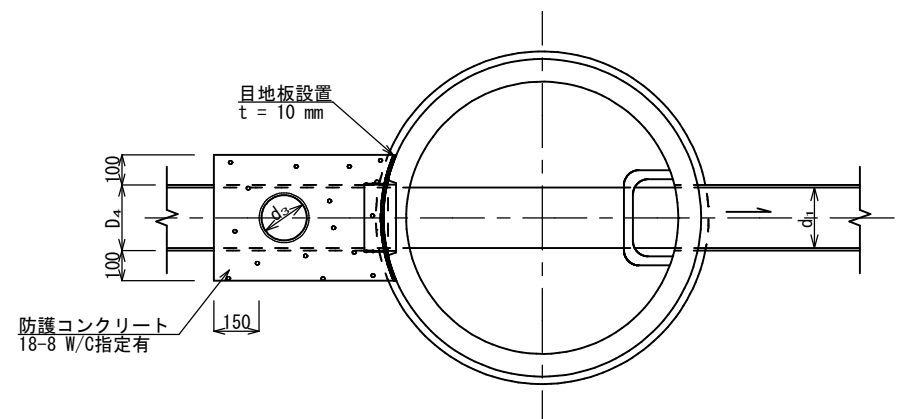
(単位：mm)

- ・ h_3 は5cmの段差を確保する。ただし、段差5cm以上確保できる場合は、副管管頂とインバート天端を一致させる。
- ・ 防護コンクリートとマンホールの間に設置する目地板は、防護コンクリートとマンホールの縁を切るように、かつ、マンホール用可とう継手の効果を失わせないように設置すること。
- ・ 副管防護コンクリートの直上流側には、耐震性を発現させるよう本管継手を設けること。
- ・ 防護コンクリートに使用する生コンクリートは水セメント比が60%以下のものを使用すること。

断面図



平面図



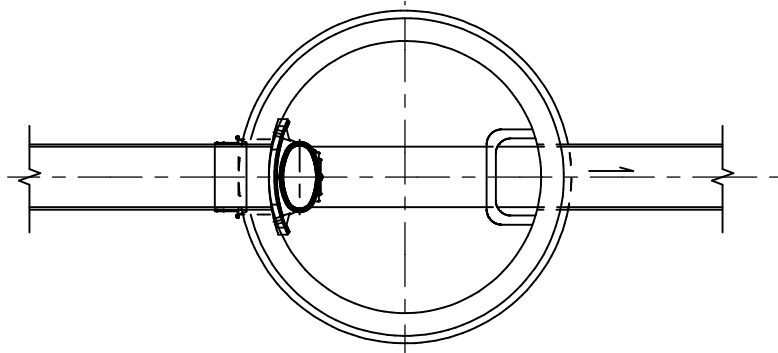
副管径対応表

本管径 d_2	副管径 d_3
200	150
250～400	200
450～500	250
600	300
700以上	別途考慮

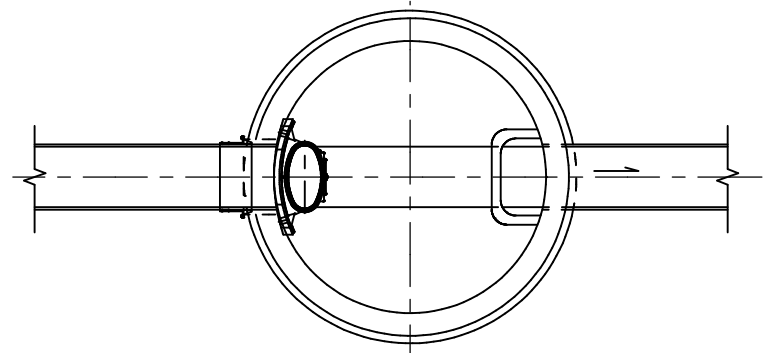
(単位：mm)

- ・ 防護コンクリートとマンホールの間に設置する目地板は、防護コンクリートとマンホールの縁を切るように、かつ、マンホール用可とう継手の効果を失わせないように設置すること。
- ・ 防護コンクリートに使用する生コンクリートは水セメント比が60%以下のものを使用すること。

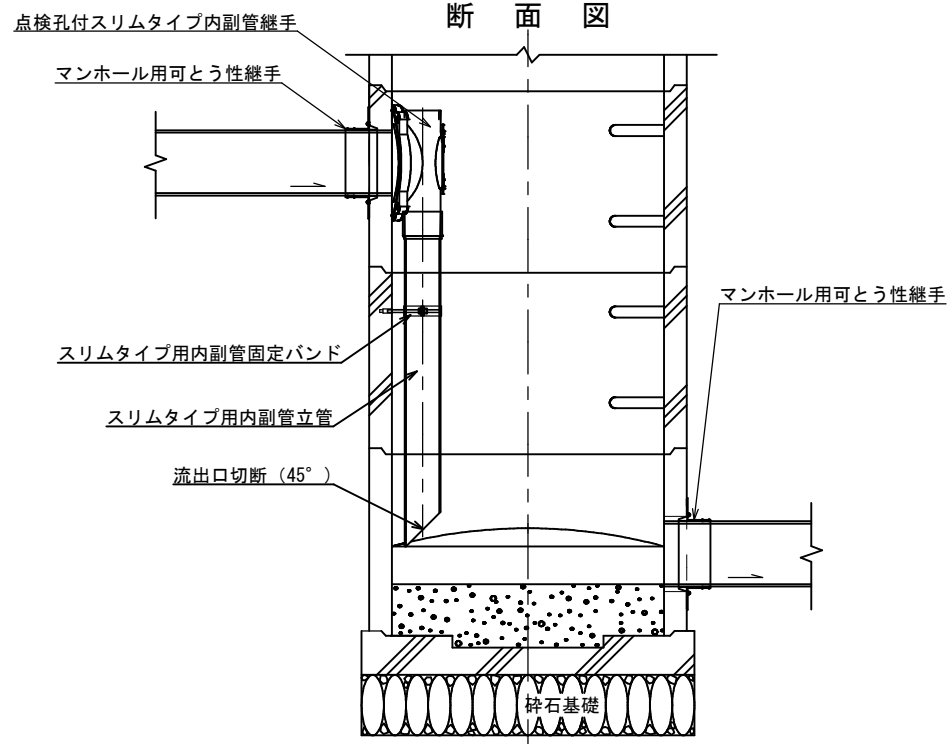
平面図



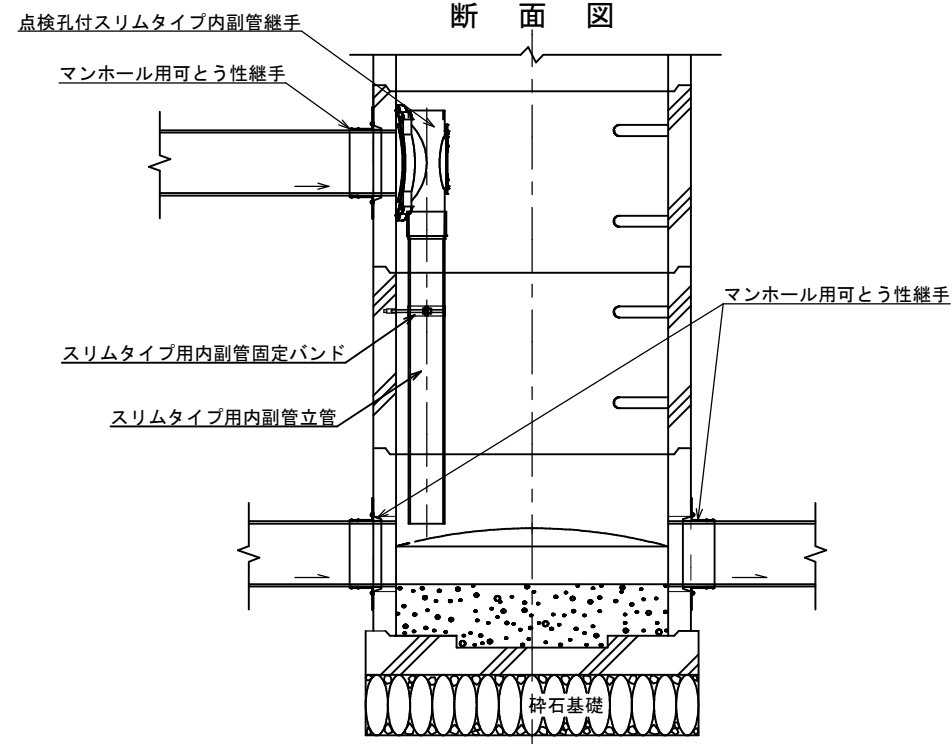
平面図



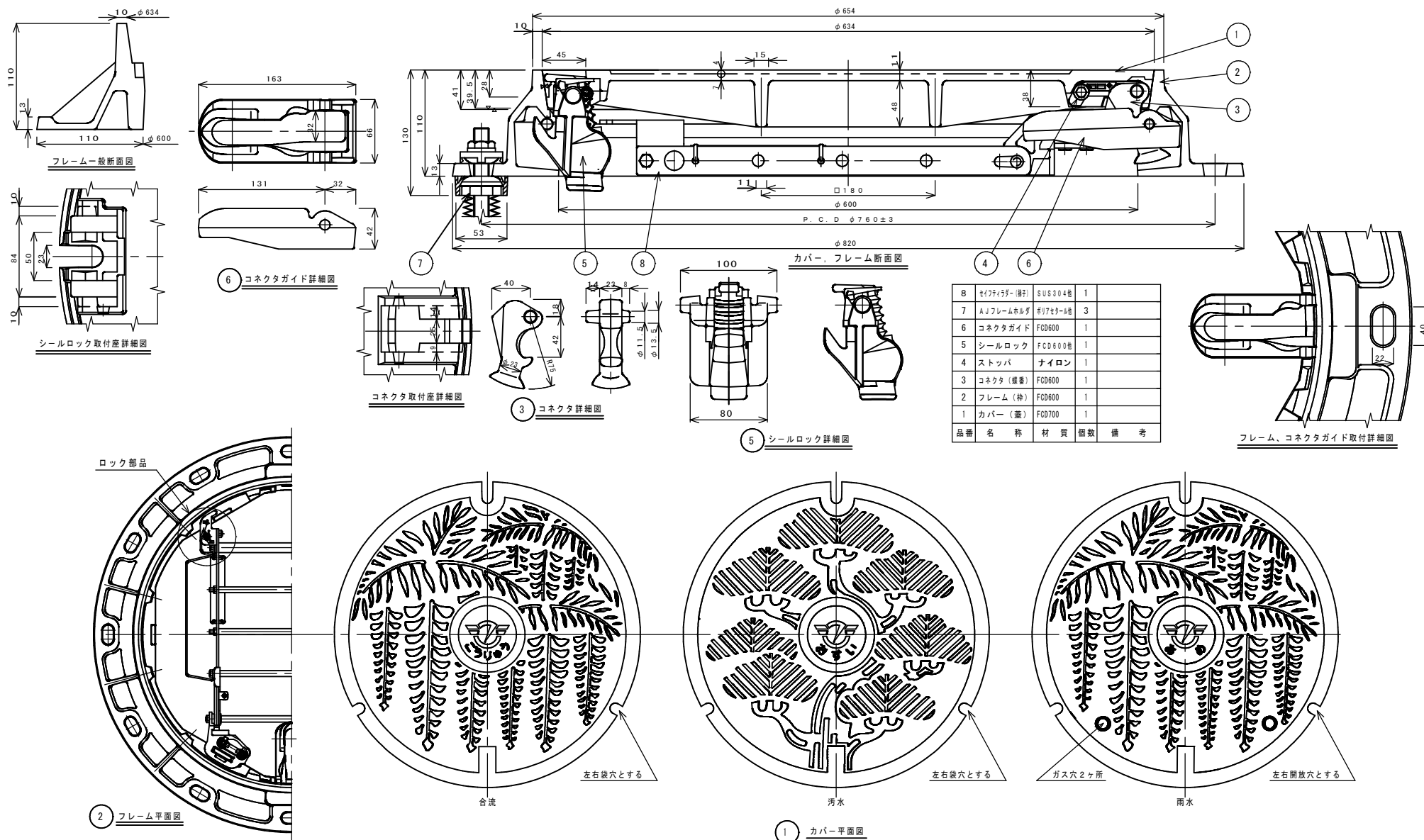
断面図



断面図

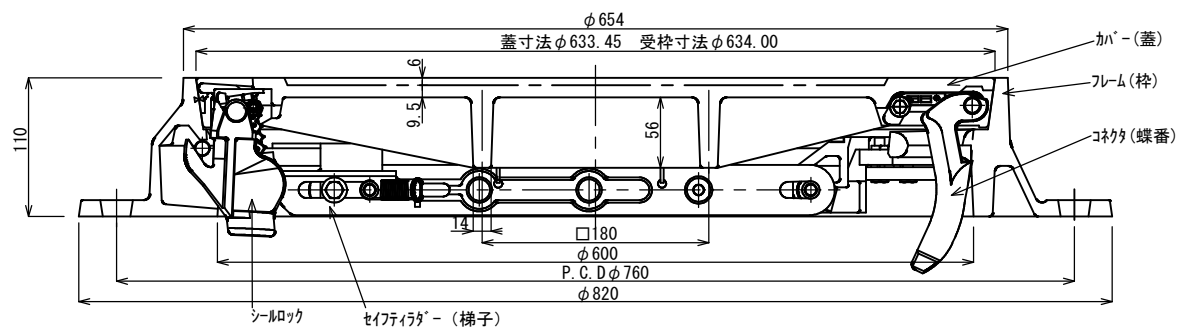


- ・ 固定バンドについては、立管1.5mにつき1箇所設置し固定すること。
- ・ 内副管の流出口については、内副管の直下に流入がある場合は下側の流入管頂に合わせ、それ以外の場合はインパートの肩に合わせて設置し、流出口を45°に切断すること。

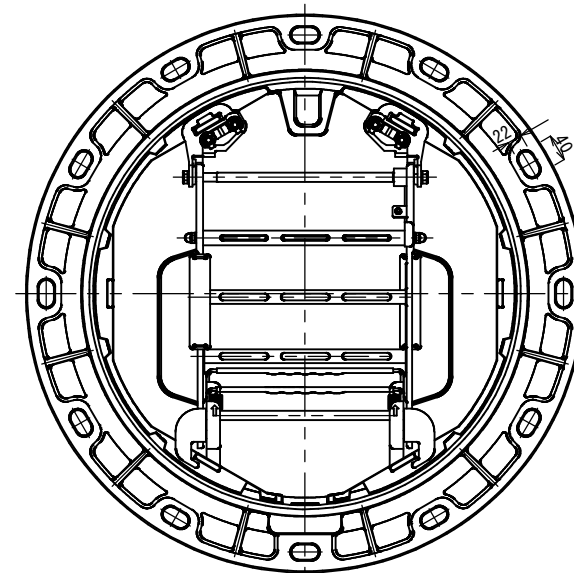


備考

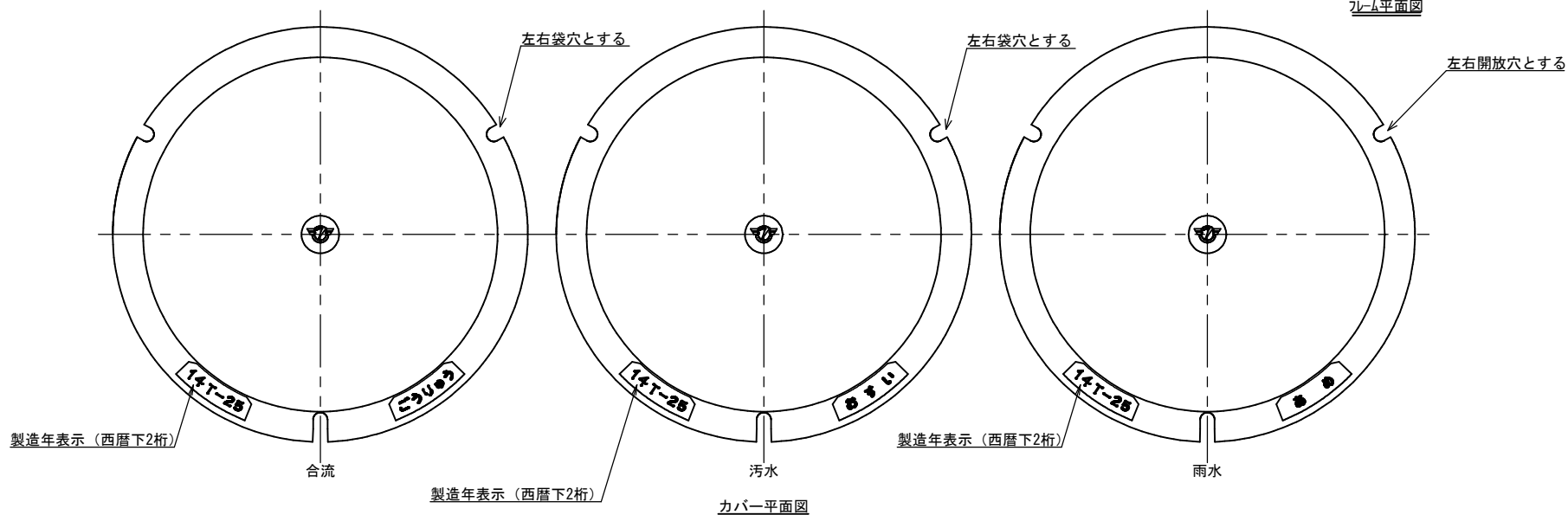
・ 藤沢市の認定を受けた工場で製作された製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。ただし、圧力対応型等の鉄蓋については、別途下水道管理者と協議すること。



カバ-、フレーム断面図

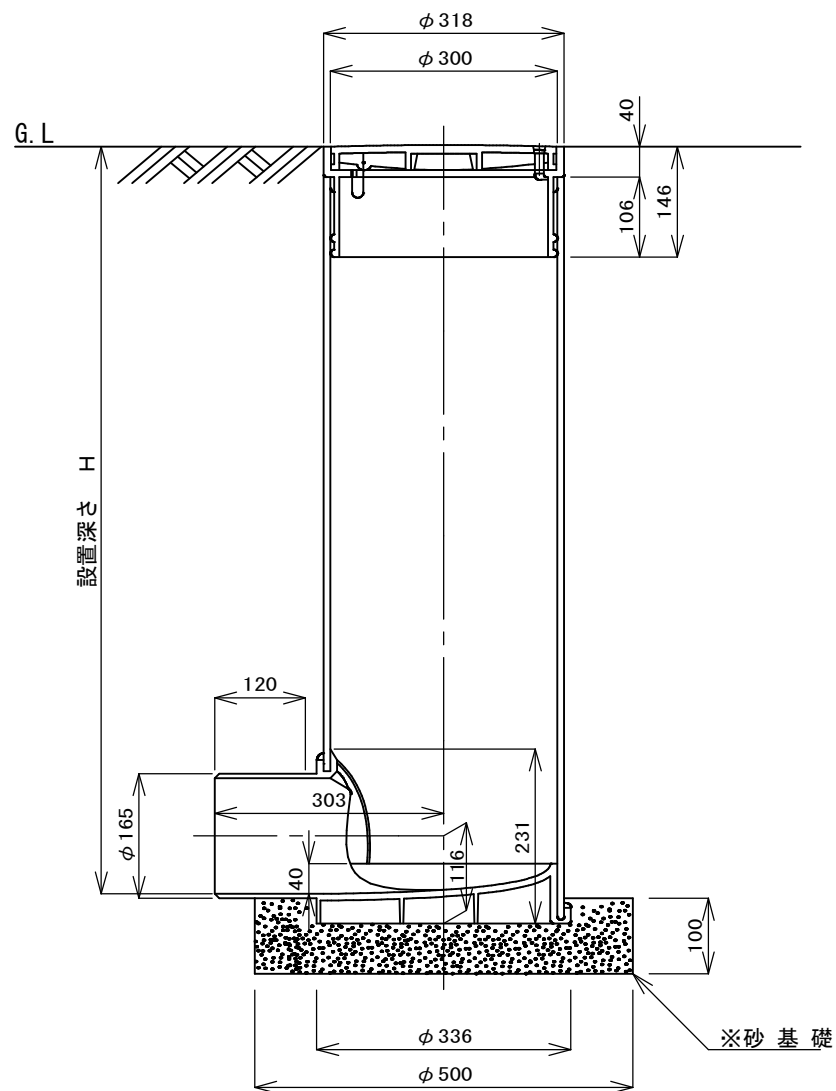


フレーム平面図

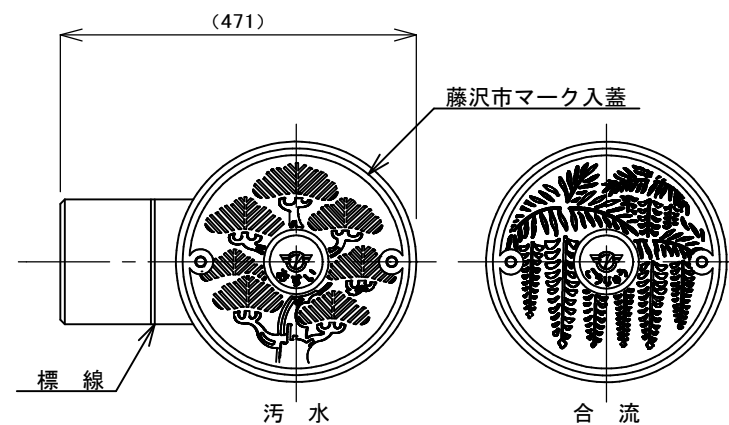


カバー平面図

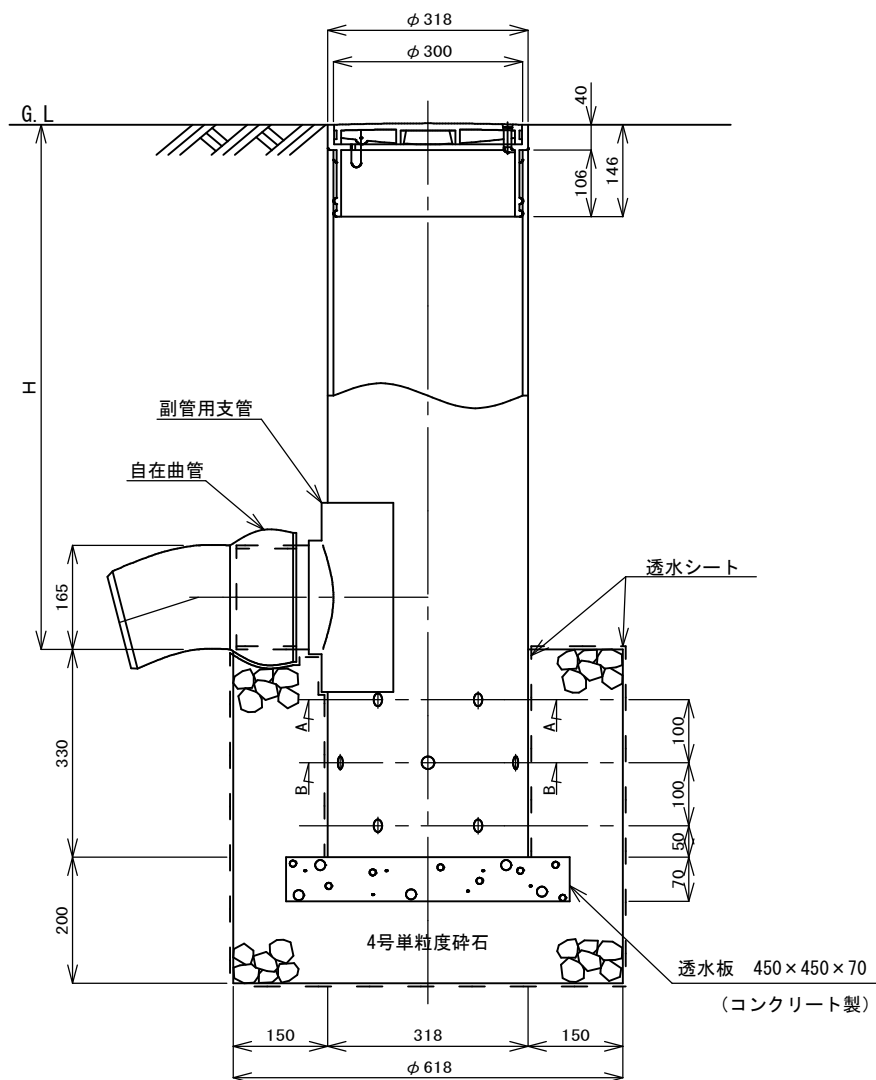
・ 藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。
 ただし、圧力対応型等の鉄蓋については、別途下水道管理者と協議すること。



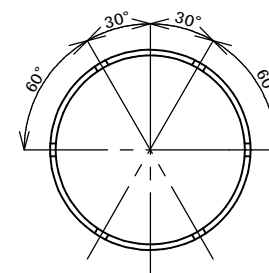
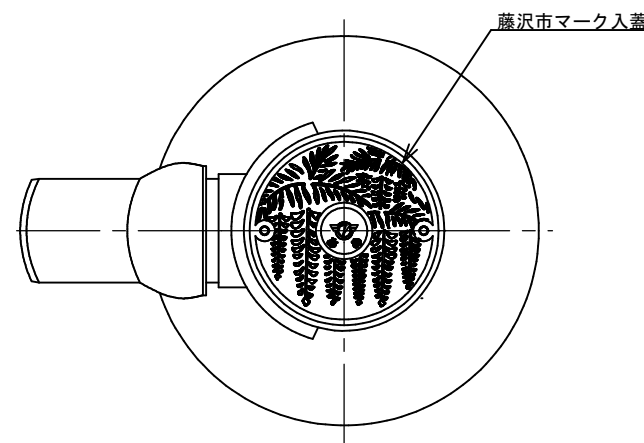
1号	H=1, 000
2号	H=1, 500
3号	H=2, 000



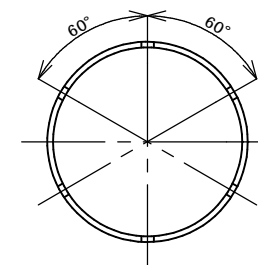
※砂地盤における砂基礎の設置については不要



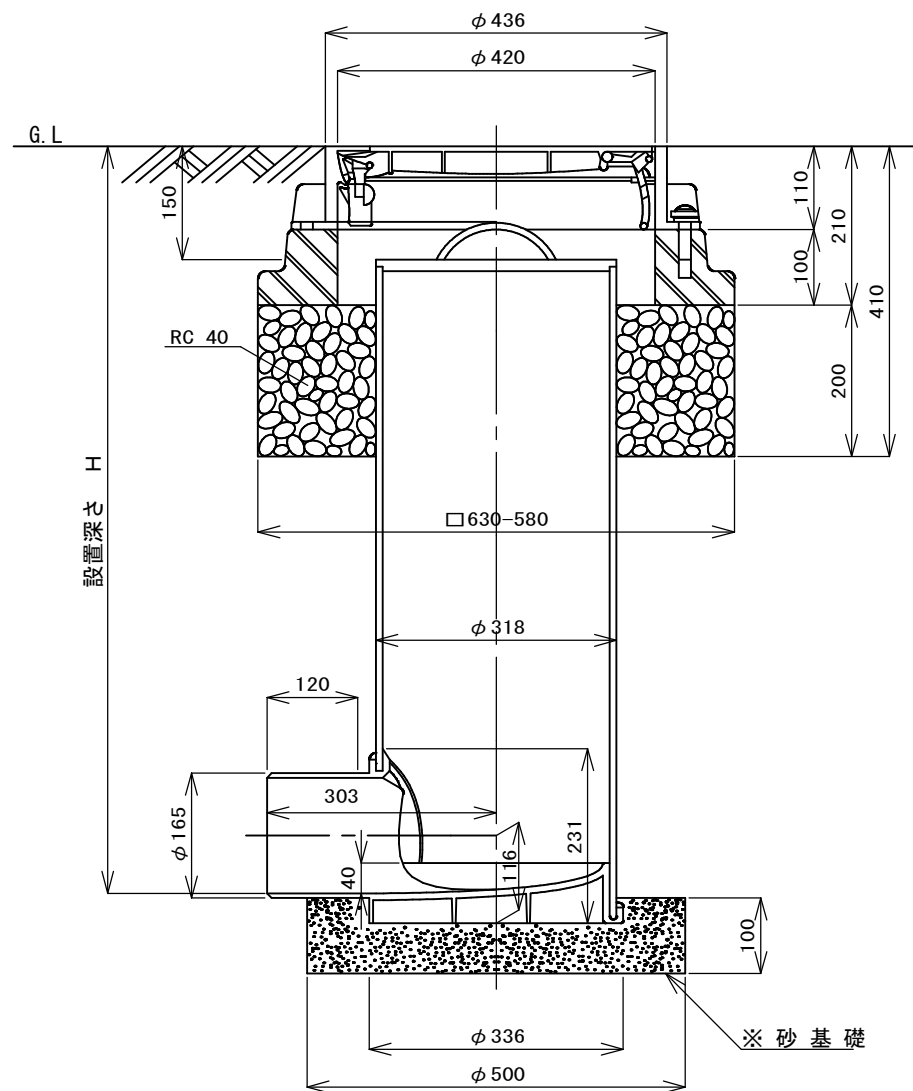
1号	H=1,000
2号	H=1,500
3号	H=2,000



A-A 断面



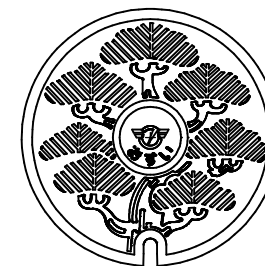
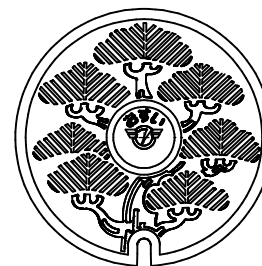
B-B 断面



1号	H = 1, 1 5 0
2号	H = 1, 6 5 0
3号	H = 2, 1 5 0

T-25

T-14



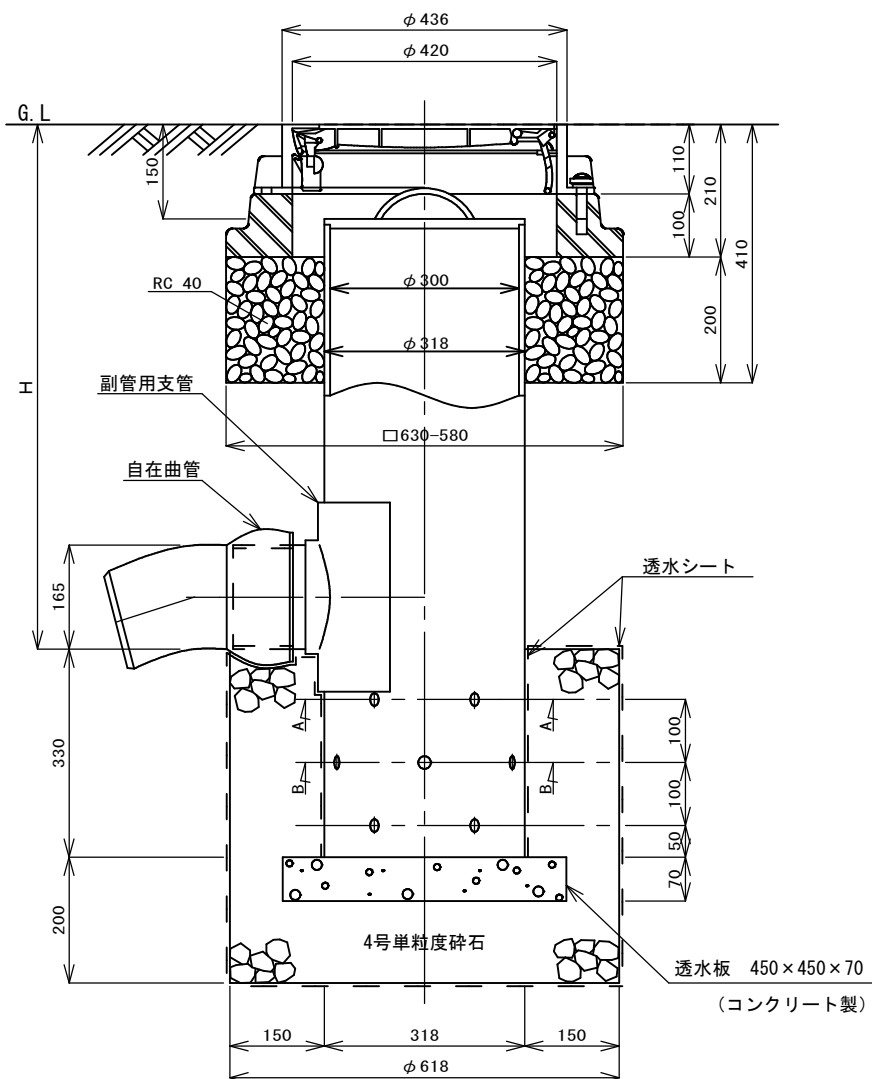
污水

合流

※砂地盤における砂基礎の設置については不要

備考

- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 2.86 \text{ m}^2/10\text{箇所}$

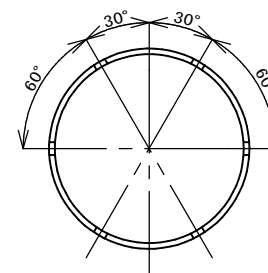


1号	H = 1, 150
2号	H = 1, 650
3号	H = 2, 150

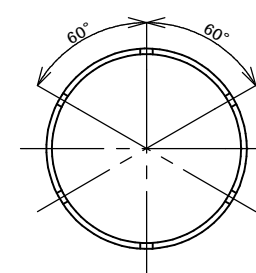
T-25



T-14

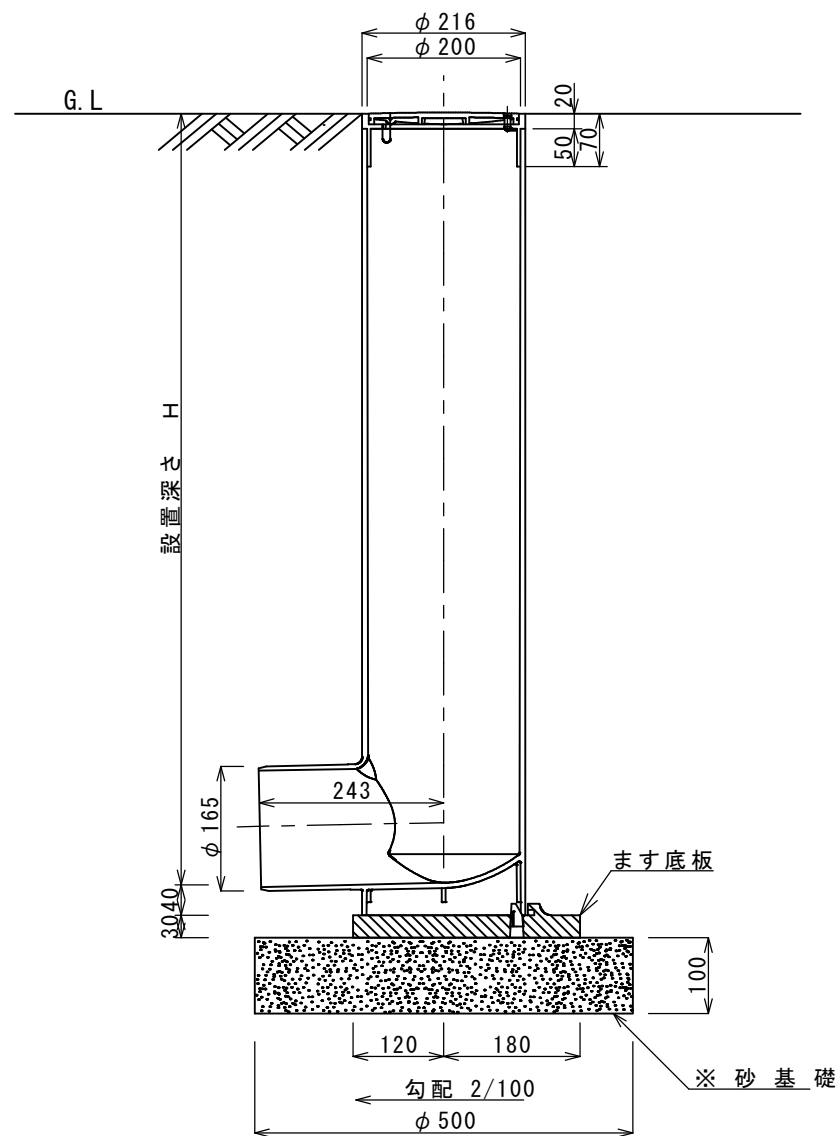


A-A 断面

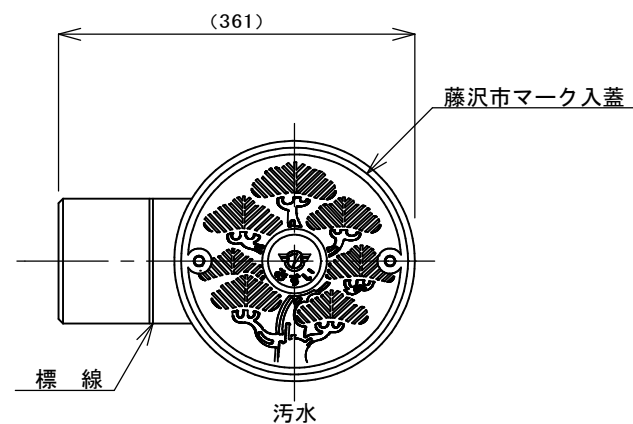


B-B 断面

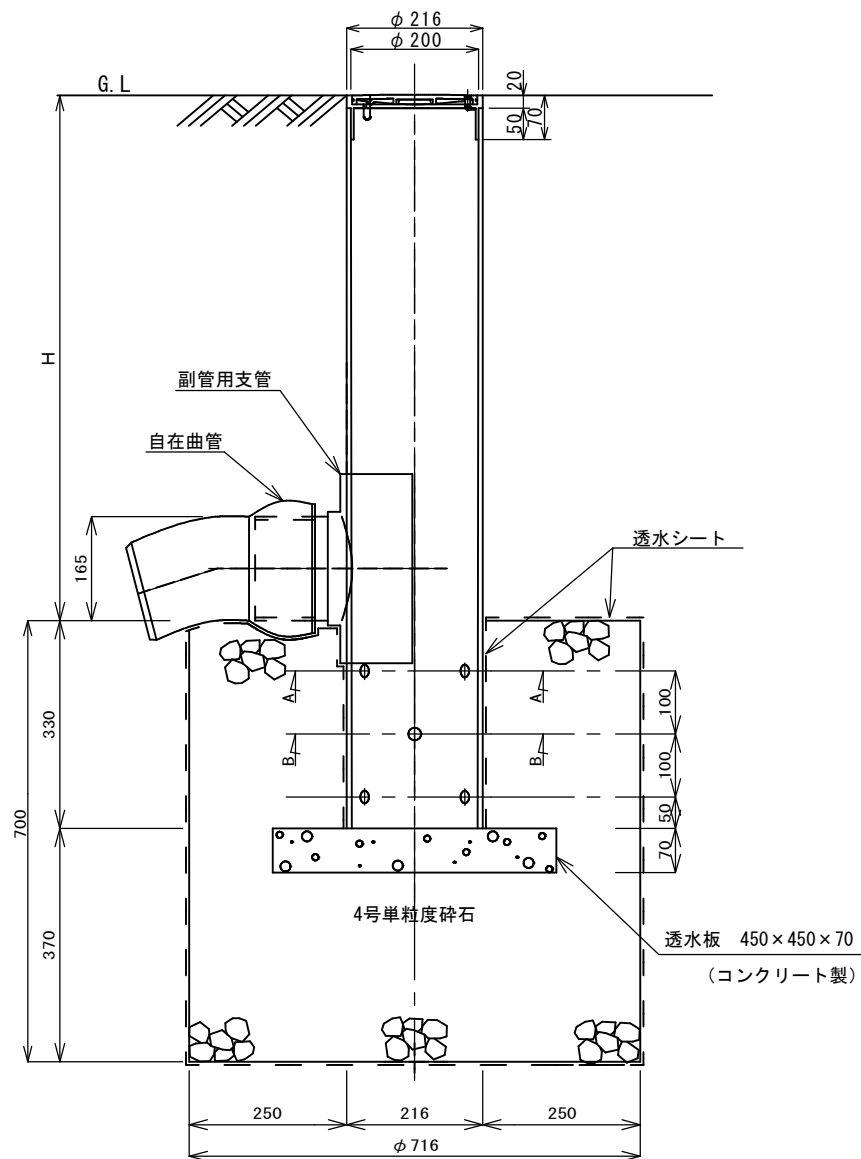
- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 2.86 \text{ m}^2/10\text{箇所}$



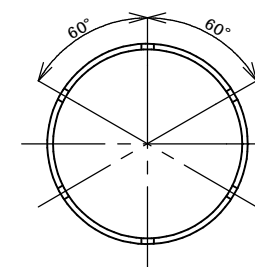
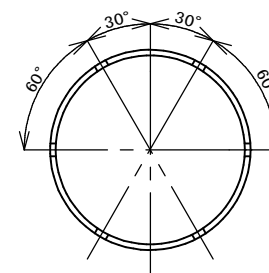
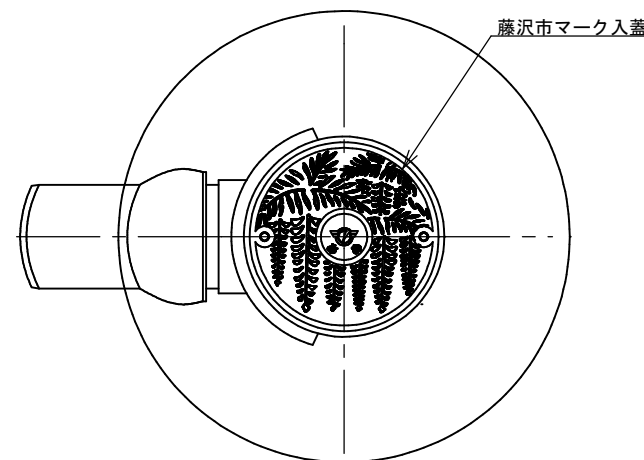
1号	H=1, 000
2号	H=1, 500
3号	H=2, 000

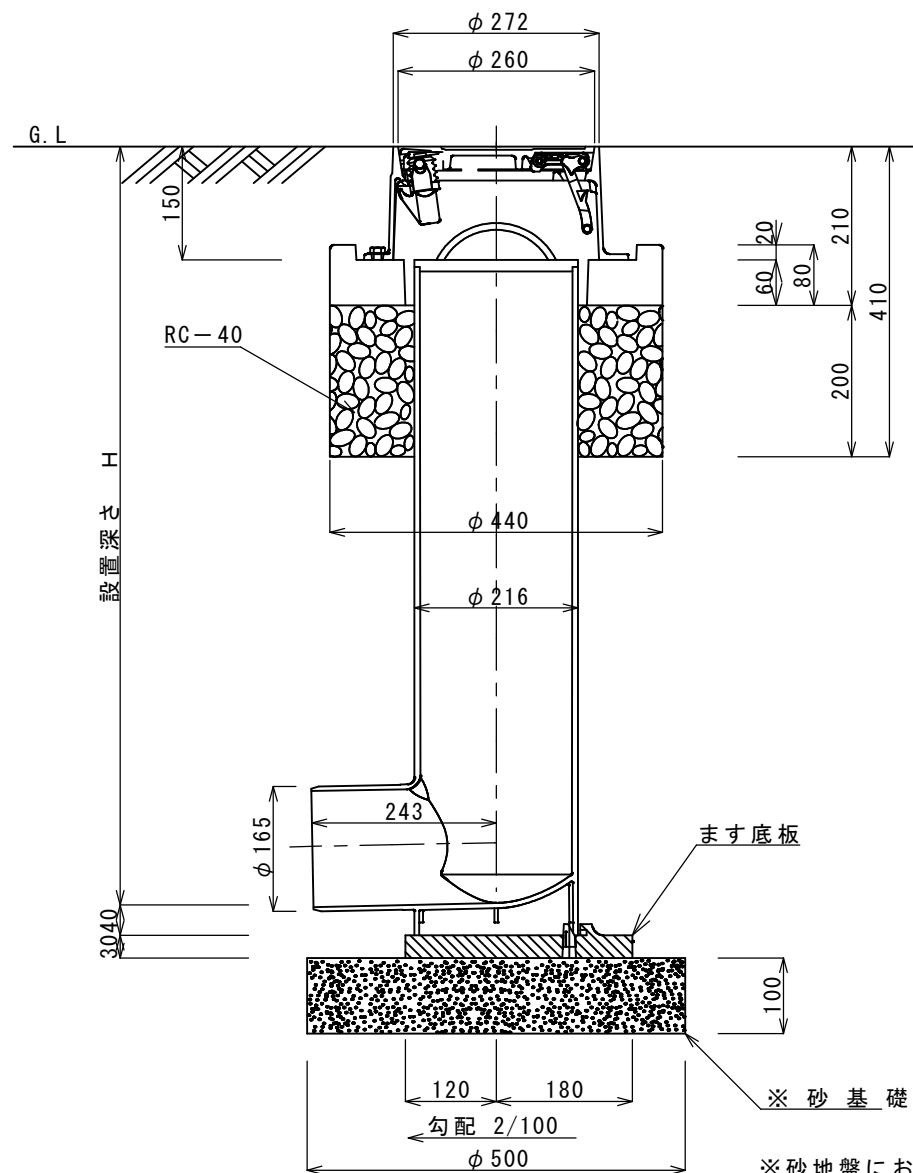


※砂地盤における砂基礎の設置については不要



1号	H=1, 000
2号	H=1, 500
3号	H=2, 000

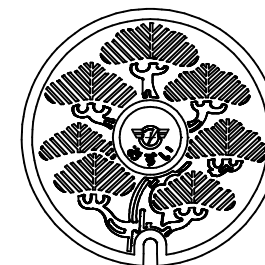




1号	H = 1, 150
2号	H = 1, 650
3号	H = 2, 150

T-14

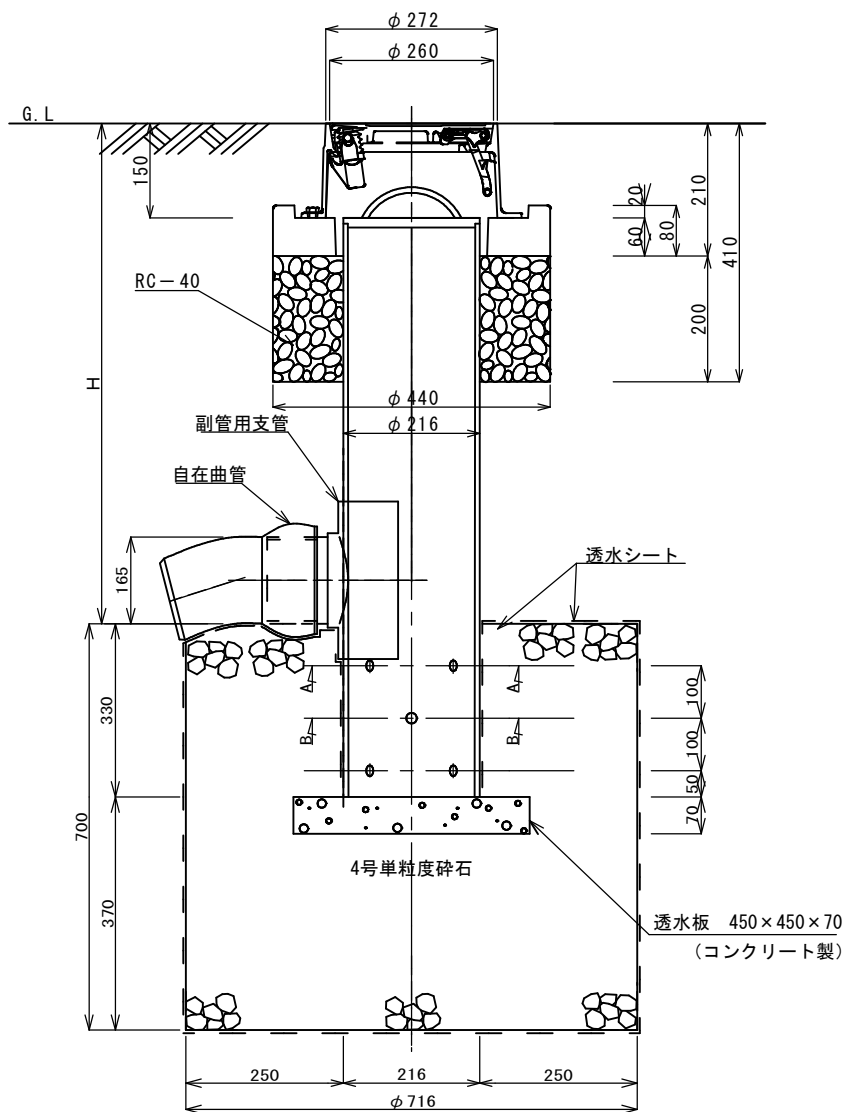
汚水



合流

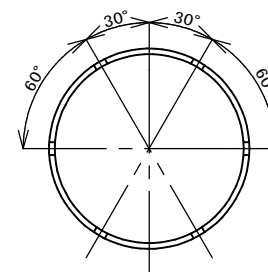


- ・鉄蓋の詳細については12章を参照すること。
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 1.15 \text{ m}^2/10\text{箇所}$

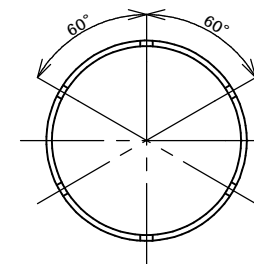


1号	H = 1, 1 5 0
2号	H = 1, 6 5 0
3号	H = 2, 1 5 0

T-14



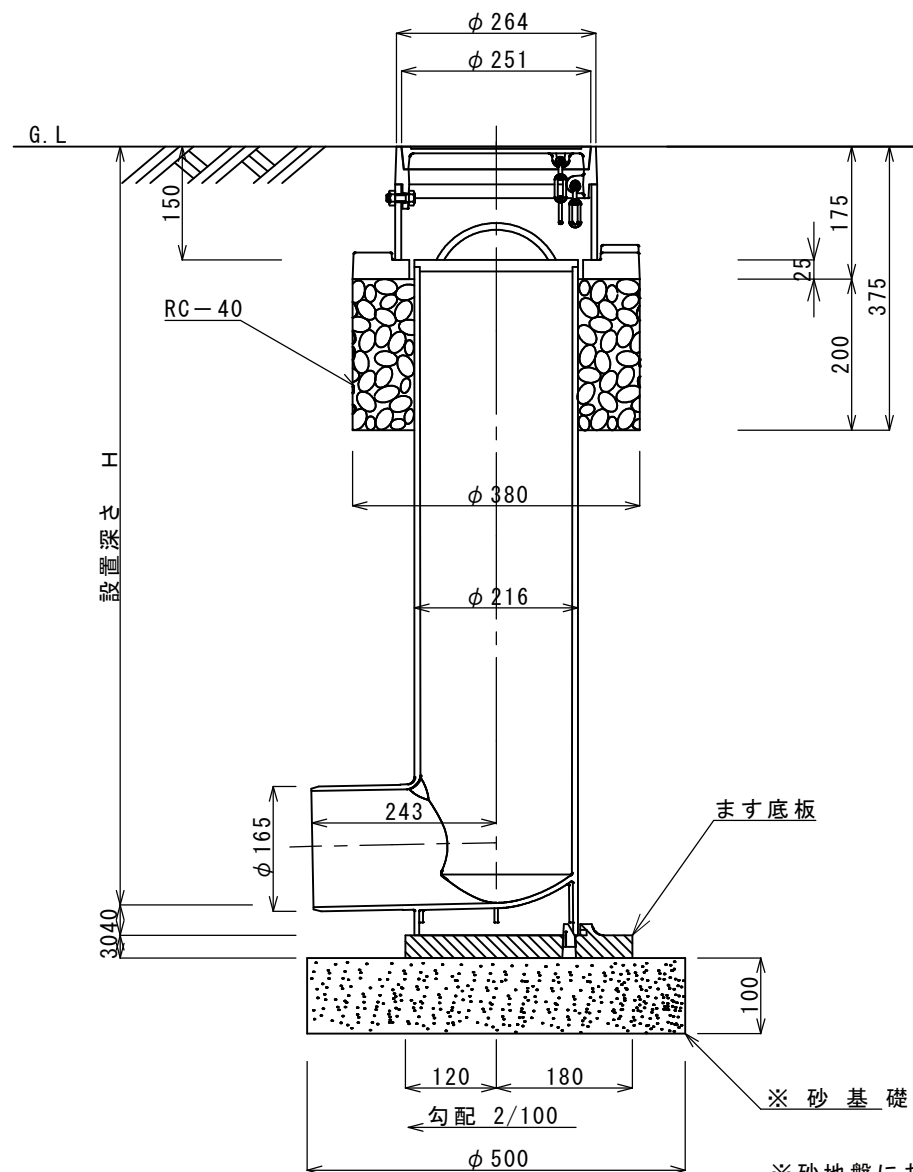
A-A 断面



B-B 断面

備考

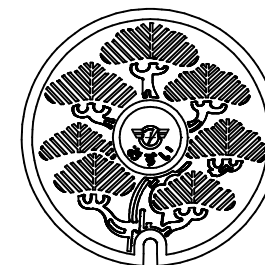
- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 1.15 \text{ m}^2/10\text{箇所}$



1号	H=1, 150
2号	H=1, 650
3号	H=2, 150

T-8

汚 水

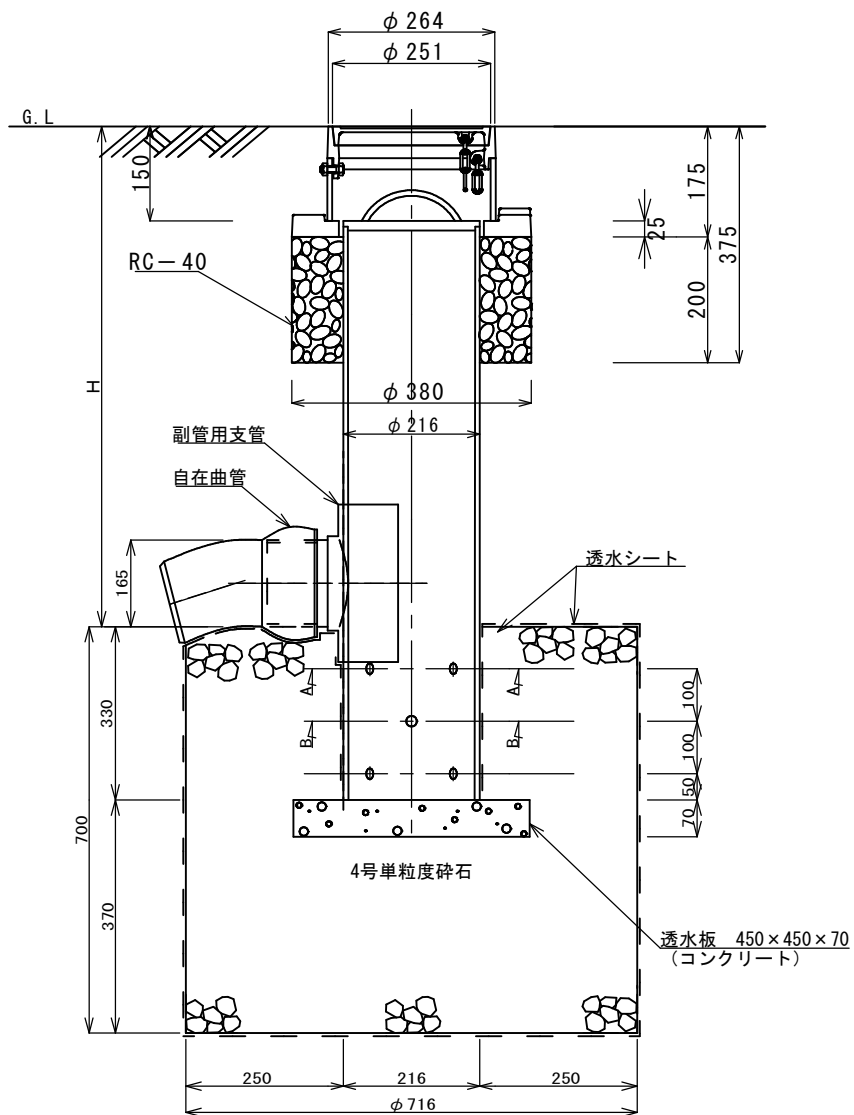


合 流



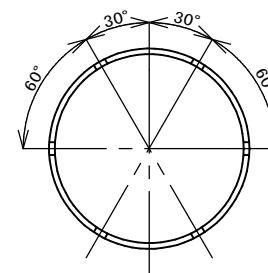
※砂地盤における砂基礎の設置については不要

- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 0.77 \text{ m}^2/10 \text{ 箇所}$

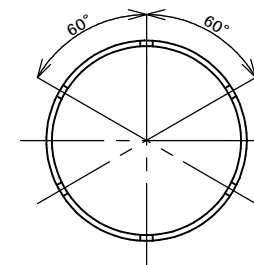


1号	H=1, 150
2号	H=1, 650
3号	H=2, 150

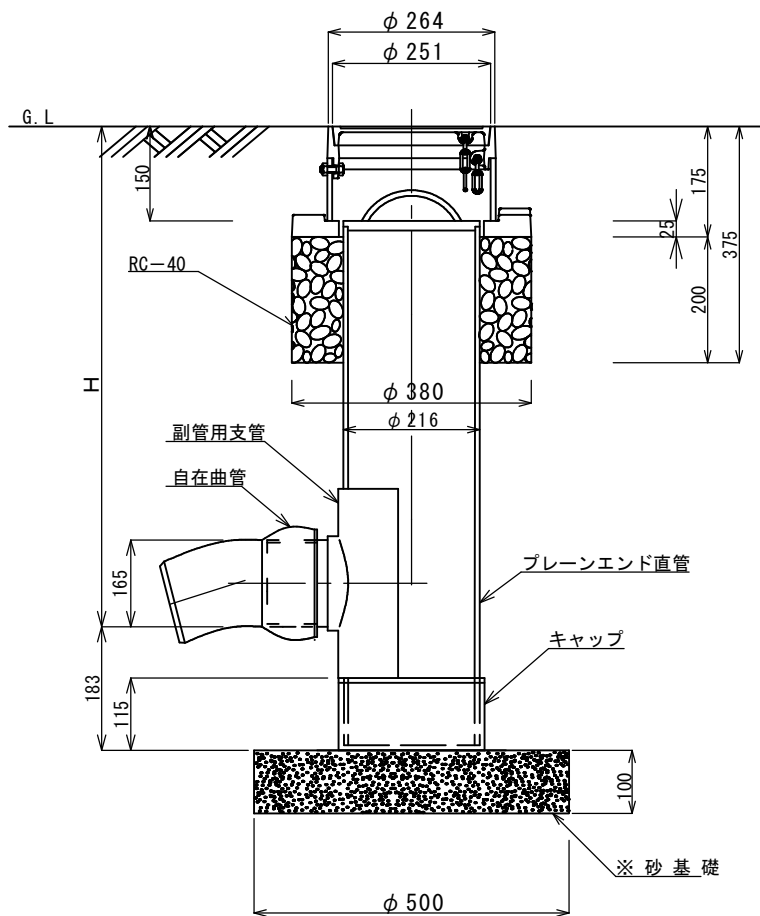
T-8



A-A 断面



B-B 断面



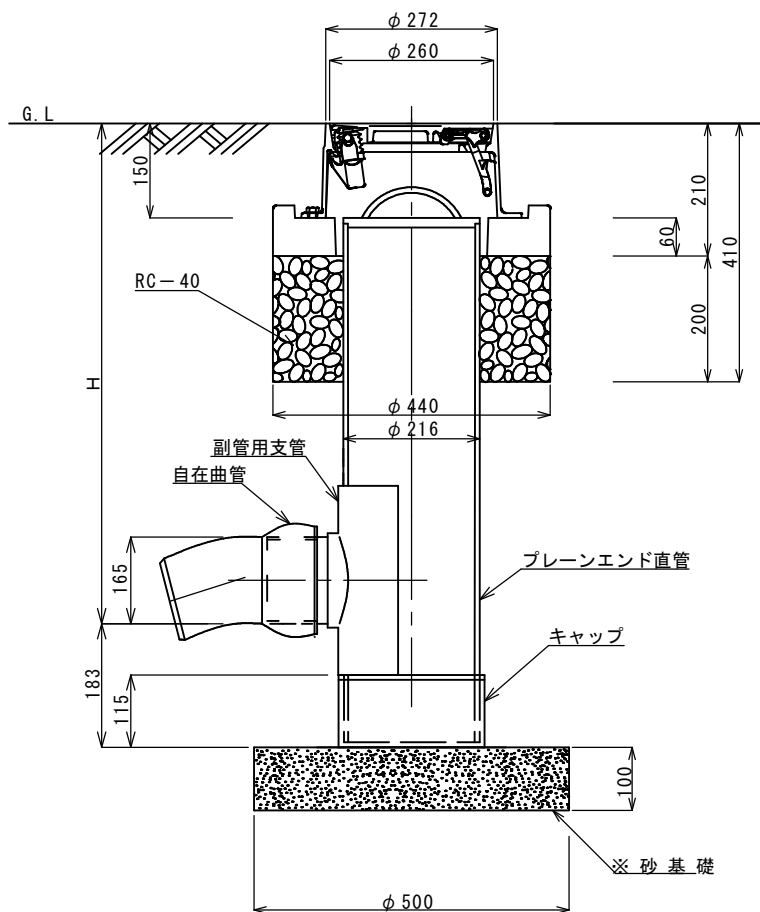
1号	H = 1, 150
2号	H = 1, 650
3号	H = 2, 150

T-8



※砂地盤における砂基礎の設置については不要

- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 0.77 \text{ m}^2/10 \text{ 箇所}$



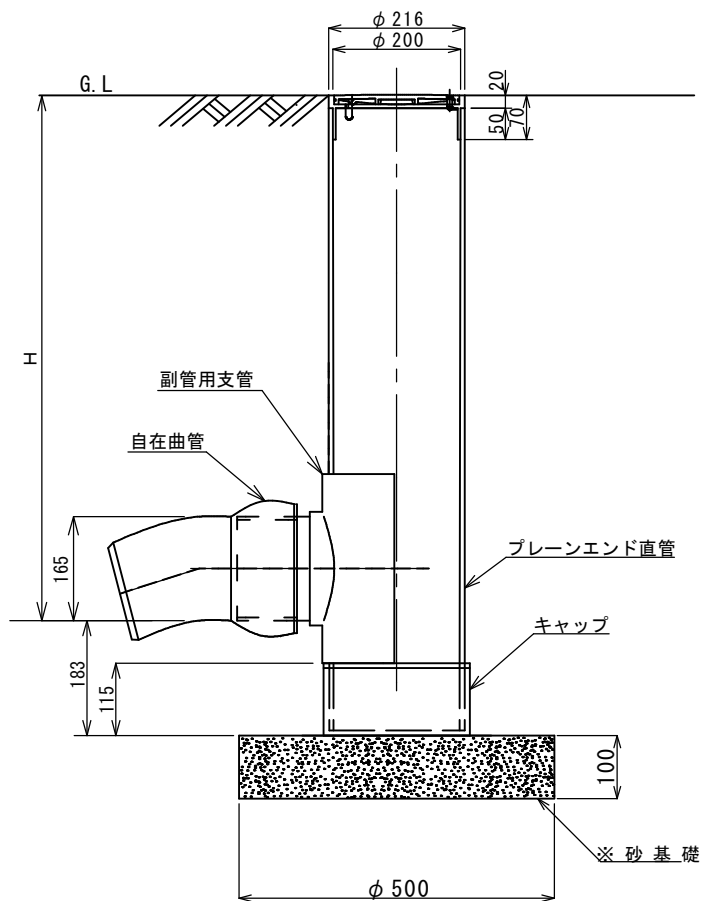
1号	H=1,150
2号	H=1,650
3号	H=2,150

T-14

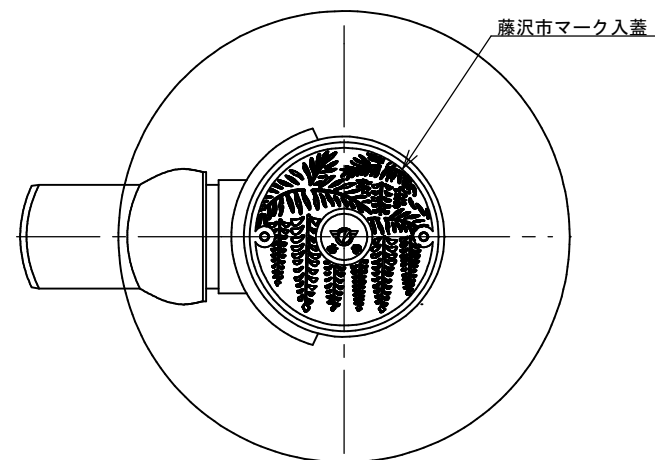


※砂地盤における砂基礎の設置については不要

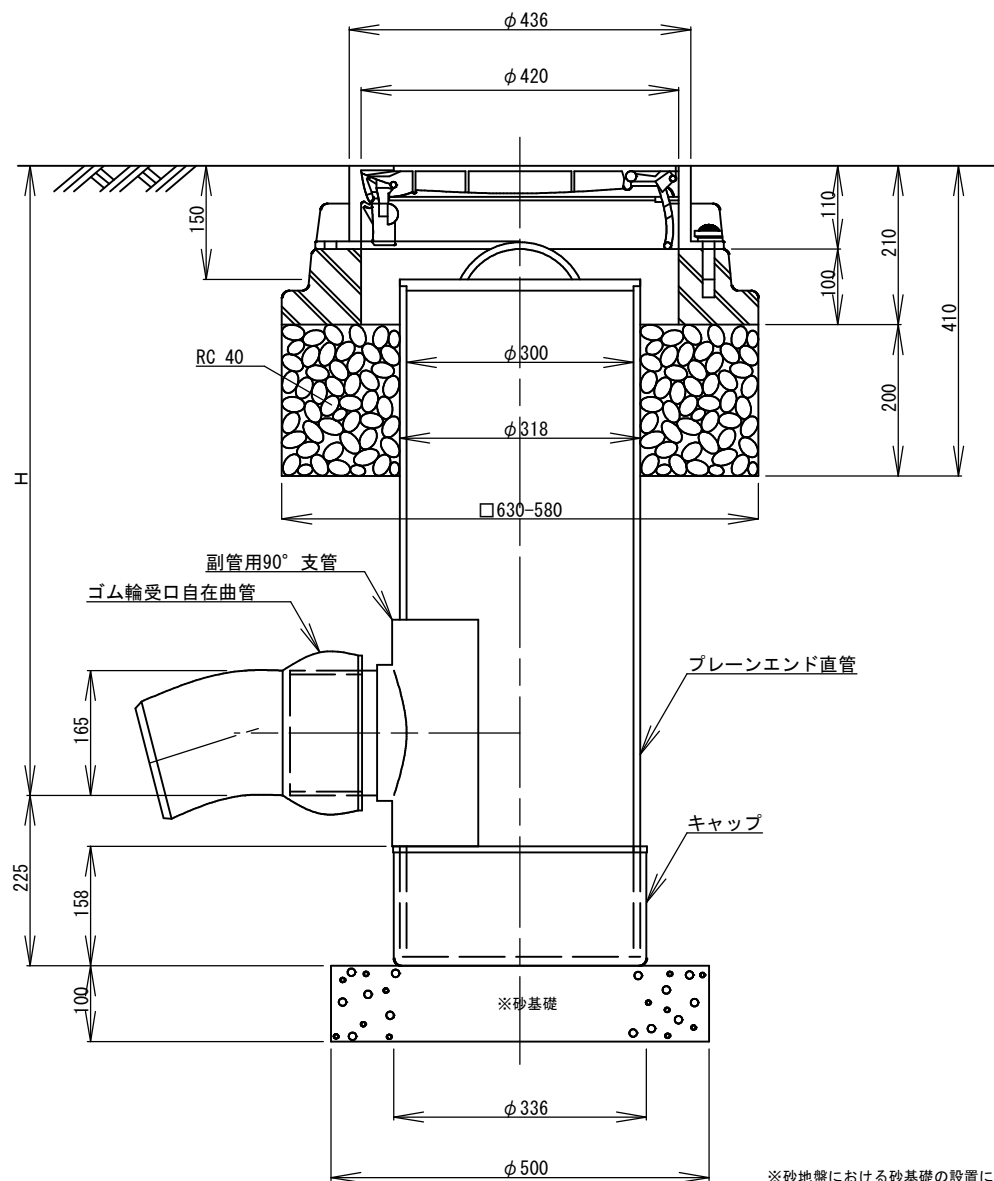
- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 1.15 \text{ m}^2/10\text{箇所}$



1号	H=1,000
2号	H=1,500
3号	H=2,000



※砂地盤における砂基礎の設置については不要



1号	H = 1, 150
2号	H = 1, 650
3号	H = 2, 150

T-25

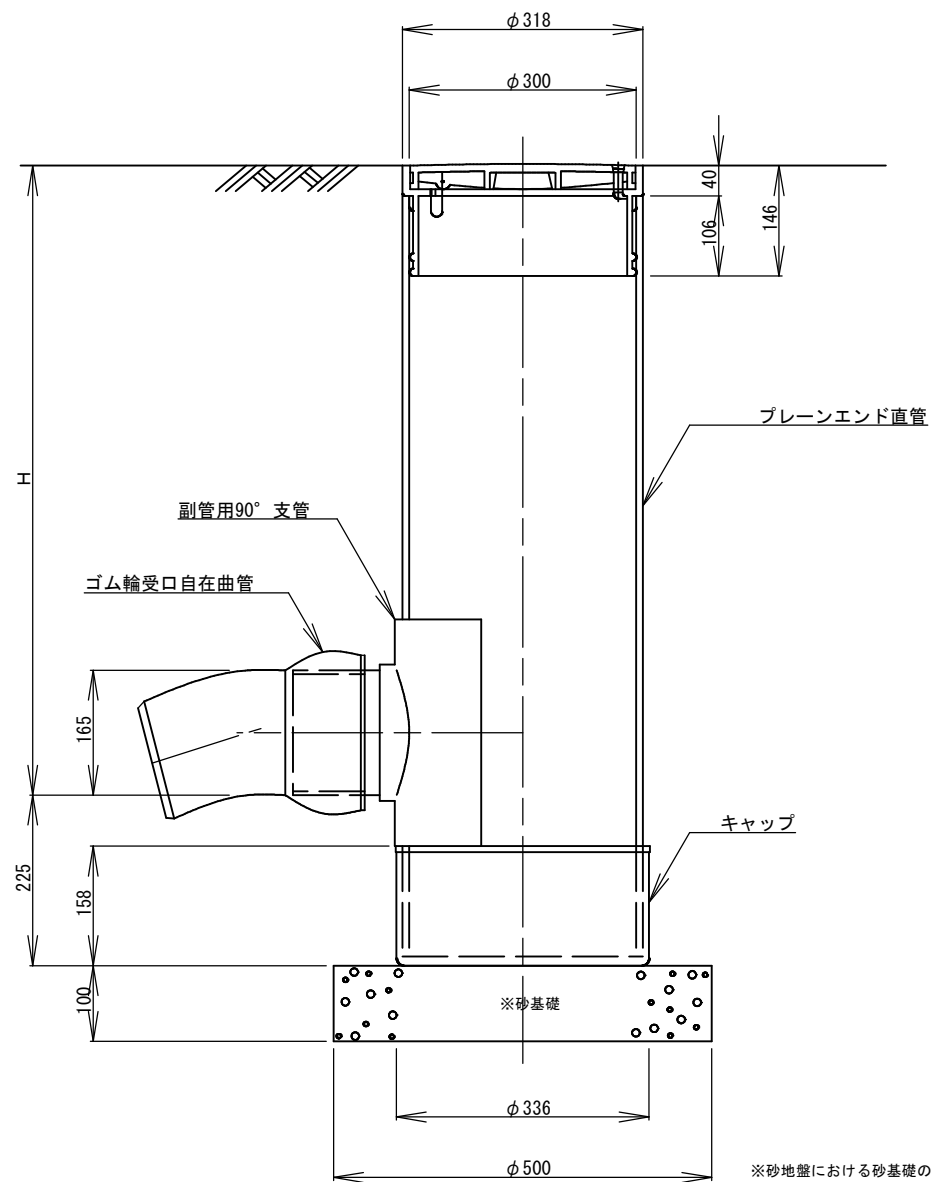


T-14

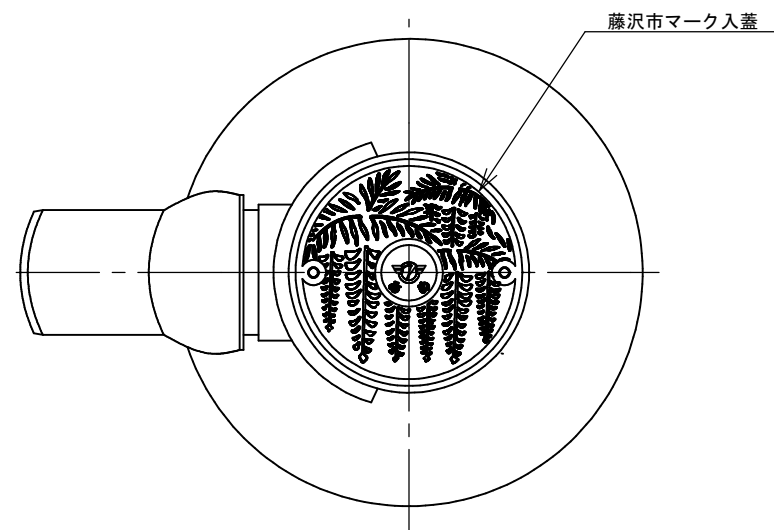


※砂地盤における砂基礎の設置については不要

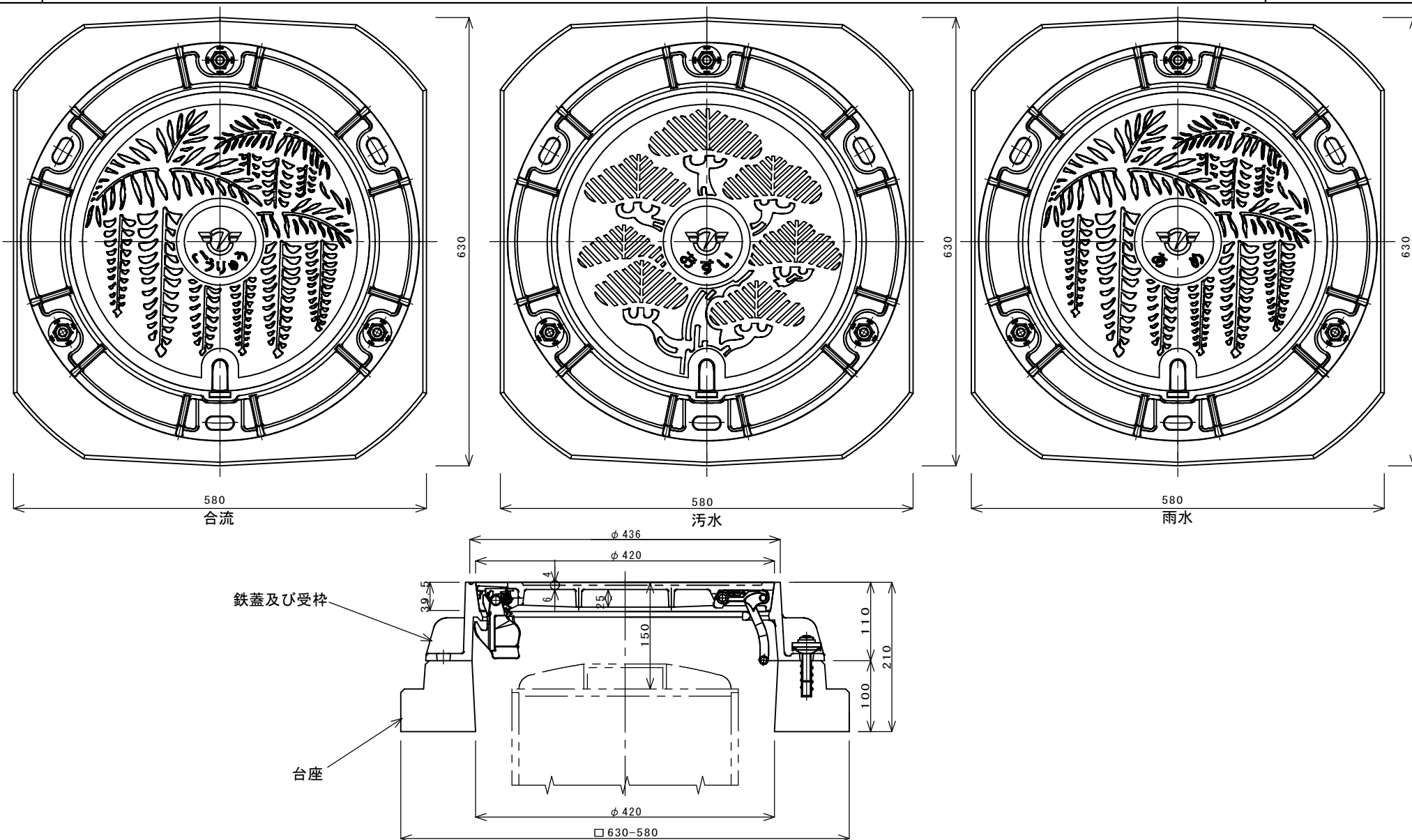
- ・鉄蓋の詳細については12章参照
- ・鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 2.86 \text{ m}^2/10 \text{ 箇所}$



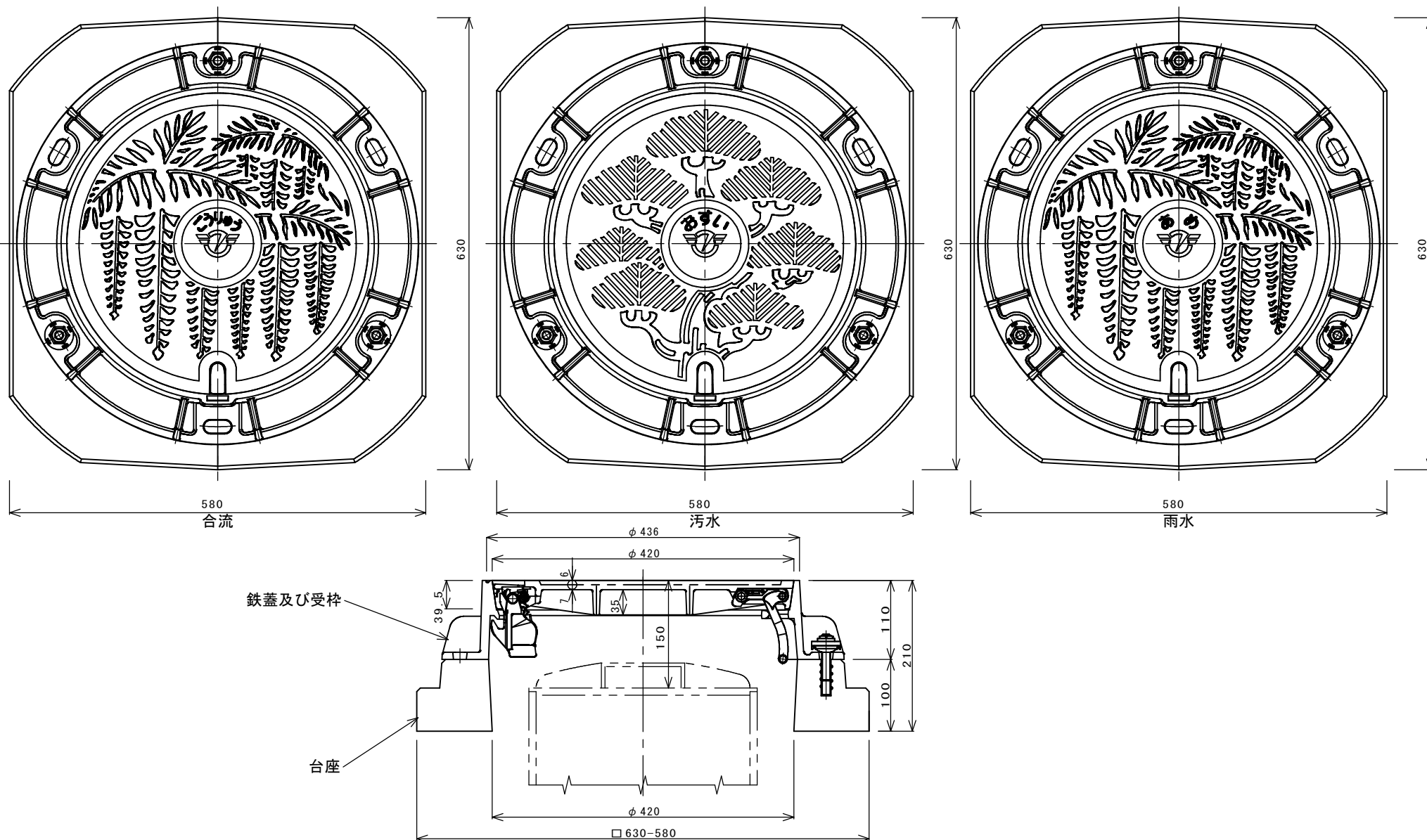
1号	H = 1, 0 0 0
2号	H = 1, 5 0 0
3号	H = 2, 0 0 0



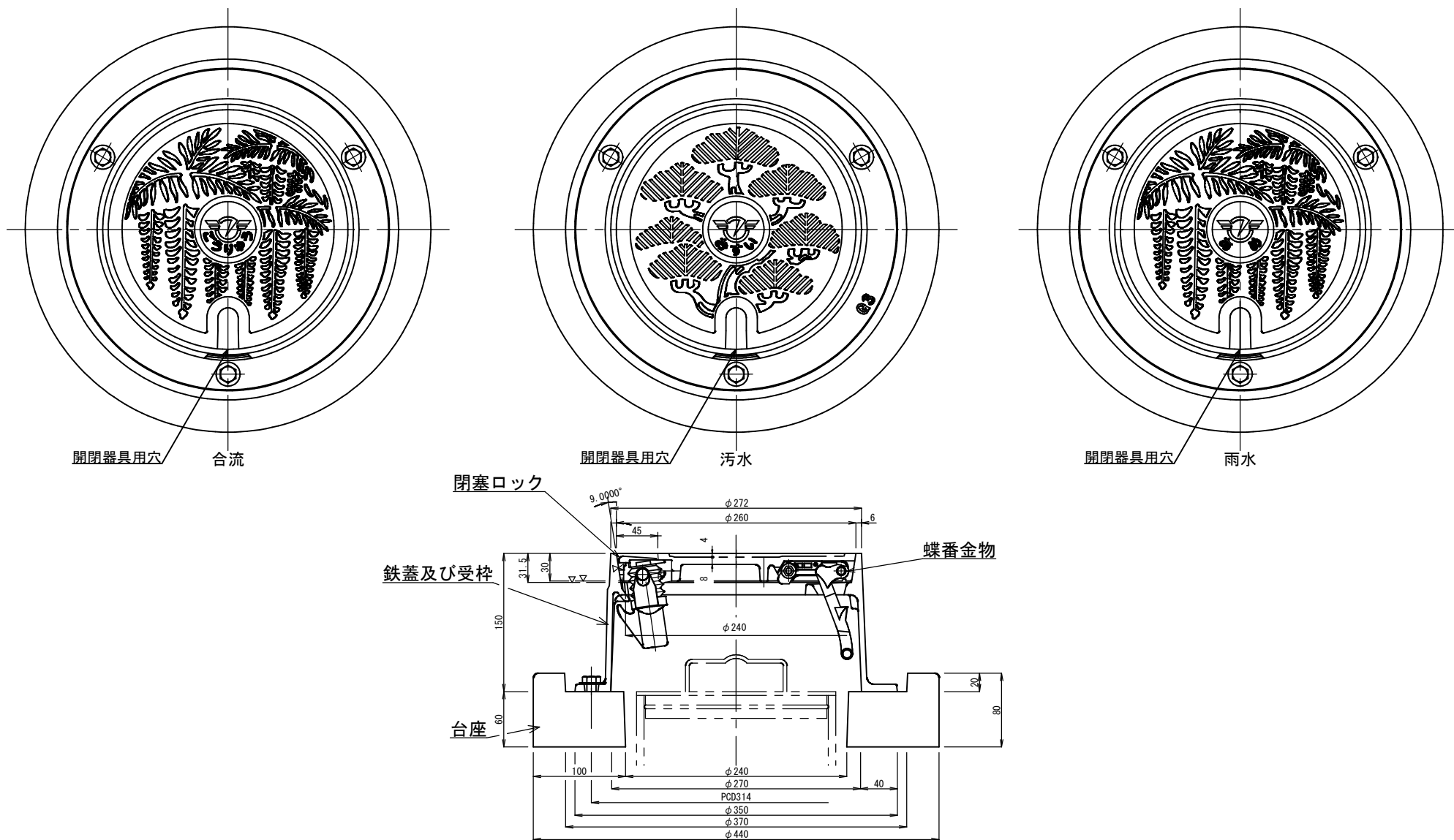
※砂地盤における砂基礎の設置については不要



・ 藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。



・ 藤沢市の認定を受けた工場で製作された製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。



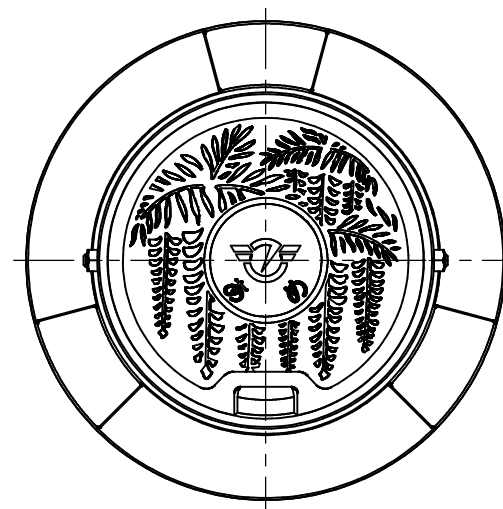
- ・ 藤沢市の認定を受けた工場で作られた製品に限り使用可能とする（認定工場及び製造業者については、下水道管路課へ確認してください）。
- ・ 取付ます設置箇所の地盤が5.0°の勾配を超える場合は、φ300用の鉄蓋を使用すること。



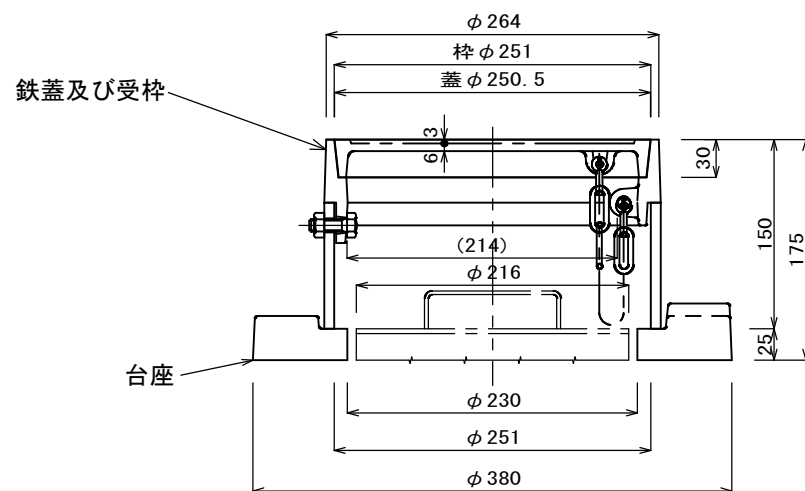
合 流

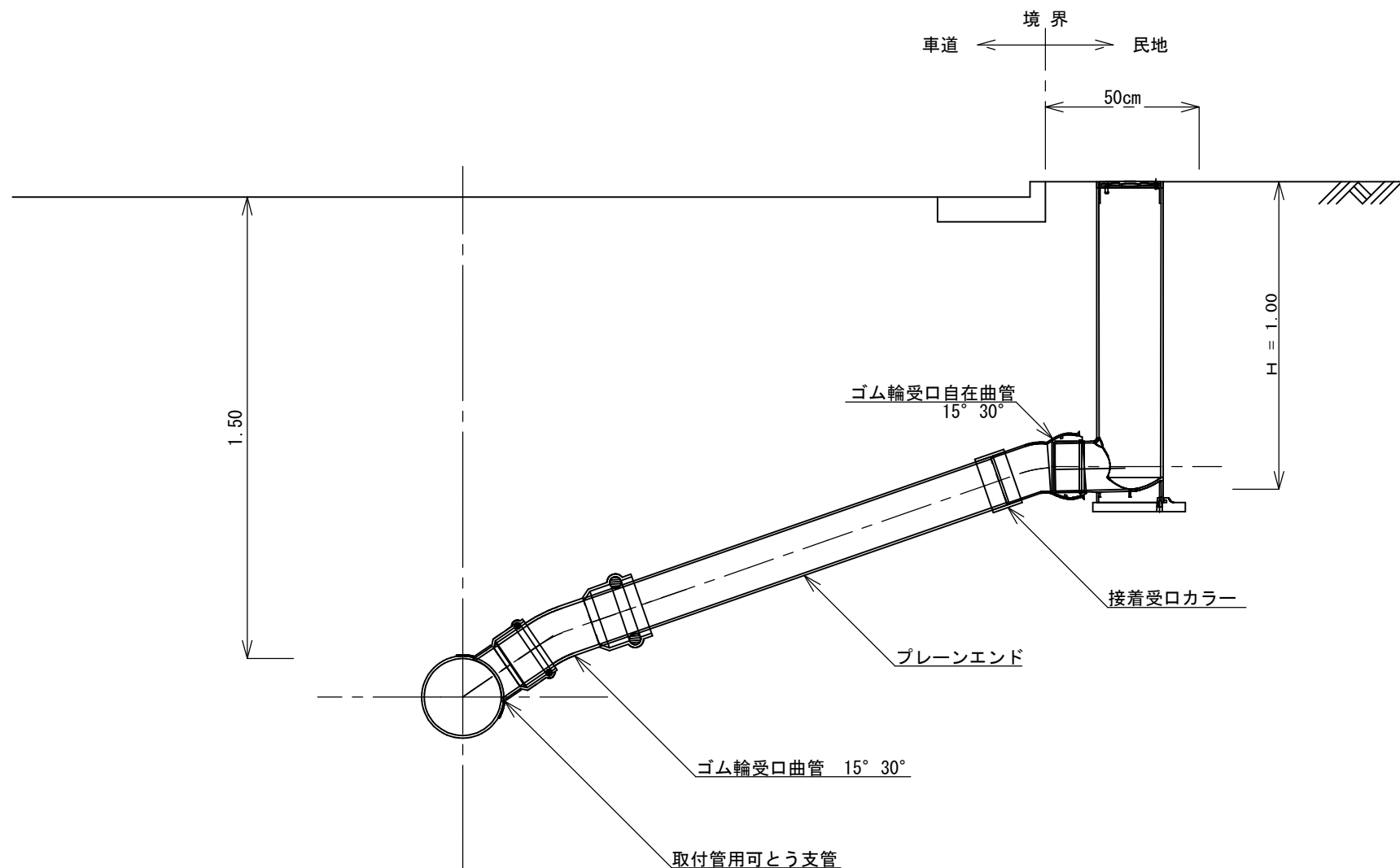


汚 水

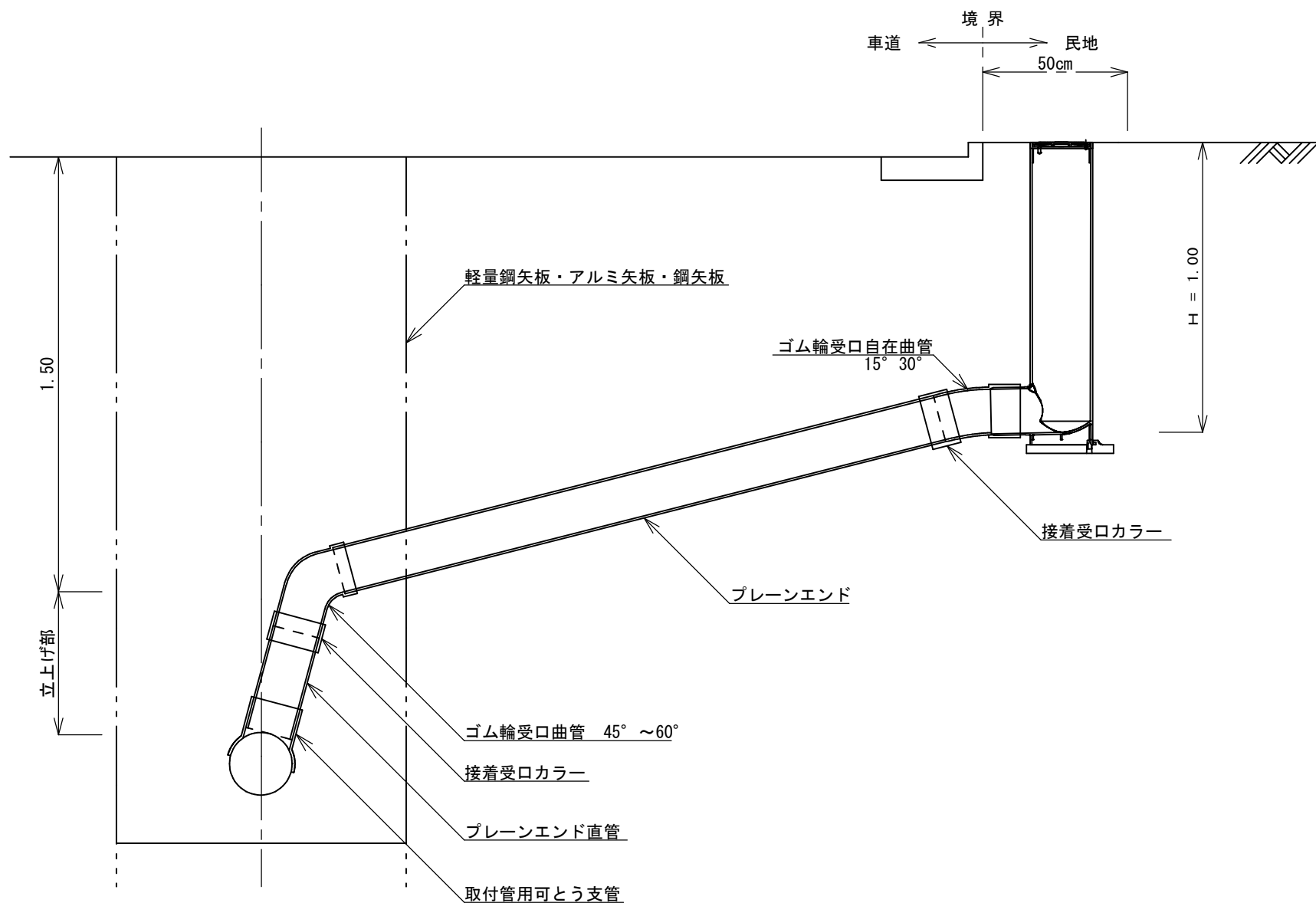


雨 水





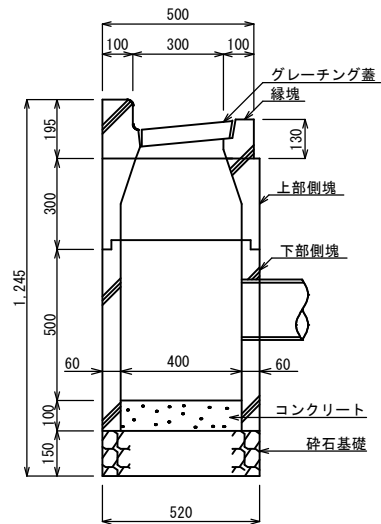
- ・取付管位置は、本管の水平方向の中心線より上方に取り付けること。
- ・占用位置については、道路管理者と協議すること。
- ・取付管勾配は10%以上にする。
- ・取付ますについては、原則として官民境界から民地側50cm以内に設置するものとするが、民地側50cm以内に設置できない場合は下水道管理者と別途協議するものとする。



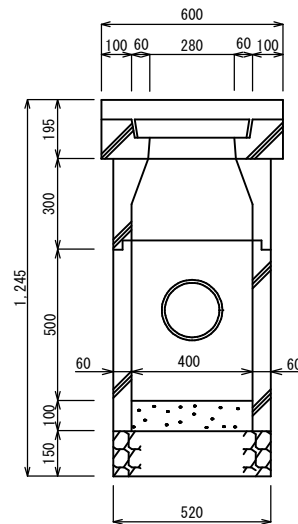
備考

- ・取付管位置は、本管の水平方向の中心線より上方に取り付けること。
- ・占用位置については、道路管理者と協議すること。
- ・取付管勾配は10‰以上にする。
- ・取付ますについては、原則として官民境界から民地側50cm以内に設置するものとするが、民地側50cm以内に設置できない場合は下水道管理者と別途協議するものとする。

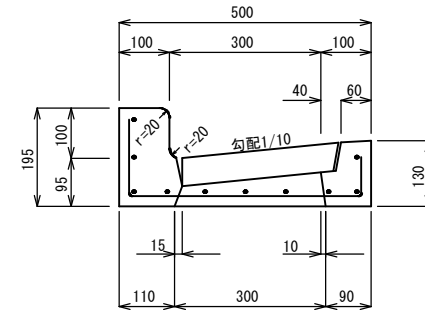
A－A断面図



B－B断面図



緑塊B型（300用）

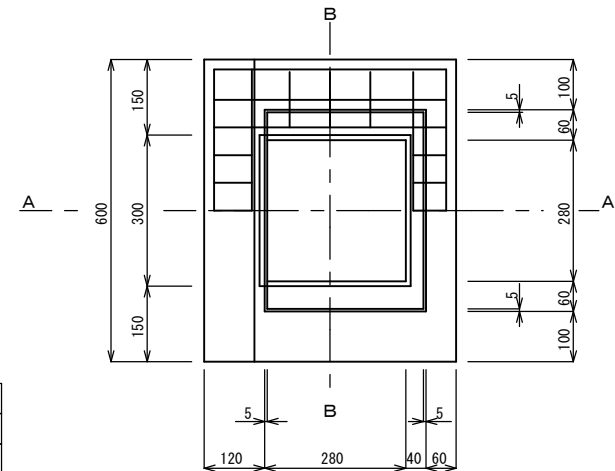


B型（300用）材料表

名称	寸法 (mm)	参考重量 (kg)
L型緑塊	195/130×500×600	60
上部側塊	400×400×300	93
下部側塊	400×400×600	159

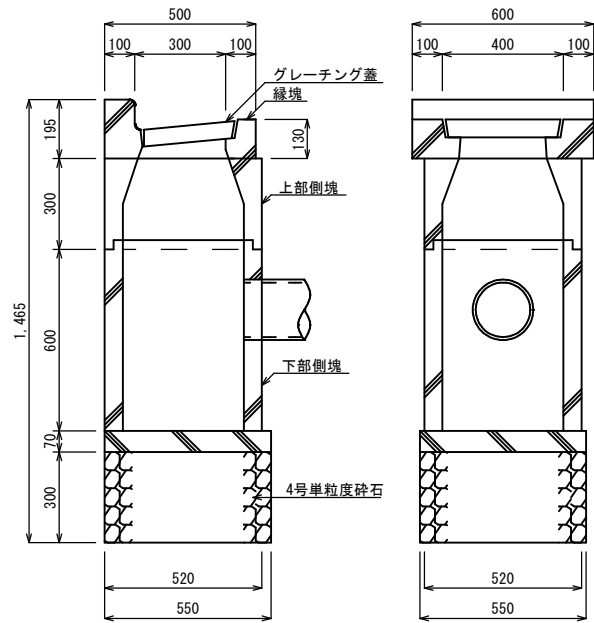
雨水ます（藤沢市B型・浸透不可地域用）数量表 1基当たり

工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
コンクリート	m ³	0.40×0.40×0.10	0.016
砕石基礎	m ²	0.52×0.52, t=15cm	0.270

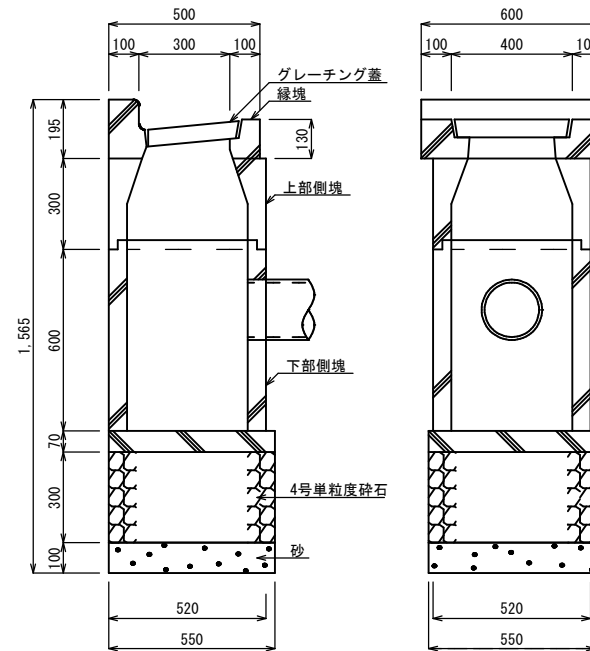


- ・グレーティング蓋に関しては、14-3参照。
- ・底部に150mm以上の泥だめを設けること。

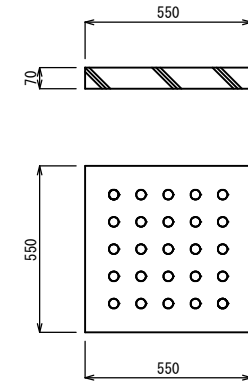
砂質土



粘性土

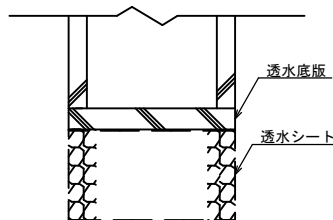


透水底板



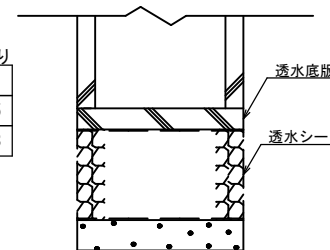
B型(300用)材料表(砂質土・粘性土共通)

名称	寸法 (mm)	参考重量 (kg)
L型緑塊	195/130×500×600	60
上部側塊	400×400×300	93
下部側塊	400×400×600	159
透水底板	550×550×70	44



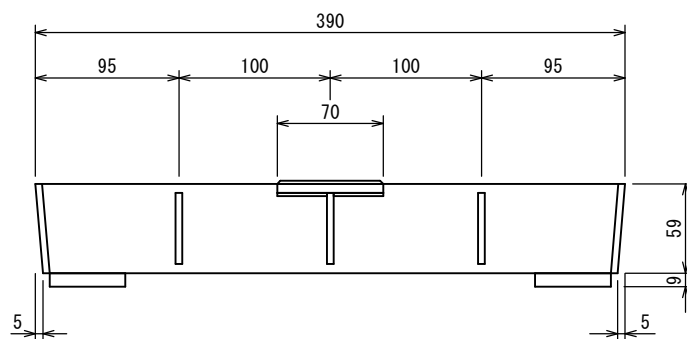
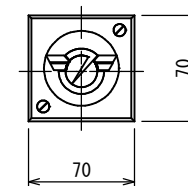
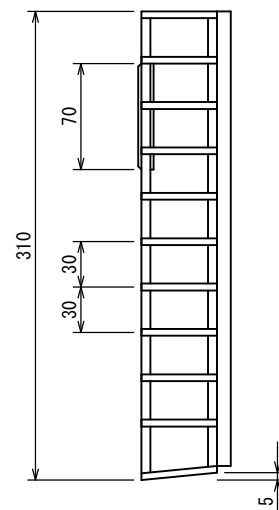
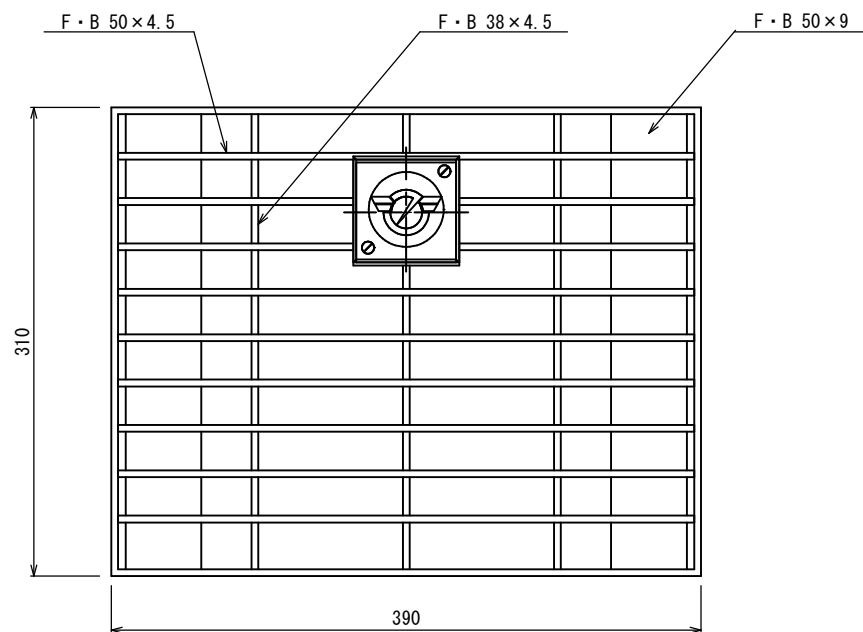
雨水ます（藤沢市B型）数量表（砂質土） 1基当たり

工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
透水シート	m2	$0.55 \times 4 + 0.30 + 0.55 \times 0.55 \times 2$	1.265
浸透層(4号単粒度碎石)	m2	$0.55 \times 0.55, t=30\text{cm}$	0.303



雨水ます（藤沢市B型）数量表（粘性土） 1基当たり

工種・名称	単位	計算式・条件等	数量
透水シート	m2	$0.55 \times 4 + 0.30 + 0.55 \times 0.55 \times 2$	1.265
浸透層(4号単粒度碎石)	m2	$0.55 \times 0.55, t=30\text{cm}$	0.303
砂基礎	m2	$0.55 \times 0.55, t=10\text{cm}$	0.303



 塩ビマンホール

 0号マンホール

 1A号マンホール

 1B号マンホール

 1C号マンホール

 2A号マンホール

 2B号マンホール

 2C号マンホール

 3A号マンホール

 3B号マンホール

 3C号マンホール

 4A号マンホール

 4B号マンホール

 4C号マンホール

 5A号マンホール

 5B号マンホール

 5C号マンホール

 楕円マンホール

 $\phi 600\text{mm}$
スパンパイプマンホール

 特1号角形マンホール

 特1A号マンホール

 特1B号マンホール

 特1C号マンホール

 特2A号マンホール

 特2B号マンホール

 特2C号マンホール

 特3A号マンホール

 特3B号マンホール

 特3C号マンホール

 特4A号マンホール

 特4B号マンホール

 特4C号マンホール

 特5A号マンホール

 特5B号マンホール

 特5C号マンホール

 特殊マンホール

 副管付マンホール

ます記号

汚水ます

宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号
					

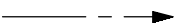
雨水ます

宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号
					

 雨水ます(B型)

路線種別記号

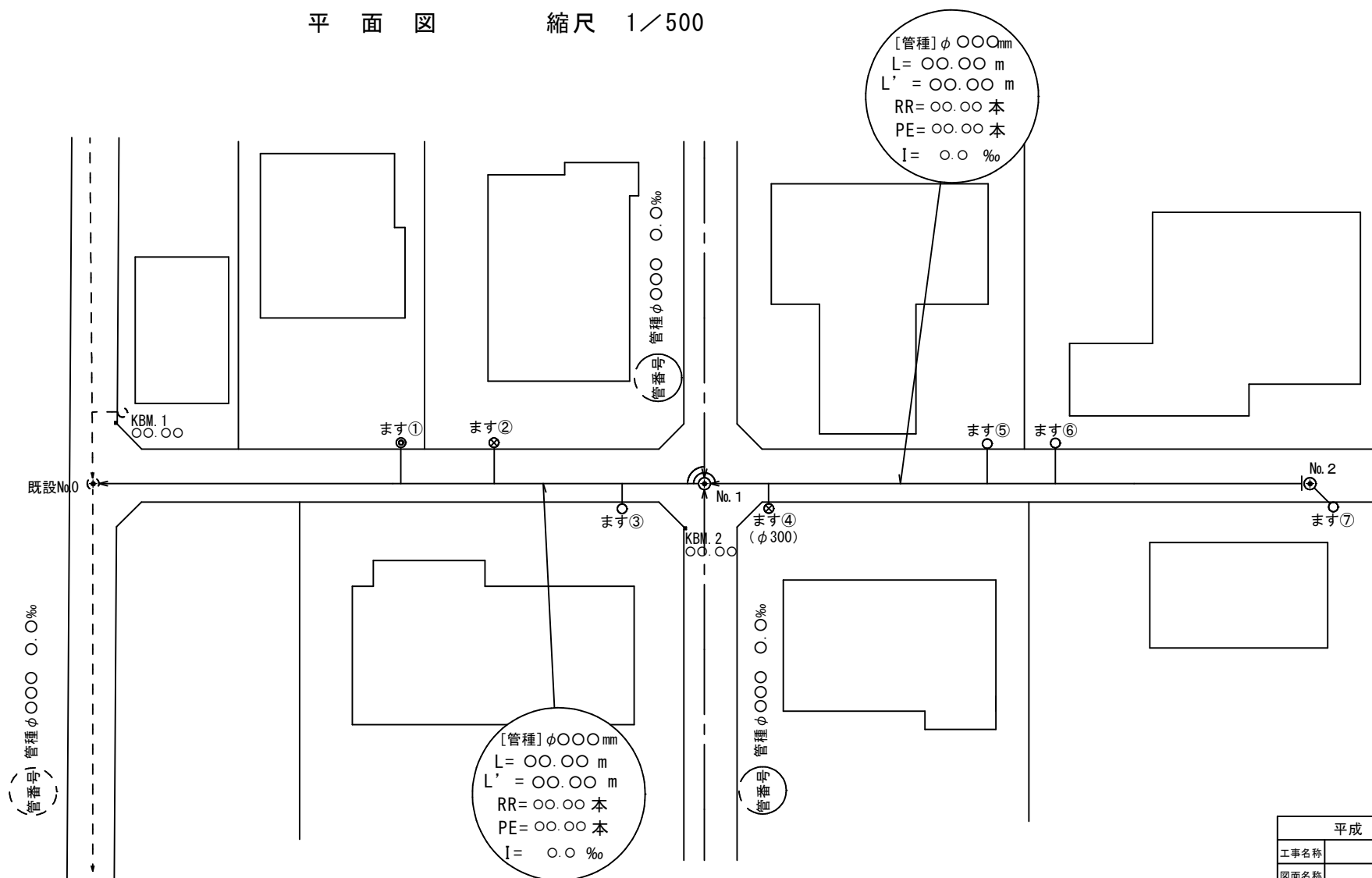
 実施路線(実線)

 計画路線(一点鎖線)

 既設路線(点線)

 縁切(起点)

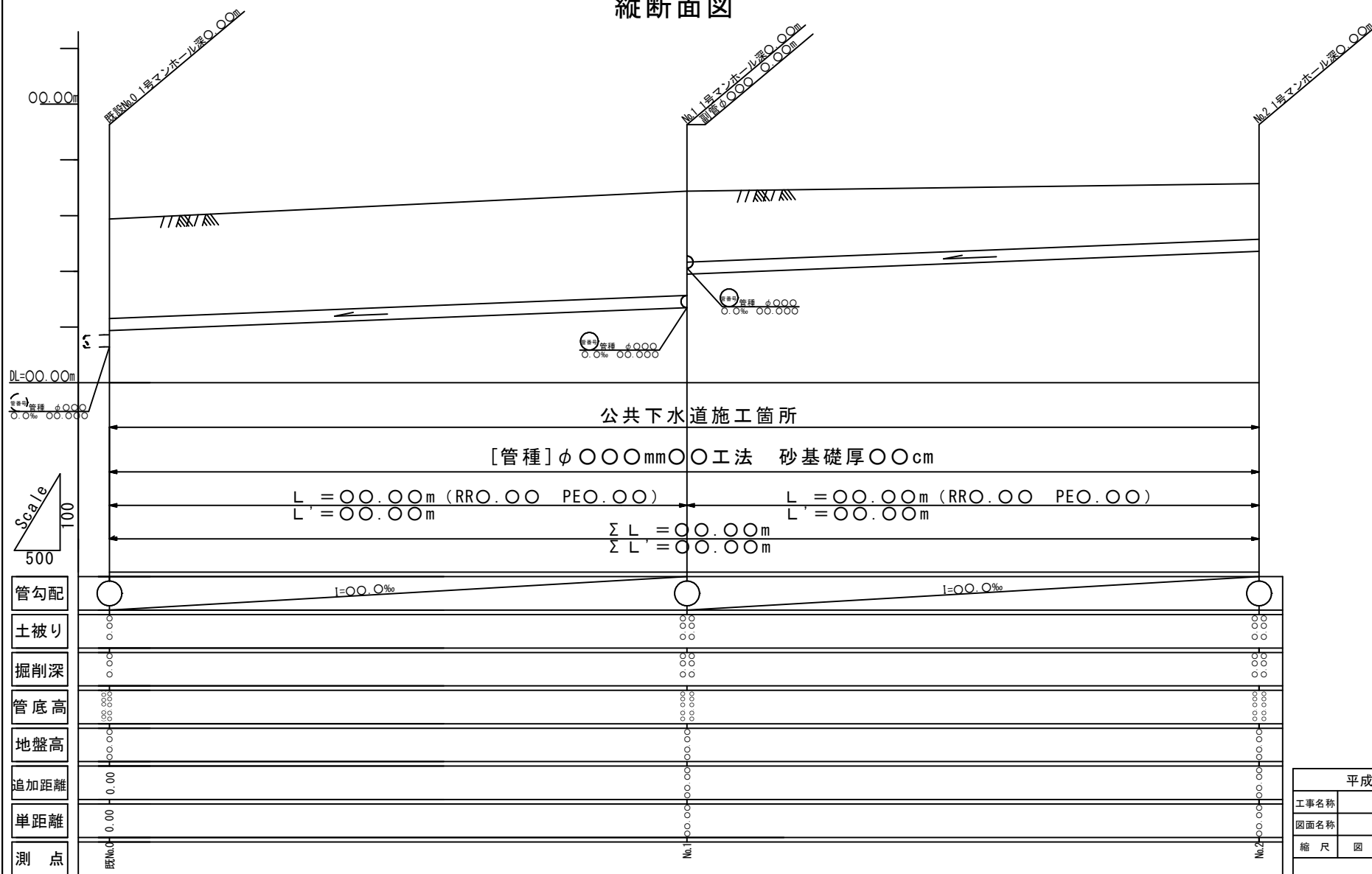
平面図 縮尺 1/500



備考

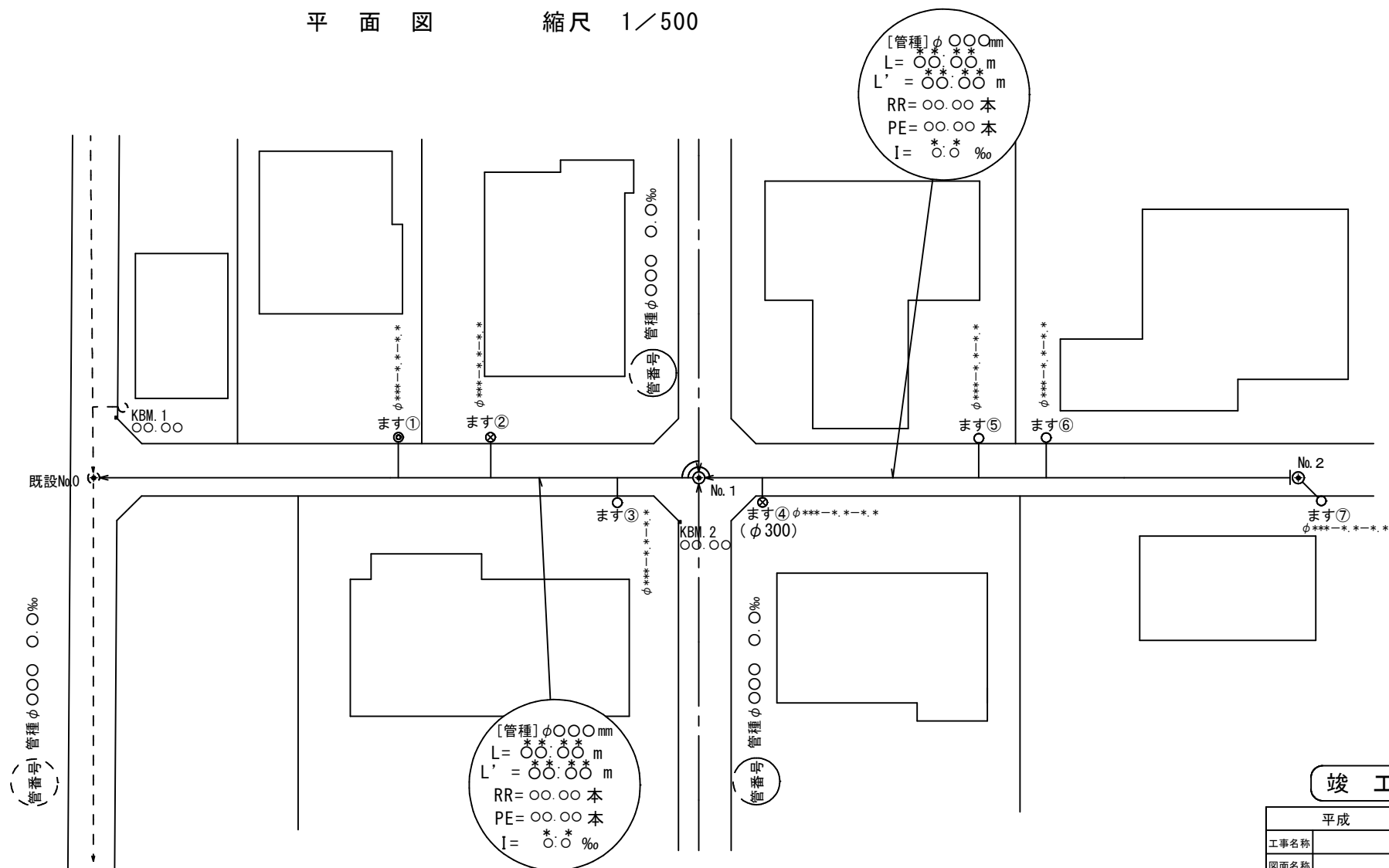
- ・縮尺は1/500を基本とする。
- ・図面上にBM又は仮BMを明示のこと。
- ・ますφ300を使用する場合は、ます番号の下段に（φ300）と記載すること。

平成		年度	
工事名称			
図面名称			
縮 尺	図 示	図面番号	/



備考

- ・掘削深 = 地盤高 - 管底高 + 管厚 + 基礎厚
 ・土被り = 地盤高 - 管底高 - 管径 - 管厚
 ・L = 管きょ延長
 ・L' = 路線延長



竣工図

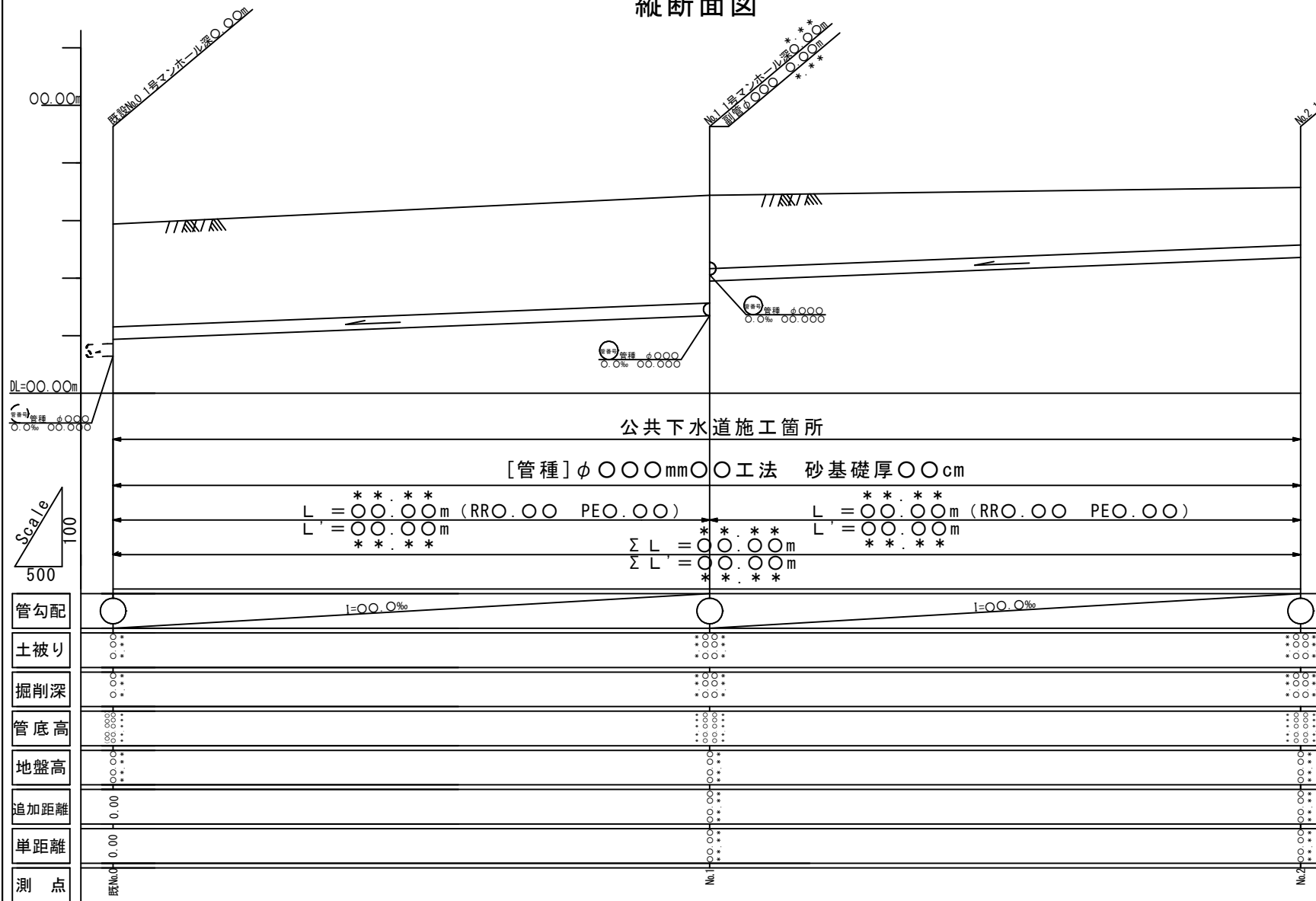
平成 年度

工事名称			
図面名称			
縮 尺	図 示	図面番号	/

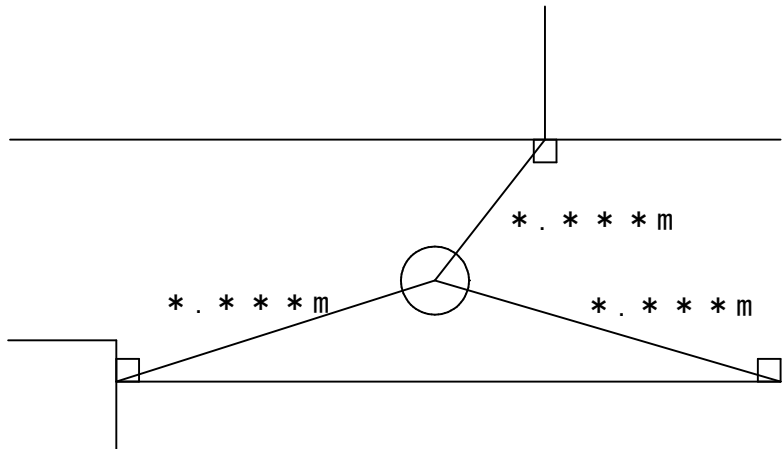
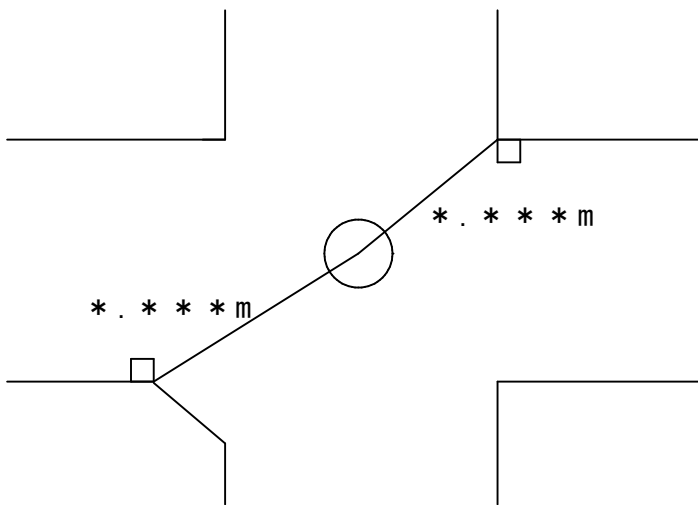
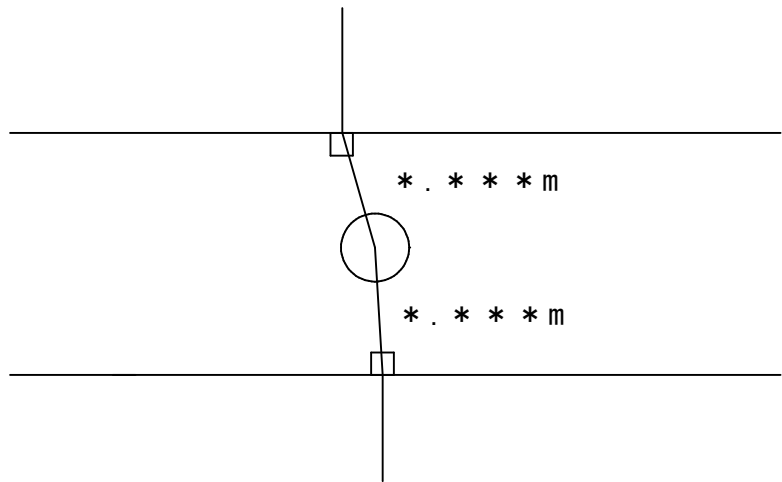
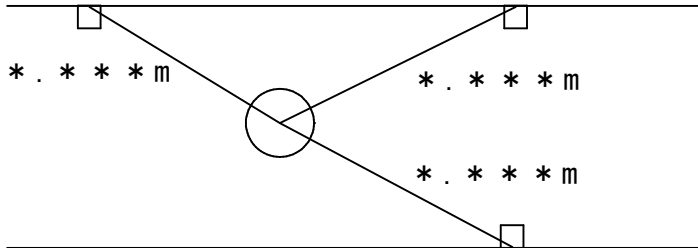
備考

- ・ 出来形実測値(**.**)及び施工箇所を朱書きで記入する。
- ・ マンホールオフセット図を15-6のとおり作成する。
- ・ 取付ますについて、取付管径－取付管延長－上流マンホールから支管までの延長の順番に記入する。(例：φ150mm－3.1－25.7)
- ・ 変更による廃工部分は黄書きとする。

縦断面図



- 出来形実測値(**.**)及び施工箇所を朱書きで記入する。
- 掘削深＝地盤高－管底高＋管厚＋基礎厚
- 土被り＝地盤高－管底高－管径－管厚
- L＝管きょ延長 L'＝路線延長

図名		図面記載例 マンホールオフセット図記載方法（参考）		藤沢市15- 6	
No. 1				No. 2	
					
No. 3				No. 4	
					
備考		・マンホール及びますのオフセットを記入する。（マンホールから周辺公共構造物の2点以上より延長* . * * *を記入する）			